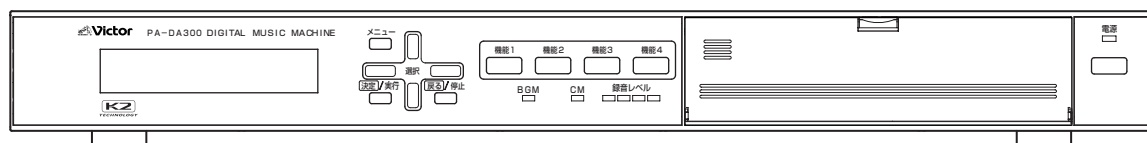


デジタルミュージックマシン

型名 **PA-DA300**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

著作権について

本製品を使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声を録音してご利用いただくことができますが、第三者の著作物などをご利用になる場合には、著作権法その他により、お客様の責任で、権利者の許諾を得ていただく必要があります。

特長

音声圧縮と大容量デジタルメモリーカードによる長時間の BGM 再生が可能

- ・ WMA フォーマットに準拠して記録された音声を、最大 999 種類、約 30 時間(デジタルメモリーカード 512 MB を使用時)再生できます。^{※ 1}
- ・ BGM ファイルは、すべてデジタルメモリーカード(以降、メモリーカードと呼びます。)に記録しますので、メモリーカードを差し換えることによって楽曲を変更できます。

PCM による高音質 CM 録音再生

- ・ 音楽 CD と同等の 16 bit LPCM(非圧縮)の録音 / 再生に対応。用途に応じて、 μ -law 圧縮形式も選択可能です。
- ・ 最大ファイル数 999、最長約 6 時間(メモリーカード容量が 512 MB 時)の音声を記録できます。
- ・ 録音した CM ファイルを CM プレイリストに登録することで、最大 100 ファイルを組み合わせて 1 つのメッセージとして再生できます。
- ・ CM ファイルおよび本機の設定データは、すべてメモリーカードに記録しますので、メモリーカードを差し換えるだけで運用形態を変更できます。

BGM と CM のミキシング再生が可能

BGMを再生したまま、CMをミックスして再生出力することができます。CM をミックスして出力する場合、BGM の音量調節を自動的に行います。

CC コンバーター搭載

ビクター独自のデジタル高音質化技術である K2 テクノロジー。その技術により、圧縮音楽データの音質を改善する CC コンバーターを BGM 再生部に搭載しました。これにより、音楽データの圧縮時に失われた情報を、独自のアルゴリズム処理によって補完し、元の音楽データに近い自然な音質での再生を実現します。

メカレスによる高信頼性、長寿命

半導体メモリーカードの採用により、回転や駆動のメカを使用しない高信頼性設計です。メンテナンスフリーで長寿命、繰り返しの使用にも音質の劣化がありません。

外部制御入力端子を 15 端子装備

- ・ タイマーやセンサーなど、制御機器からの外部制御入力を 15 回路装備しています。
- ・ 最大 15 個のプレイリストをダイレクトに再生可能です。
- ・ バイナリ(2進数)モードでは、最大 998 個のプレイリストを再生可能です。あらゆる場面でのメッセージ再生に対応できます。

制御出力端子を 4 端子装備

本機の再生動作に連動して下記のことことができます。

- ・ パワーアンプの電源を制御する。
- ・ 再生終了後に外部機器の制御などをする。

ミキシング出力可能な外部入力端子を装備

BGM 機器などを接続し、本機の再生音とミックスして出力できます。また、フェードイン / アウト時間、ミキシングレベルを設定可能です。

ワンタッチ再生が可能な機能ボタンを 4 個装備

本機前面に機能ボタンを 4 個装備しています。臨時のメッセージなどをワンタッチでマニュアル再生できます。

パソコンを使って編集が可能

デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア(PA-ZS300A、別供給品)を使用して、パソコンで下記のようなことができます。

- ・ 本機の各種機能やプレイリストの設定を行う。
- ・ パソコン内の WMA や WAV 形式の音声ファイルを、本機で再生できるように変換し、メモリーカードに登録する。

非常用電源(DC 24 V)に対応

非常電源ユニットから電源(DC 24 V)を供給して、停電時にも本機を動作させることができます。


- ※ 1 WMA ファイルを再生するには、パソコンで BGM ファイルへの変換が必要です。BGM ファイルは、本機のみで再生可能なプロテクトがかかっています。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意 操作上の注意が書かれています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では TM、[®]、[©] などのマークは省略してあります。

●Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

正しくお使いいただくための ご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かないでください。
誤動作や故障の原因になります。
 - ・ 許容動作温度 (0℃～40℃) 範囲外の 暑いところや 寒いところ
 - ・ 許容動作湿度 (30%～80%) 範囲外の 湿気の多いところ
 - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - ・ トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ ほこりや砂の多いところ
 - ・ 振動の激しいところ
 - ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - ・ 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- **工事、設定は専門業者に依頼する**
本機の設定、接続や設定には、技術を必要とします。
販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- **機器を重ねて使用しない**
お互いの熱やノイズの影響で誤作動、故障、火災の原因となります。
- **通気孔をふさがない**
通気孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本システムを横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。
- **本システムの上に物を置かない**
テレビモニターなどの重いものや、本システム各機からはみでるような大きなものを置くと、バランスが崩れて倒れたり、落下し、ケガの原因となります。
- **本システムの上に乗らない、ぶら下がらない**
倒れたり壊したりしてケガの原因となります。特に小さいお子様には注意してください。
- **本システムの上に水の入ったもの(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない**
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- **内部に物を入れない**
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

お手入れについて

- 本機はやわらかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

移動について

- 移動するときは接続コード類を外してください。
移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源コードについて

- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

メモリーカードについて

- 本機を使用するには、必ずメモリーカード 2 枚(CM 用、BGM 用)が必要です。
- 本機で使用するメモリーカードは、必ず指定の「デジタルメモリーカード」(別売)をお使いください。
指定のメモリーカード以外での動作保障はいたしません。
指定品:
「デジタルメモリーカード」(サービスパーツ扱い)
品番 QAM0961-001 (128 MB)
QAM0961-002 (512 MB)

著作権について

- 本製品を使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声を録音してご利用いただくことができますが、第三者の著作物などをご利用になる場合には、著作権法その他により、お客様の責任で、権利者の許諾を得ていただく必要があります。

もくじ

はじめに

特長	2
正しくお使いいただくためのご注意	3
もくじ	4
各部の名称とはたらき	6
・ 前面	6
・ 背面	8

システム動作中の操作について

電源の入れかた / 切りかた	9
・ 電源を入れる	9
・ 電源を切る	9
システム動作の実行と停止	10
・ システム動作を実行する	10
・ システム動作を停止する	10
機能ボタン、制御入力端子に割り当てた動作の 実行と停止	11
・ 機能ボタン、制御入力端子の動作を実行する	11
・ 機能ボタン、制御入力端子の動作を停止する	11
ボタンのロックと解除	12
・ ボタンをロックする	12
・ ボタンのロックを解除する	12
LCD 画面表示を切り換える	13
・ 再生動作中の画面表示	13
・ 詳細表示画面に切り換える	13
メモリーカードを本機から取り出す	14

準備

準備の流れ	16
Step1: 本機を設置する	17
・ 本機をラックに取り付ける場合	17
Step2: 外部機器を接続する	18
・ システム構成例	18
・ アンプを接続する	19
・ 外部音声機器を接続する	21
・ スイッチやタイマーから本機を制御する (制御入力端子へ接続)	22
・ 本機で外部接続機器を制御する (連動出力端子へ接続)	24
・ 録音する機器を接続する	25
・ ヘッドホンを接続する	26
・ パソコンから本機の設定をする	26
・ 非常電源ユニット(EM-N112)を接続する	27
Step3: メモリーカードを入れる	28

基本操作

基本的な使い方の設定手順	29
メニュー画面の構成	30
Step1: CM を録音する	32
・ 録音手順	32
・ 録音の音質について	33
・ step1: 録音の音質を設定する	34
・ step2: 録音をする	34
Step2: 再生をする	36
・ CM プレイリストを再生する	36
・ BGM プレイリストを再生する	38
・ CM ファイルを再生する	40
・ BGM ファイルを再生する	42
Step3: 制御入力の優先モードを設定する	44
・ パルス方式とレベル方式について	46
・ 優先順位について	46
Step4: 制御入力の制御方式を設定する	48
Step5: 再生ウェイト時間を設定する	50
Step6: 制御入力端子に起動番号と動作を割り当てる	51
・ 制御入力端子の機能設定について	51
・ 制御入力端子に起動番号と動作を割り当てる	52
Step7: 設定した内容を保存する	55
その他の設定	56
・ LCD バックライト設定	56
・ 電源投入時の動作を設定する	57
・ CC コンバーターの動作設定をする	57
・ BGM 出力、CM 出力のレベルを設定する	58

応用操作

CM ファイルを編集する	60
・ 無音部を消去する	60
・ 音量のバラツキを補正する(ゲイン補正)	62
・ ファイル形式を変更する(フォーマット変換)	64
・ CM ファイルをコピーする	66
・ CM ファイルを消去する	67
BGM プレイリストによるさまざまな再生方法例	68
BGM プレイリストを設定する	69
・ 新規の BGM プレイリストを作成する	70
・ BGM プレイリスト名を変更する	72
・ ミュージックを追加する	74
・ ミュージックを修正する	76
・ ミュージックを削除する	78
・ 再生音量レベルを設定する	80
・ BGM プレイリストをコピーする	81
・ BGM プレイリストを消去する	82
CM プレイリストによるさまざまな再生方法例	84
CM プレイリストを設定する	85
・ CM プレイリスト名を変更する	86
・ メッセージを追加する	88
・ メッセージを修正する	90
・ メッセージを削除する	92
・ 再生音量レベルを設定する	94
・ CM プレイリストをコピーする	95
・ CM プレイリストを消去する	96
機能ボタンに BGM プレイリストを設定する	98
機能ボタンに CM プレイリストを設定する	102
外部機器を制御する	106
・ 外部機器の制御例	106
・ BGM 連動出力設定をする	107
・ CM 連動出力設定をする	107
・ ブランク / インターバル期間の BGM 電源制御を設定する	108
・ ブランク / インターバル期間の CM 電源制御を設定する	109

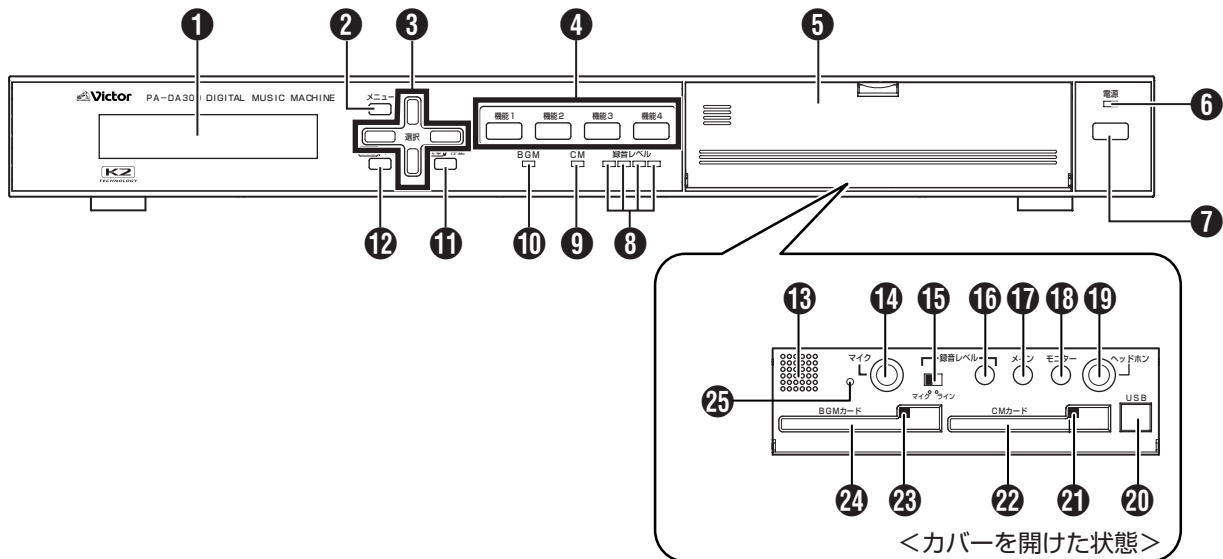
BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声を	
ミキシング出力する	110
・ 優先音源を設定する	110
・ 外部入力レベルを設定する	111
・ ミキシングの設定をする	112
離れた場所から CM 録音の制御をする	115
・ 制御入力端子の制御方式を設定する	115
・ 制御入力端子に消去と録音の機能を設定する	116
・ CM 連動端子にビジー設定をする	117
・ CM ファイルを消去する	118
・ CM ファイルを録音する	119
離れた場所から本機の出力音声を	
フェードアウトする	121
・ 制御入力端子に『フェード』機能を設定する	121

その他

工場出荷時の設定に戻す	122
・ 工場出荷状態に戻す(CM カードを初期化する)	122
・ 設定メニュー内の設定を初期化する	123
・ すべてのプログラムを初期化する	123
・ すべての CM ファイルを消去する	124
バージョン表示	125
ログ管理について	126
・ 動作ログを確認する	126
・ 動作ログを削除する	127
・ 動作ログパターン表	127
・ エラーログを確認する	128
・ エラーログを削除する	129
・ エラーログパターン表	129
各種エラー表示	130
・ 動作中のエラー表示	130
・ 録音中のエラー表示	130
・ 設定、編集中のエラー表示	131
こんなときは	132
保証とアフターサービスについて	133
仕様	134
2 進数 (バイナリ) 番号 - 起動番号対応表	136
プレイリスト設定シート	139

各部の名称とはたらき

前面



<カバーを開けた状態>

① LCD 画面

待機画面、実行中画面、設定画面などの各種画面が表示されます。

② 【メニュー】 メニューボタン

設定画面のメインメニューに切り換えるときにこのボタンを押します。

③ 【選択】 選択上、下、左、右ボタン

設定をするときに使用します。

上、下ボタン：LCD 画面に表示されるメニューを上下にスクロールできます。

左、右ボタン：LCD 画面上のカーソルを左右に移動します。

④ 【機能 1、2、3、4】 機能 1,2,3,4 ボタン

マニュアル操作で再生したいプレイリストをあらかじめ設定しておきます。本機が実行状態のときにこのボタンを押すと、設定されているプレイリストを再生します。

(11 ページ「機能ボタン、制御入力端子の動作を実行する」参照)

⑤ カバー

メモリーカードの出し入れや USB ケーブル、ヘッドホン を接続するとき、ボリュームを調節するときに、カバーを開けて使用します。

⑥ 【電源】 電源表示灯

電源を入れると、緑色に点灯します。

⑦ 電源ボタン

電源の入 / 切をするときに押します。

⑧ 【録音レベル】 録音レベル表示灯

録音時に、**⑭** マイク入力端子からの録音音量レベルを表示します。

⑨ 【CM】 CM 表示灯

CM プレイリスト再生中、緑色に点灯します。

⑩ 【BGM】 BGM 表示灯

BGM プレイリスト再生中、オレンジ色に点灯します。

⑪ 【戻る / 停止】 戻る / 停止ボタン

実行中の動作を停止するときや、設定中に上位メニューに戻るときに、このボタンを押します。

⑫ 【決定 / 実行】 決定 / 実行ボタン

カーソルのある項目を決定または動作を実行するとき、このボタンを押します。

⑬ モニタースピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。**⑮** モニターボリュームで音量調節できます。**⑰** ヘッドホン端子にヘッドホン を接続すると、モニタースピーカーからは音が出なくなります。

⑭ 【マイク】 マイク入力端子

録音するとき、マイクまたは外部音声機器などを接続します。

⑮ 【マイク / ライン】 マイク / ライン切換スイッチ

⑭ マイク入力端子に接続する機器に応じて、録音入力ゲインを切り換えます。

16 【録音レベル】 録音レベル調節ボリューム

録音レベルを調節します。

右にまわすと、録音レベルが大きく、左にまわすと、録音レベルが小さくなります。

17 【メイン】 メインボリューム

⑯ ライン出力端子から出力する音の音量を調節します。

右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

18 【モニター】 モニターボリューム

⑲ ヘッドホン端子および ⑳ モニタースピーカーから出力する音の音量を調節します。

右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

19 【ヘッドホン】 ヘッドホン端子

モニター用のヘッドホンを接続します。

20 【USB】 USB 端子

パソコンを使用して本機の設定を行うときに接続します。

(☞ 26 ページ「パソコンから本機の設定をする」参照)

21 CM カード取出しボタン

CM 用メモリーカードを ㉒ CM カード挿入口から取り出すときに、取出しボタンを押します。

(☞ 14 ページ「メモリーカードを本機から取り出す」参照)

22 【CM カード】 CM 用メモリーカード挿入口

CM 用のメモリーカードの出し入れをします。

(☞ 28 ページ「Step3: メモリーカードを入れる」参照)

23 BGM カード取出しボタン

BGM 用メモリーカードを ㉔ BGM カード挿入口から取り出すときに、取出しボタンを押します。

(☞ 14 ページ「メモリーカードを本機から取り出す」参照)

24 【BGM カード】 BGM 用メモリーカード挿入口

BGM 用のメモリーカードの出し入れをします。

(☞ 28 ページ「Step3: メモリーカードを入れる」参照)

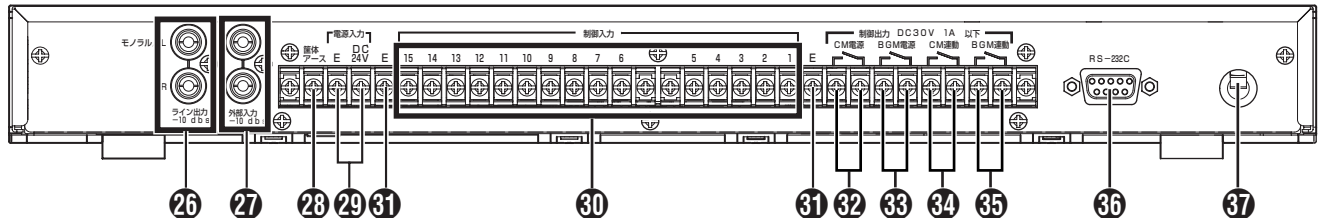
25 リセットスイッチ

本機をリセットするときに使用します。

通常は触らないでください。

各部の名称とはたらき (つづき)

背面



26 【ライン出力】 ライン出力端子 (【モノラル/L】 モノラル/L 端子、【R】 R 端子)

本機の再生音声や **27** 外部入力端子に接続した外部機器の音声を出します。モノラルアンプを使用する場合は、モノラル/L 端子に接続すると、L/R の信号がミックスされます。

27 【外部入力】 外部入力端子

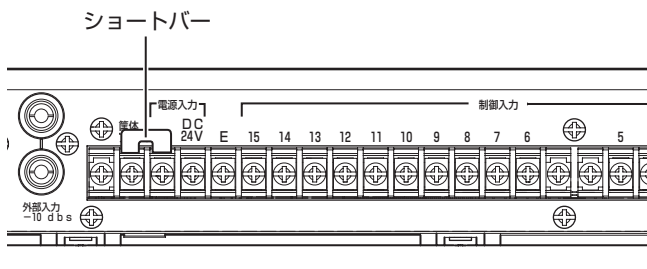
外部音声機器 (BGM 機器など) を接続します。モノラル音声機器の場合は、モノラル/L 端子に接続すると、**26** ライン出力 L、R の両端子から音声が出されます。

28 【筐体アース】 筐体アース端子

本機に接続した外部機器の筐体アース端子またはラックのアース端子に接続してください。安全アースではありません。

ご注意

- 工場出荷時は、ショートバーにより筐体アースと信号系アース (E 端子) が接続されています。本機をラックに組み込んだとき、信号系アースが2点アースとなりノイズが発生する場合や、信号系アースを筐体に接続しないほうが有利な場合は、ショートバーをはずしてください。



29 【DC24V】 DC24V 端子、【E】 DC24V 用 E 端子

37 電源コードからの AC100 V 電源供給をせずに、DC24 V 電源を供給したいときや、停電時でも動作させたいときに接続します。

30 【制御入力 1～15】 制御入力 1～15 端子

タイマーやセンサーなどの本機を制御する機器を接続します。

31 【制御入力 E】 制御入力 E 端子

30 制御入力 1～15 端子に、接続する機器のコモンまたは E 端子を接続します。

32 【CM 電源】 CM アンプ電源端子

アンプの電源起動端子と接続し、本機の CM 再生動作に連動してアンプの電源を制御します。

33 【BGM 電源】 BGM アンプ電源端子

アンプの電源起動端子と接続し、本機の BGM 再生動作に連動してアンプの電源を制御します。

34 【CM 連動】 CM 連動端子

本機の CM 録音・再生動作に連動して、接続した外部機器を制御します。設定により、「連動出力」、「緊急出力」、「録音 / 消去ビジー出力」のいずれかを選択できます。

35 【BGM 連動】 BGM 連動端子

本機の BGM 再生動作に連動して、接続した外部機器を制御します。

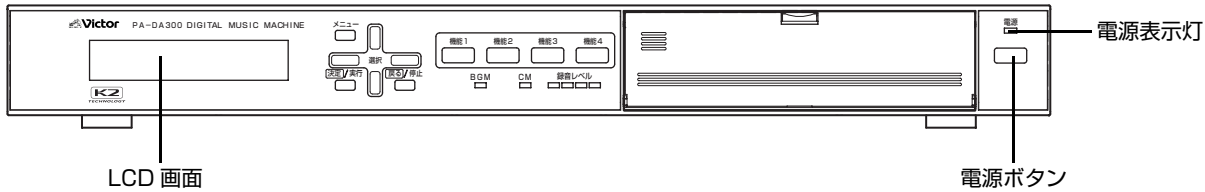
36 【RS-232C】 RS-232C ポート

メンテナンス時にパソコンなどを接続します。

37 電源コード

AC100 V の電源を供給します。指定以外の電源は使用しないでください。

電源の入れかた / 切りかた



電源を入れる

- ・本機に接続している周辺機器が正しく接続されていることを確認してから電源ボタンを押します。
- ・LCD 画面に、『キドウチュウ..』と表示後、待機中画面または実行中画面が表示されます。

タイキチュウ

<待機中画面>

ジッコウチュウ

<実行中画面>

ご注意

- ・エラー表示(『*CF カクニン』、『CM カードイジヨウ』など)が表示される場合は、正常に動作しません。各種エラー表示を参照し、対応してください。(☞ 130 ページ「各種エラー表示」参照)

メモ

- ・「2-5. オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。(☞ 57 ページ「電源投入時の動作を設定する」参照)

電源を切る

- ・電源ボタンを1秒以上押します。
- ・電源表示灯とLCD 画面の表示が消えて電源が切れます。

メモ

- ・LCD 画面右上に『L』が表示されているときは、ボタンがロックされています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。(☞ 12 ページ「ボタンのロックを解除する」参照)

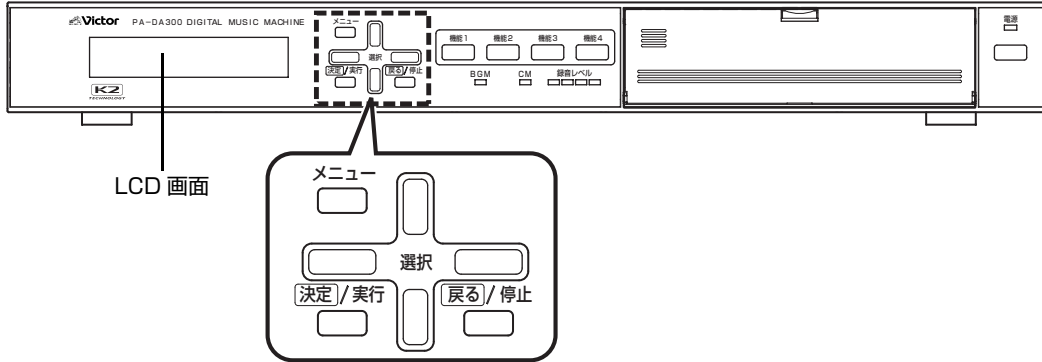
タイキチュウ



ロック表示

- ・本機の動作状態(録音中、再生中)にかかわらず、電源を切ることができます。誤操作により電源を切らないようにするために、ボタンをロックすることができます。(☞ 12 ページ「ボタンをロックする」参照)

システム動作の実行と停止



メモ

- LCD 画面に「L」が表示されているときは、ボタンがロック(ボタン操作無効)されています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。(P.12 ページ「ボタンのロックを解除する」参照)

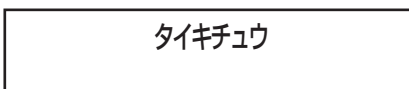


システム動作を実行する

- ・システム動作を実行するには、あらかじめ設定をする必要があります。設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- ・あらかじめ機能ボタン、制御入力端子に設定してある動作を実行したいときに行います。
- ・機能ボタンを押す、または制御入力端子から信号が入力されると、動作を実行します。

1. 待機中画面になっていることを確認する

システム動作が停止されていると、LCD 画面に『タイキチュウ』と表示されます。



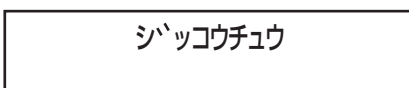
<待機中画面>

ご注意

- ・メモリーカード未挿入またはエラーで認識できない場合は、LCD 画面に『*CF カクニン』と表示されますので、下記の対応を行なってください。
 - ・メモリーカード未挿入の場合は、本機にメモリーカードを挿入してください。
 - ・エラーの場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

2. システム動作を実行する

- ・決定 / 実行ボタンを押します。
- ・システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。



<実行中画面>

システム動作を停止する

システム動作を停止すると、機能ボタンを押す、または制御入力端子から信号が入力されても動作を実行しません。

1. 実行中画面になっていることを確認する

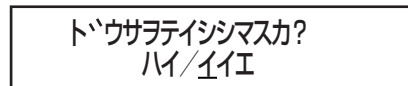
システム動作が実行中の場合、LCD 画面に『ジッコウチュウ』と表示されています。



<実行中画面>

2. 停止確認画面を表示する

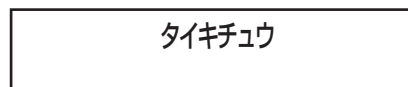
戻る / 停止ボタンを押します。



<停止確認画面>

3. システム動作を停止する

- ・停止確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・システム動作が停止し、待機中画面が表示されます。
- ・停止確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、システムを停止せずに実行中画面(手順 1.)に戻ります。



<待機中画面>

機能ボタン、制御入力端子に割り当てた動作の実行と停止

- ・あらかじめ機能ボタン、制御入力端子に設定してある動作を実行することができます。
- ・機能ボタン、制御入力端子へ割り当てる動作の設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

機能ボタン、制御入力端子の動作を実行する

■機能ボタンに割り当てた動作を実行する場合

1. システム動作が実行されていることを確認する

- ・LCD画面に『ジッコウチュウ』と表示されています。
- ・システム動作が待機中(LCD画面に『タイキチュウ』と表示)の場合は、システム動作を実行してください。
(☎ 10 ページ「システム動作を実行する」参照)

ジッコウチュウ

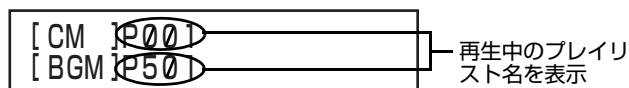
<実行中画面>

タイキチュウ

<待機中画面>

2. 実行したい動作を設定してある機能ボタンを押す

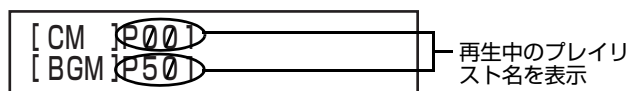
- ・実行中の動作が表示されます。



再生中のプレイリスト名を表示

■制御入力端子に割り当てた動作を実行する場合

制御入力端子に接続された制御機器から本機に信号が入力されると、動作を実行します。



再生中のプレイリスト名を表示

機能ボタン、制御入力端子の動作を停止する

機能ボタンを押す、または制御入力端子から信号が入力されても再生中の動作を停止します。

1. 再生中画面になっていることを確認する

システム動作が実行中の場合、LCD画面に再生中のプレイリスト名が表示されています。

[CM] P001
[BGM] P501

<再生中画面>

2. 停止確認画面を表示する

戻る / 停止ボタンを押します。

トウサヲテイシマスカ?
ハイ/イイエ

<停止確認画面>

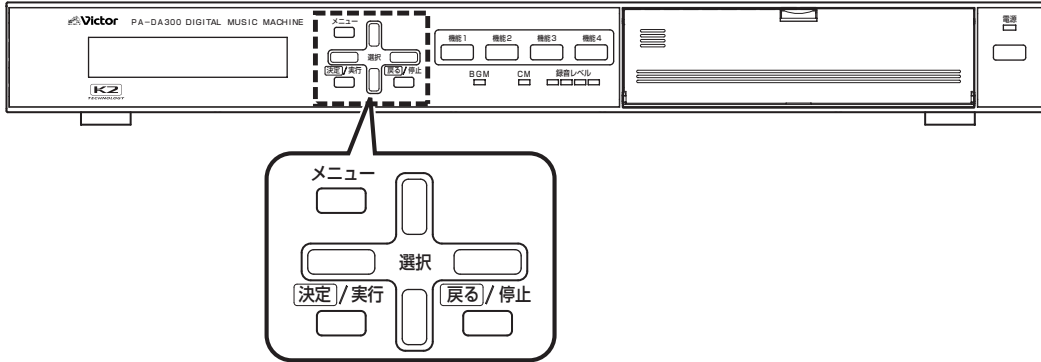
3. システム動作を停止する

- ・停止確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・システム動作が停止し、待機中画面が表示されます。
- ・停止確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、システムを停止せずに実行中画面(手順 1.)に戻ります。

タイキチュウ

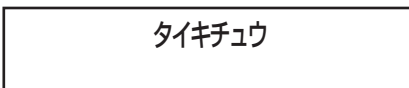
<待機中画面>

ボタンのロックと解除



ボタンをロックする

1. 待機中画面または実行中画面になっていることを確認する。



<待機中画面>

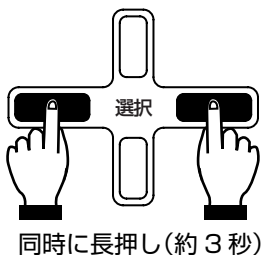


<実行中画面>

ご注意

- メニューの設定中(メニュー画面の表示中)に、ボタンのロック設定はできません。
- ロック中は、すべてのボタンがロックされます。
- 停電などで本機の電源が切れてもロック状態は保持されます。

2. 選択左、右ボタンを同時に長押し(約3秒)する
ボタンがロックされ、LCD画面に「L」と表示されます。

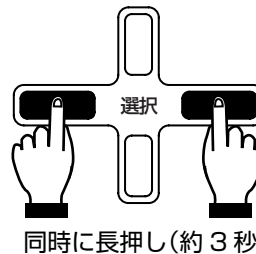


同時に長押し(約3秒)



ボタンのロックを解除する

- ボタンがロック中(LCD画面に「L」と表示されている状態)に、選択左、右ボタンを同時に長押し(約3秒)します。
- ボタンのロックが解除され、LCD画面の「L」表示が消えます。



同時に長押し(約3秒)

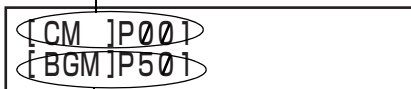


LCD 画面表示を切り換える

再生動作中の画面表示を切り換えて、詳細を確認することができます。

再生動作中の画面表示

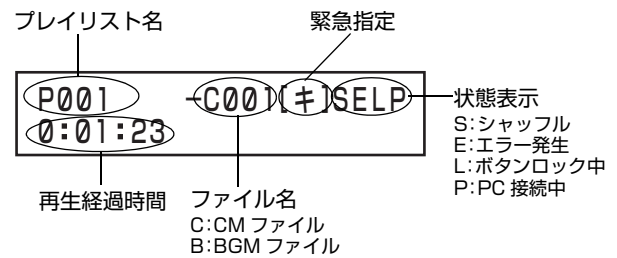
出力中の CM プレイリスト名を表示します。



出力中の BGM プレイリスト名を表示します。

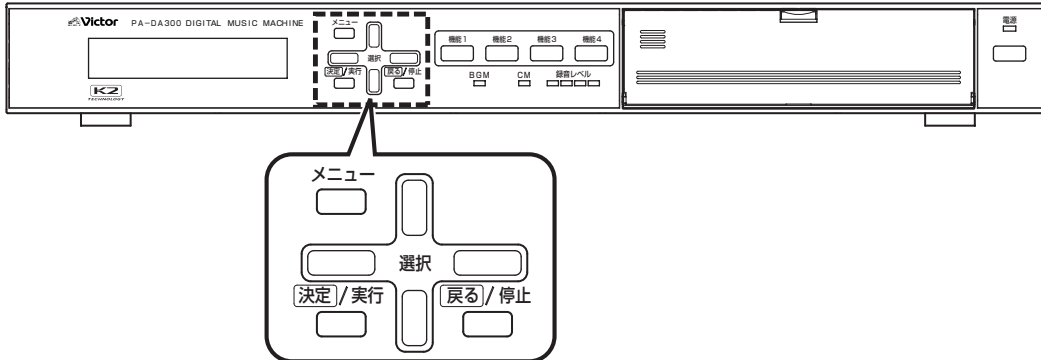
詳細表示画面に切り換える

再生中に、選択上、下ボタンを押すと詳細表示に切り換わります。ボタンを押すごとに、プレイリスト名表示→CM 詳細表示→BGM 詳細表示と切り換わります。



メモリーカードを本機から取り出す

メモリーカードの動作を停止し、取り出します。



ご注意

- メモリーカードは本機を動作させるために重要なものです。本機を動作させたいときには、必ず動作させたいデータが記録されたメモリーカードを本機に挿入してください。
- メモリーカードを本機から取り出すときは必ず下記の操作を行ってください。下記の操作を行わずに取り出すと、メモリーカードが破損する原因となります。
- メモリーカードを挿入する場合は、28 ページの「Step3: メモリーカードを入れる」を参照ください。
- メモリーカードは精密な電子部品で作られています。静電気による破壊を防ぐため、メモリーカードを取り出す前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。

用語について

CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、CM プレイリスト、BGM プレイリストを保存するメモリーカード。

BGM カード : 音楽などのミュージックデータを保存するメモリーカード。

1. メインメニュー画面を表示する

- システム実行中の場合は、必ずシステムを停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

- メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CF テイシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. メモリーカード停止確認画面を表示する

- メンテナンスメニューから『5-1. CF テイシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5-1. CF テイシ
CF カート `ラテイシマス ハイ / イイエ

<メモリーカード停止確認画面>

4. メモリーカードの動作を停止する

- メモリーカード停止確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- メモリーカードの動作が停止し、メモリーカード停止画面が表示されます。
- メモリーカード停止確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、メモリーカードを停止せずにメンテナンスメニュー画面(手順 2.)に戻ります。

CF カート `ラテイシマシタ

<メモリーカード停止画面>

5. メモリーカードを取り出す

- ・本機前面のカバーにあるつまみに指をかけ、カバーを手前に開きます。
- ・取出しボタンを押し、メモリーカードを取り出します。
- ・2枚のメモリーカードを取り出すと、LCD画面にメモリーカードの挿入を促すメッセージ1が表示されます。メッセージ1表示後に、2枚のメモリーカードを挿入すると、自動的に再起動します。

CMカード`ヲソウニューシテクタ`サイ
BGMカード`ヲソウニューシテクタ`サイ

<メッセージ1>

- ・CMカードだけを取り出すと、LCD画面にCMカード挿入を促すメッセージ2が表示されます。メッセージ2表示後に、CMカードを挿入すると、LCD画面に再起動を促すメッセージ3が表示されます。メッセージ3表示時に、決定/実行ボタンを押すと、再起動します。

CMカード`ヲソウニューシテクタ`サイ

<メッセージ2>

CMカード`カ`ソウニューサレマシタ
サイキト`ウテ`キマス[ケッテイ]

<メッセージ3>

- ・BGMカードだけを取り出すと、LCD画面にBGMカード挿入を促すメッセージ4が表示されます。メッセージ4表示後に、BGMカードを挿入すると、LCD画面に再起動を促すメッセージ5が表示されます。メッセージ5表示時に、決定/実行ボタンを押すと、再起動します。

BGMカード`ヲソウニューシテクタ`サイ

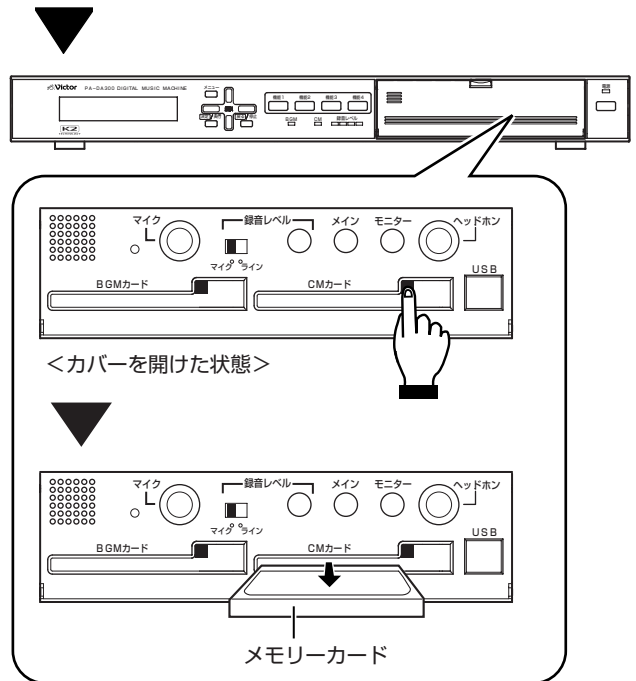
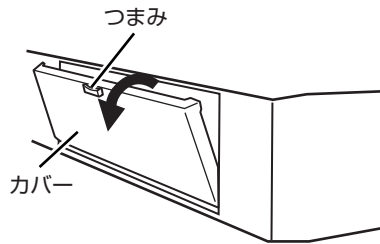
<メッセージ4>

サイキト`ウテ`キマス[ケッテイ]
BGMカード`カ`ソウニューサレマシタ

<メッセージ5>

メモ

- ・CMカード、BGMカードを取り出す順番の指定はありません。



※ イラストは、CMカード側のメモリーカードを取り出す場合です。

準備の流れ

右記の手順で準備を行なってください。

お客様へ

- この章は、設置作業の説明です。設置・接続作業には専門技術が必要となります。販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 設置・接続作業を行うときには、設置業者様にこの取扱説明書(本書)をお渡しください。

販売店または設置業者様へ

- 設置・接続作業を行う前に必ずお読みいただき、正しく設置・接続を行なってください。お読みになったあとは、お客様へお渡しください。

設置上の注意

- 設置・接続作業は、電源を切ってから行なってください。
- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に1U以上空けて本機を設置してください。

Step1

本機を設置する(17 ページ)
本機を平らな場所またはラックに取り付けます。

Step2

外部機器を接続する(18 ページ)
本機にマイク、ヘッドホン、制御機器、アンプなどの外部機器を接続します。

Step3

メモリーカードを入れる(28 ページ)
メモリーカードが挿入されていないと、本機を動作させることができません。(別売の「デジタルメモリーカード」をご使用ください。)

準備完了

Step 1: 本機を設置する

本機を平らな場所に設置します。

本機をラックに取り付ける場合

本機をラックに取り付けるときには、別売りのラックマウント金具(PA-U11)が必要です。あらかじめご用意ください。

■取り付け可能なラックについて

本機を取り付けるラックは、下記のどれかをご使用ください。

ミニラック : PA-R631
(収納ユニット数 31U、当社製品)

標準ラック : PA-R641
(収納ユニット数 41U、当社製品)

EIA 規格相当品 : 奥行き 450 mm 以上のもの
(他社製品)

■取り付け手順

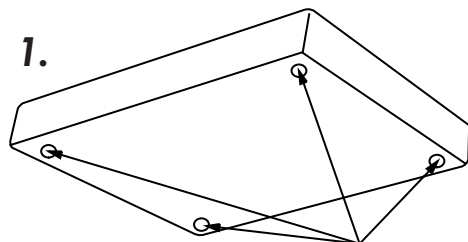
ご注意

- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に1U以上空けて本機を設置してください。
- ラック内の温度が40℃以上にならないようにしてください。

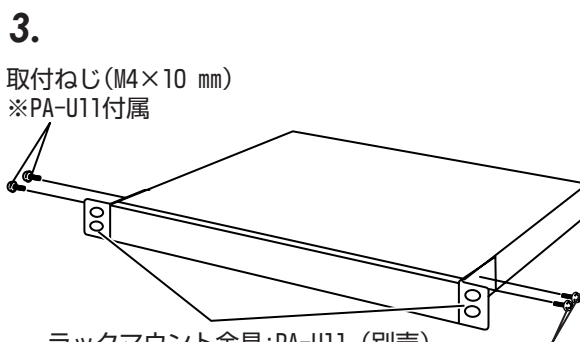
1. 本機底面のフット(4個)をはずす。
2. 本機の左右側面の取付ねじ4本をはずす。
3. PA-U11に付属の取付ねじ(M4×10 mm)4本を使って、本機にラックマウント金具(PA-U11)を取り付ける。
4. PA-U11に付属のラック取付ねじ(M5×12 mm)4本を使って、本機をラックに取り付ける。

ご注意

- 取付ねじやラック取付ねじは、必ず指定のものをご使用ください。指定以外の長いねじや短いねじを使用すると、故障や落下の原因となります。



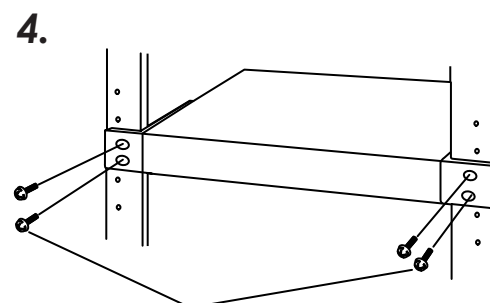
フットをはずす(4箇所)



3.
取付ねじ(M4×10 mm)
※PA-U11付属

ラックマウント金具:PA-U11 (別売)

取付ねじ
(M4×10 mm)
※PA-U11付属

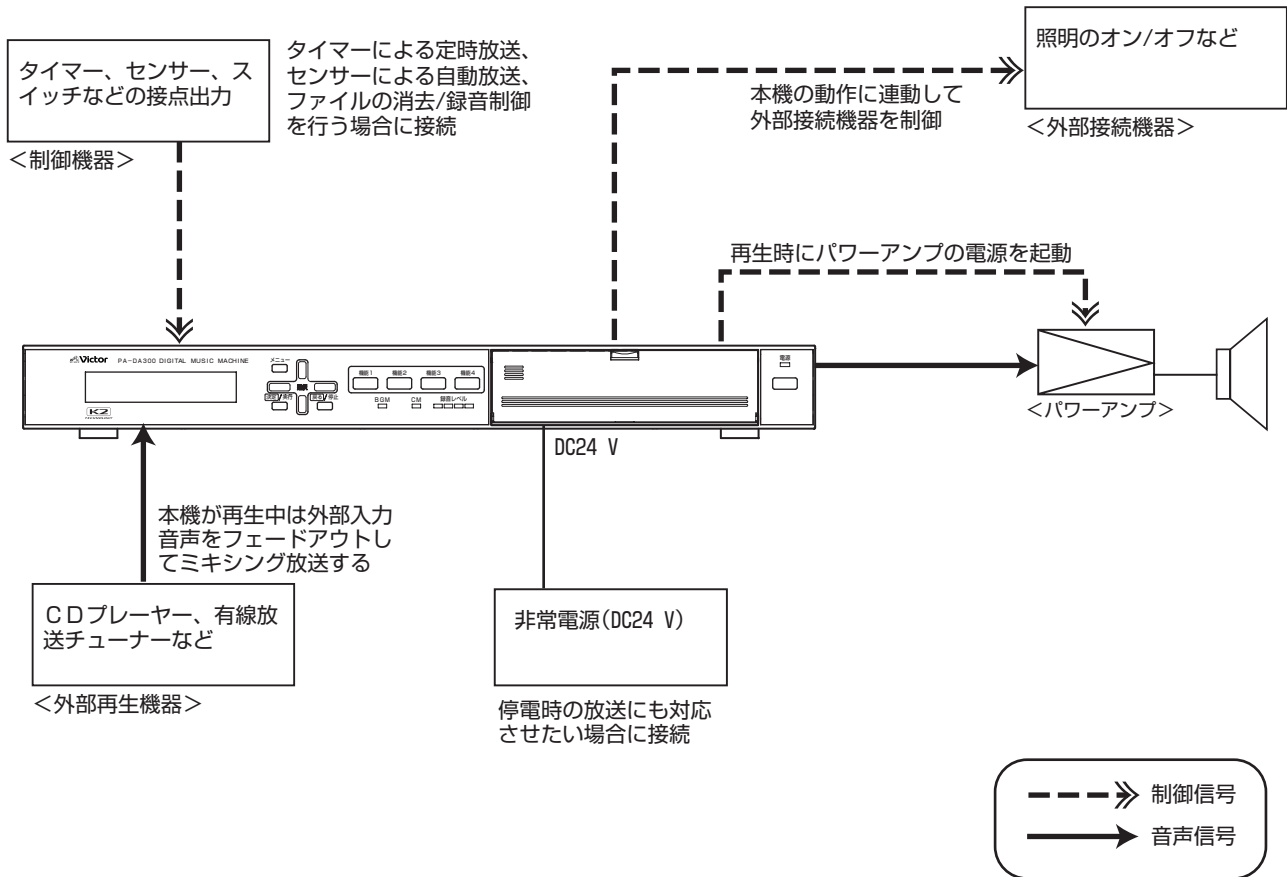


4.
ラック取付ねじ(M5×12 mm)×4本
※PA-U11付属

Step2: 外部機器を接続する

システム構成例

- ・ 本機に外部機器を接続するときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
- ・ 接続する外部機器の詳細については、各外部機器の取扱説明書をご覧ください。



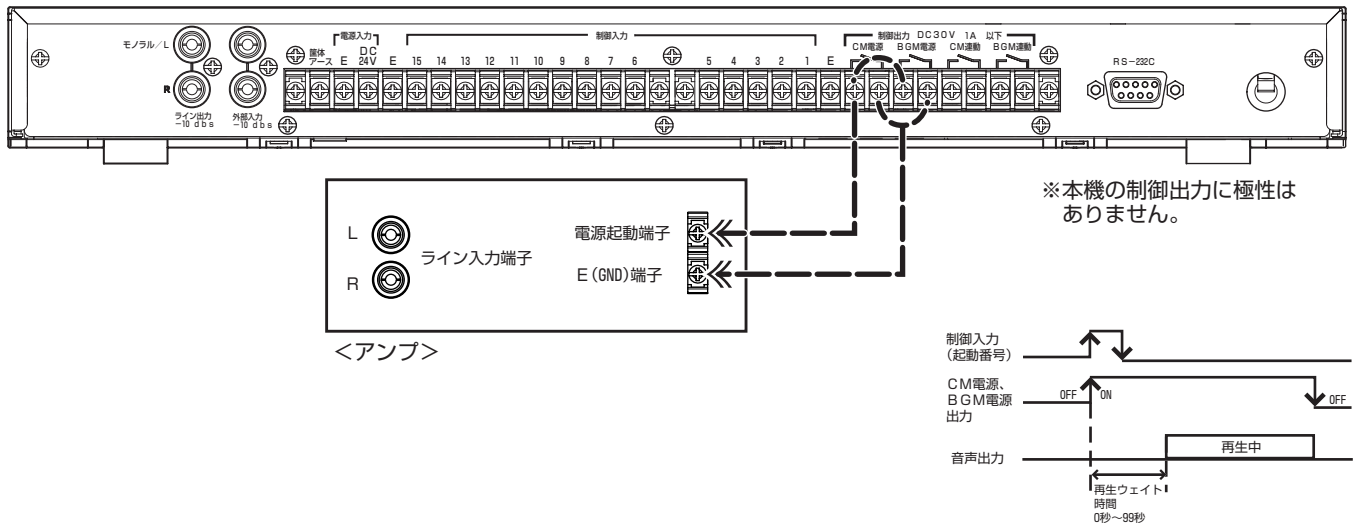
ご注意

- 制御入力端子について
本機の制御入力端子は「無電圧メーク接点」、「オープンコレクター出力」に適合しています。電圧、電流を加えないでください。機器の故障の原因となります。
- 制御出力端子について
本機の制御出力端子で使用しているリレー接点容量は DC30 V / 1 A です。これを超える電圧、電流を絶対に加えないでください。機器の故障や火災の原因となります。

アンプを接続する

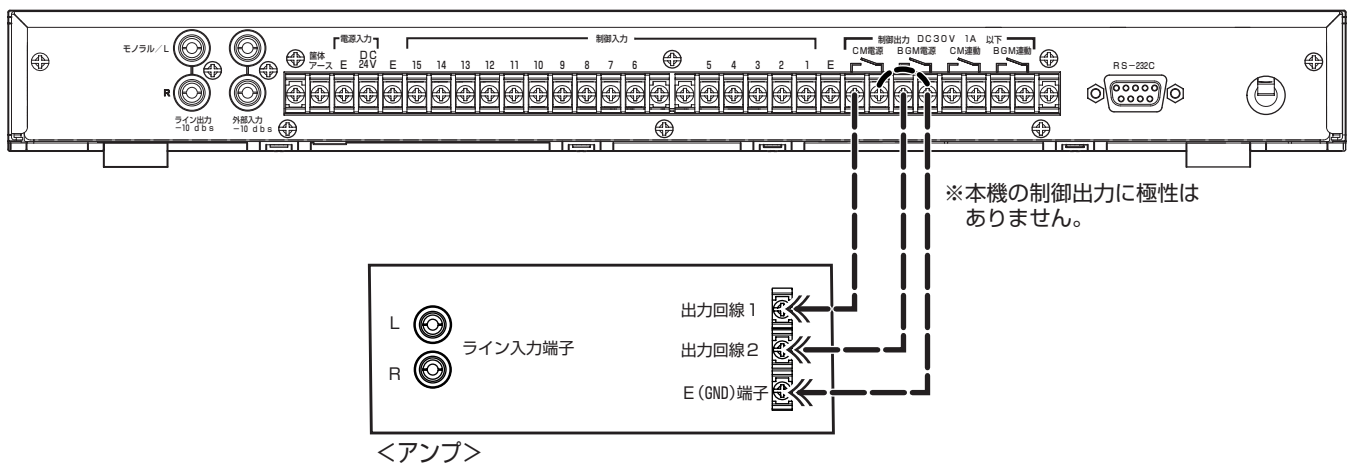
■アンプの電源の「入」、「切」を制御する場合

- ・本機の CM アンプ電源端子または BGM アンプ電源端子と、アンプの電源起動端子を接続します。
- ・電源起動端子のあるアンプで、電源の入 / 切を制御できます。電源起動端子がないアンプでは電源の入 / 切を制御できません。
- ・「再生ウェイト時間」を設定することで、放送開始前にアンプの電源を入れることができ、音切れを防ぐことができます。
(☞ 50 ページ「Step5: 再生ウェイト時間を設定する」参照)



■アンプの出力回線選択を制御する場合

- ・本機の CM アンプ電源端子または BGM アンプ電源端子と、アンプの出力回線選択端子を接続します。
- ・出力回線選択端子を内蔵したアンプを接続した場合に、アンプの出力先を制御することができます。
- ・下図の接続は、CM を出力回線 1、BGM を出力回線 2 で放送したい場合です。
- ・「再生ウェイト時間」を設定することで、放送開始前にアンプの出力先を選択をし、音切れを防ぐことができます。
(☞ 50 ページ「Step5: 再生ウェイト時間を設定する」参照)

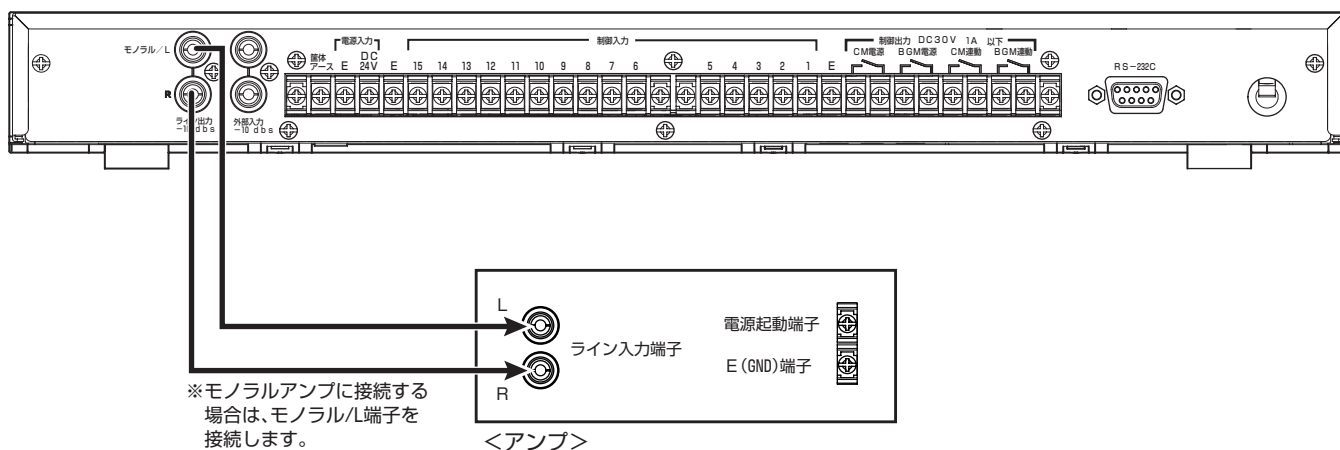


Step2: 外部機器を接続する(つづき)

アンプを接続する(つづき)

■音声出力の接続

- ・本機のライン出力端子とアンプのライン入力端子を接続します。
- ・ステレオアンプに接続する場合は、本機のモノラル/L 端子および R 端子と、アンプのライン入力端子を接続します。
- ・モノラルアンプに接続する場合は、本機のモノラル/L 端子と、アンプのライン入力端子を接続します。
このとき、ステレオ音声のファイルを再生すると、L/R ミックスして出力します。

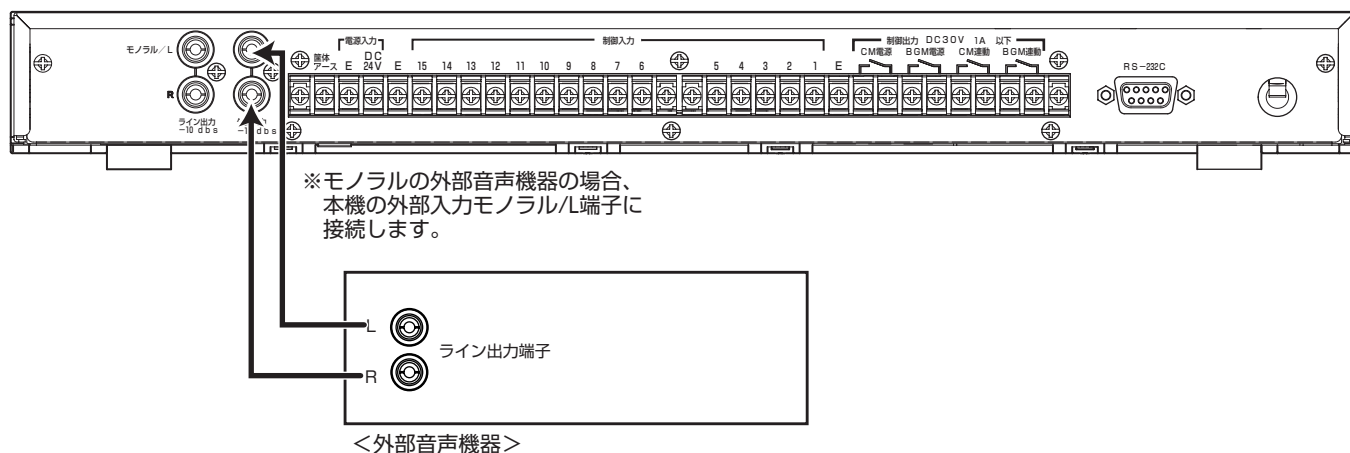


外部音声機器を接続する

- ・本機の外部入力モノラル / L 端子、R 端子に、ステレオの外部音声機器 (CD プレーヤー、有線放送チューナー、ラジオチューナーなど) を接続します。
- ・モノラルの外部音声機器を使用する場合は、本機の外部入力モノラル / L 端子に接続します。このときライン出力 L、R 端子両方から音声が出力されます。
- ・本機から出力される音声と外部音声機器から出力される音声の優先順位を設定することで、フェードイン / アウトして放送することができます。(110 ページ「BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する」参照)

メモ

- 外部音声機器を使用する場合、下記のどちらかの対応を行なってください。対応を行なわないと、外部音声機器が再生状態のときにアンプの電源制御が出力されず、音声が発送されません。
 - ・アンプの電源を常時オンにする。
 - ・本機と外部音声機器の両方からアンプの電源を制御するように接続する。
- 本機は、音声信号レベルを検知してフェードイン / アウトの制御をします。外部音声機器の音声出力レベルを定格レベル (-10 dBs) に設定し、本機の「2-14. 外部入力レベル」設定で音量調節を行なってください。(111 ページ「外部入力レベルを設定する」参照)



Step2: 外部機器を接続する(つづき)

スイッチやタイマーから本機を 制御する(制御入力端子へ接続)

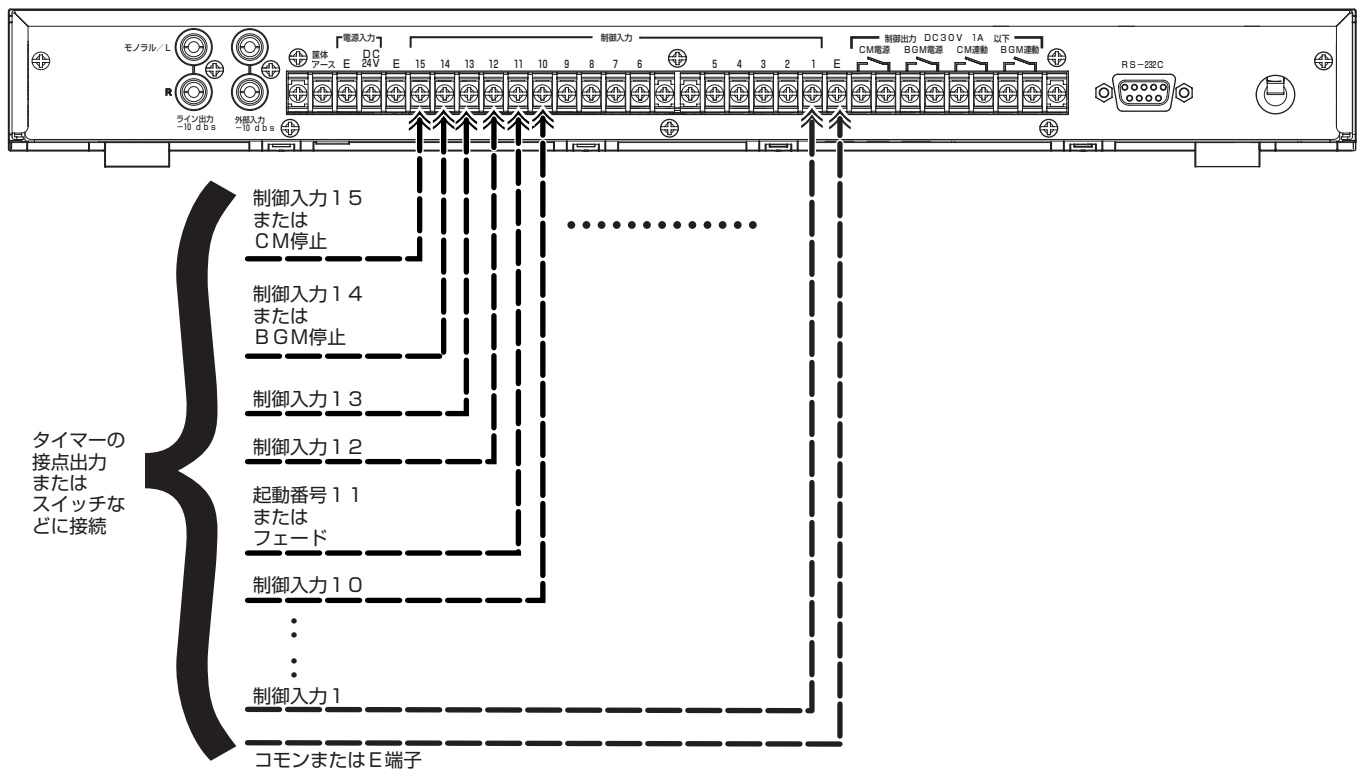
- ・スイッチやタイマーなどの制御機器を接続し、本機の再生 / 録音、フェード動作を制御します。
- ・本機の制御入力 1 ~ 15 端子と、制御機器の接点出力(無電圧メーク接点またはオープンコレクター出力)を接続します。
- ・制御入力端子への「ダイレクト」モード、「バイナリ」モードの設定は、「2-7. 制御入力モード」設定で行います。
(☞ 48 ページ「Step4: 制御入力の制御方式を 設定する」参照)

■端子で直接プレイリストを指定して再生する場合(ダイレクトモード)

- ・本機の制御入力 1 ~ 15 端子と制御機器の接点出力を接続します。
- ・制御入力 1 ~ 15 各端子に動作を割り付けることで、制御入力端子に接続した制御機器から動作を制御できます。1 つの端子に 1 つの動作を割り付けることができます。(☞ 48 ページ「Step4: 制御入力の制御方式を 設定する」参照)
- ・制御入力端子に動作を割り当てるには、「3-4. 制御入力」設定を行なってください。
(☞ 51 ページ「Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)

メモ

- ・制御入力 15 端子および制御入力 14 端子の機能を「CM 停止」、「BGM 停止」に設定すると、それぞれ CM 出力、BGM 出力の再生を停止することができます。
(☞ 51 ページ「Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)



メモ

- ・本機を制御する機器の接点出力は、下図の条件を満たす必要があります。

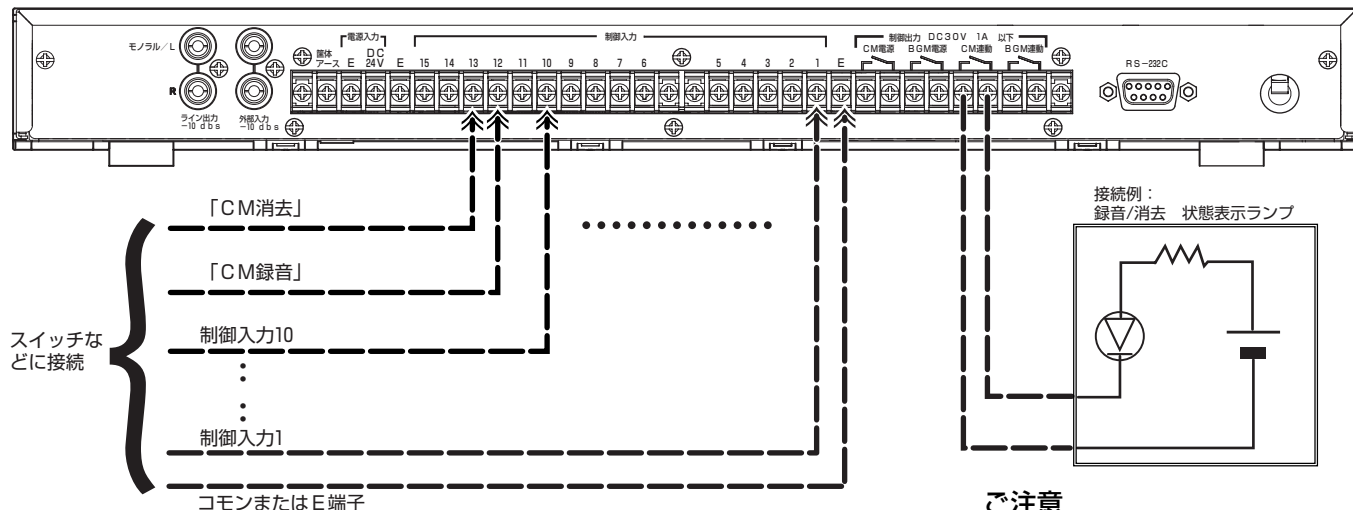


■ 制御入力端子からの制御でファイルの録音 / 消去する場合(ダイレクトモード)

- ・本機の制御入力 1 ~ 15 端子と制御機器の接点出力を接続します。
- ・制御入力 13 と制御入力 12 の端子機能を「消去」、「録音」に設定すると、音声のファイルの消去と録音ができます。
(☞ 51 ページ「Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)
- ・CM 連動端子の「2-12.CM 連動出力」設定を『ビジー』に設定してランプなどを接続すると、録音 / 消去の状態表示ができます。
(☞ 107 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

ご注意

- ・ファイル消去が完了するまでは録音開始できません。本機の LCD 画面表示を確認できないところでは、必ずビジー出力を使用して本機の状態を確認して操作してください。

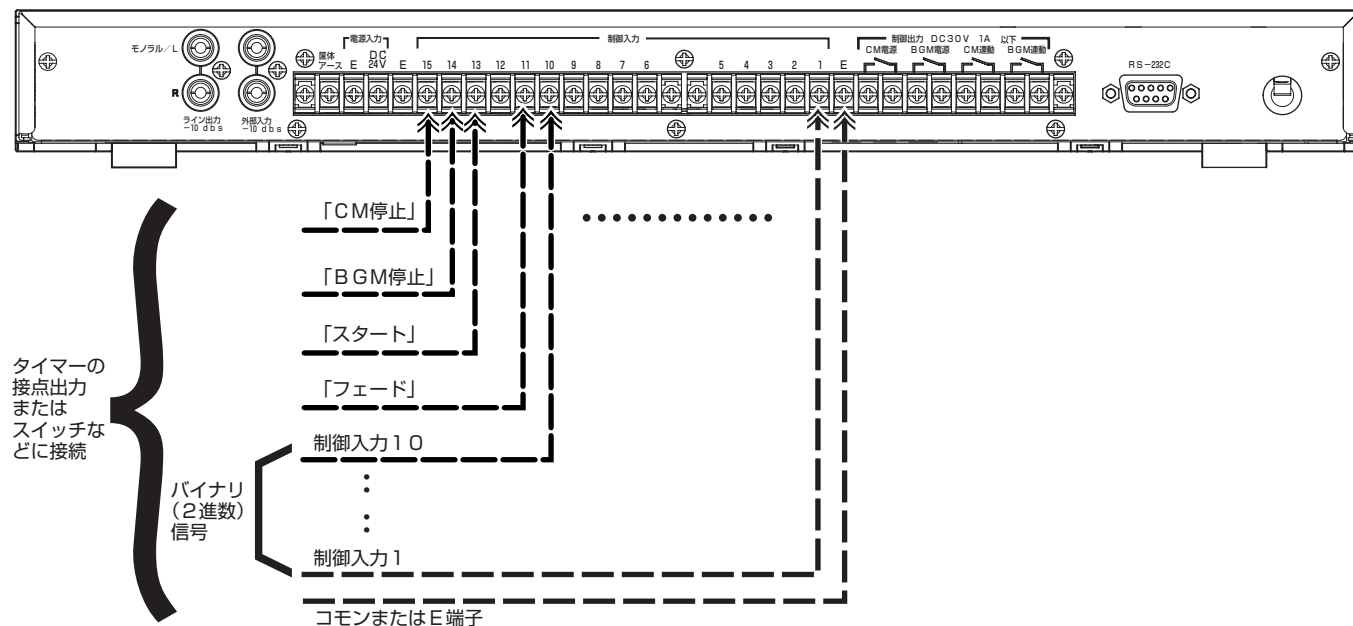


ご注意

- ・本機のリレー接点容量は、DC 30 V, 1 A です。この接点容量を超えないでください。

■ バイナリ(2進数)モードに設定した制御入力端子に接続する場合

- ・本機の制御入力 1 ~ 10, 11, 13 ~ 15 端子と制御機器の接点出力を接続します。
- ・制御入力 1 ~ 10 端子にバイナリ(2進数)信号を入力します。これにより、最大 998 個のプレイリストを再生できます。
(☞ 48 ページ「Step4: 制御入力の制御方式を 設定する」参照)
- ・制御入力端子に動作を割り当てるには、「3-4. 制御入力」設定を行なってください。
(☞ 51 ページ「Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)



Step2: 外部機器を接続する(つづき)

本機で外部接続機器を制御する (連動出力端子へ接続)

ご注意

●本機のリレー接点容量は、「DC30V, 1A」です。絶対に容量を超えないでください。火災や故障の原因となります。

- ・本機の CM 連動端子および BGM 連動端子を使って、本機で外部機器を制御できます。
- ・本機の CM 連動端子または BGM 連動端子と、外部機器の制御入力端子を接続します。
- ・CM 連動端子の機能を「2-12.CM 連動出力」設定で選択できます。(☞ 107 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)
- ・BGM 連動端子に設定できる機能は「連動」のみです。(☞ 107 ページ「BGM 連動出力設定をする」参照)

■再生終了後に外部機器を制御する(連動)

- ・再生終了のタイミングで出力して照明を消すなど、外部機器を制御できます。
- ・本機の BGM 連動端子および CM 連動端子の機能を、「2-11.BGM 連動出力」、「2-12.CM 連動出力」設定で『レンドウ』に設定します。(☞ 107 ページ「BGM 連動出力設定をする」、107 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

メモ

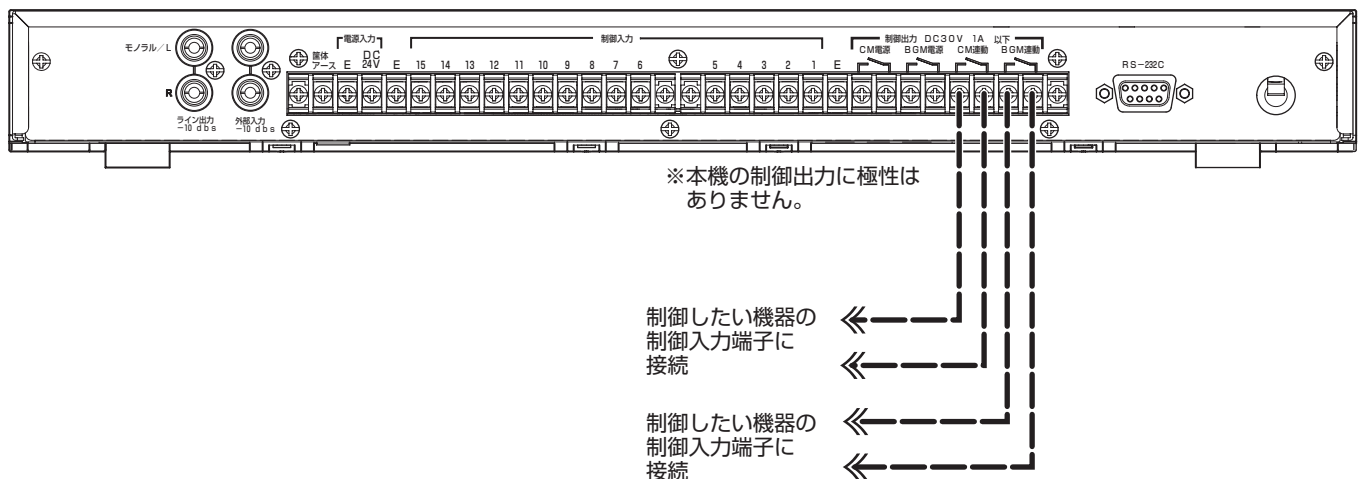
●BGM 連動端子の機能は常に「連動」です。「2-11.BGM 連動出力」設定では連動時間を設定します。

■緊急指定したプレイリスト再生時に外部機器を制御する(緊急)

- ・緊急指定したプレイリスト再生時のみ、外部機器を制御できます。
- ・本機の CM 連動端子の機能を「2-12.CM 連動出力」設定で『キンキュウ』に設定します。(☞ 107 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

メモ

●BGM 連動端子は「緊急」に設定できません。

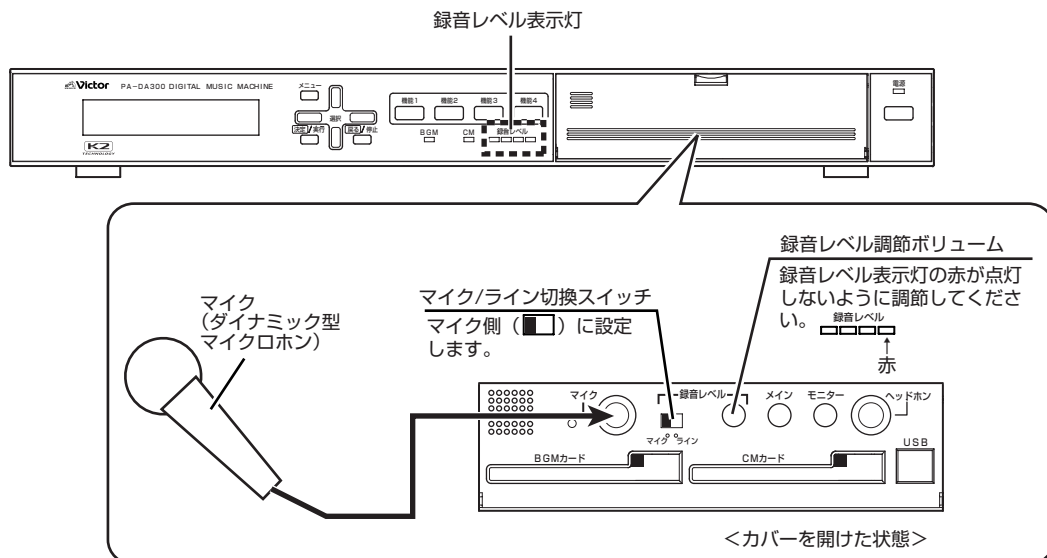


録音する機器を接続する

本機には、前面カバー内にマイク入力端子があります。接続する機器にあわせて接続します。

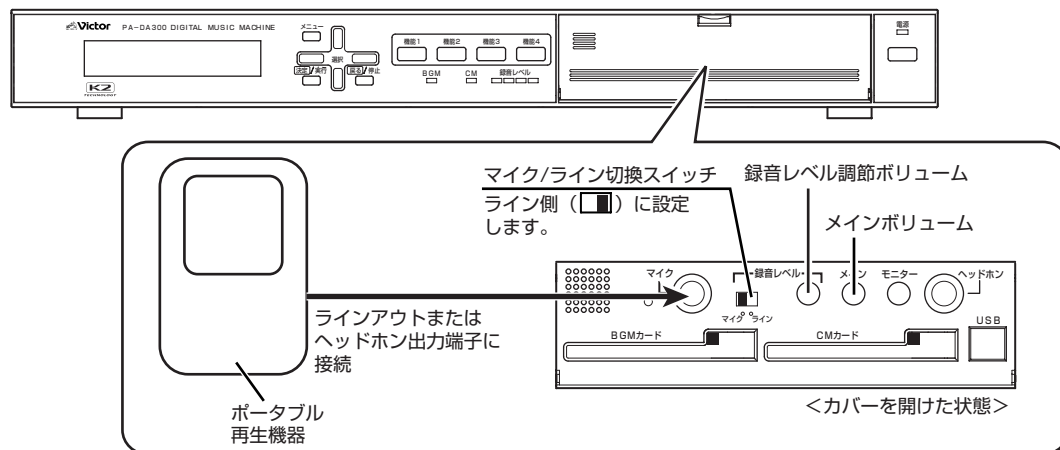
■マイクで録音する場合

- ・本機前面カバー内のマイク / ライン切換スイッチを「マイク」側に設定します。
- ・φ3.5 不平衡ミニプラグ対応のマイクをマイク入力端子に接続します。平衡出力のマイクを使用する場合は、変換プラグを使って不平衡に変換して接続してください。
- ・モノラル入力専用です。「4-1. 音質設定」で音質を設定してください。(P.34 ページ「step1:録音の音質を設定する」参照)



■ポータブル再生機器から録音する場合

- ・本機前面カバー内のマイク / ライン切換スイッチを「ライン」側に設定します。
- ・ステレオ対応のポータブル再生機器を複式(ステレオ)プラグを使って接続すると、LとRの音声をミックスできます。
- ・モノラル入力専用です。「4-1. 音質設定」で音質を設定してください。(P.34 ページ「step1:録音の音質を設定する」参照)



メモ

- 録音待機中および録音中は、ヘッドホン端子、ライン出力端子から音声は出力されません。録音停止後に試聴して確認してください。(P.32 ページ「Step1:CMを録音する」参照)
- 録音したファイルの試聴をしているときの音声は、ヘッドホン端子およびライン出力端子から出力されます。ライン出力端子から音声を出力させたくない場合は、メインボリュームを左側にまわしてください。

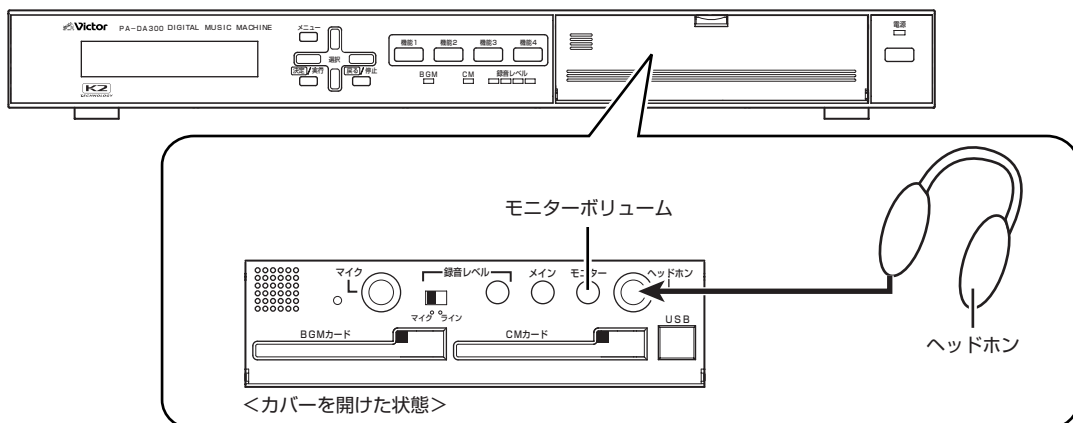
Step2: 外部機器を接続する(つづき)

ヘッドホンを接続する

- ・ライン出力端子から出力している音声と同じ音声をヘッドホンから聴くことができます。
- ・モニターボリュームで音量を調節します。

メモ

- ・ヘッドホン端子にヘッドホンを接続していると、本機内蔵のモニタースピーカーからは音が出されません。ライン出力から音が出されます。

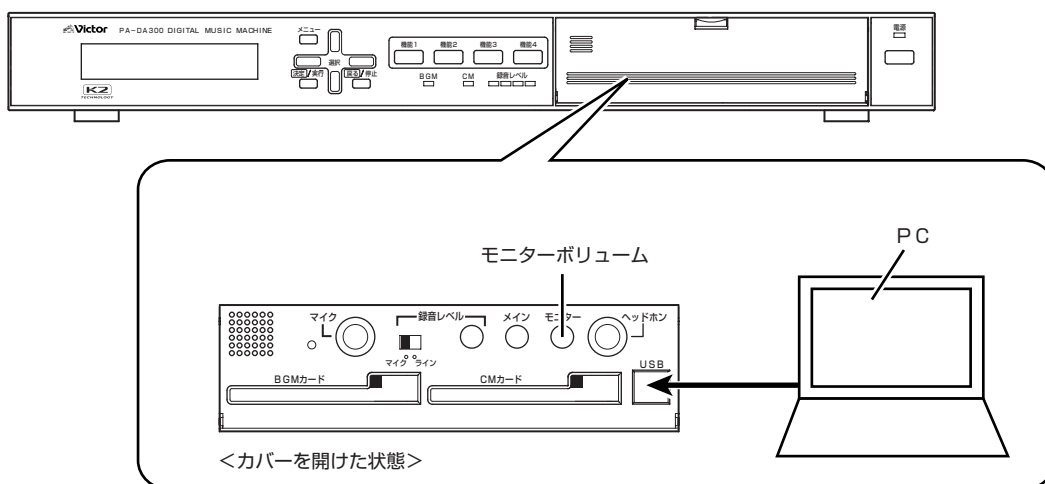


パソコンから本機の設定をする

- ・デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS300A)を使って本機の設定をパソコン(以降、PC と呼びます。)で行うことができます。
- ・本機前面カバー内の USB 端子と PC 側の USB 端子を接続します。
- ・詳しくは、デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS300A)に付属の取扱説明書をご覧ください。

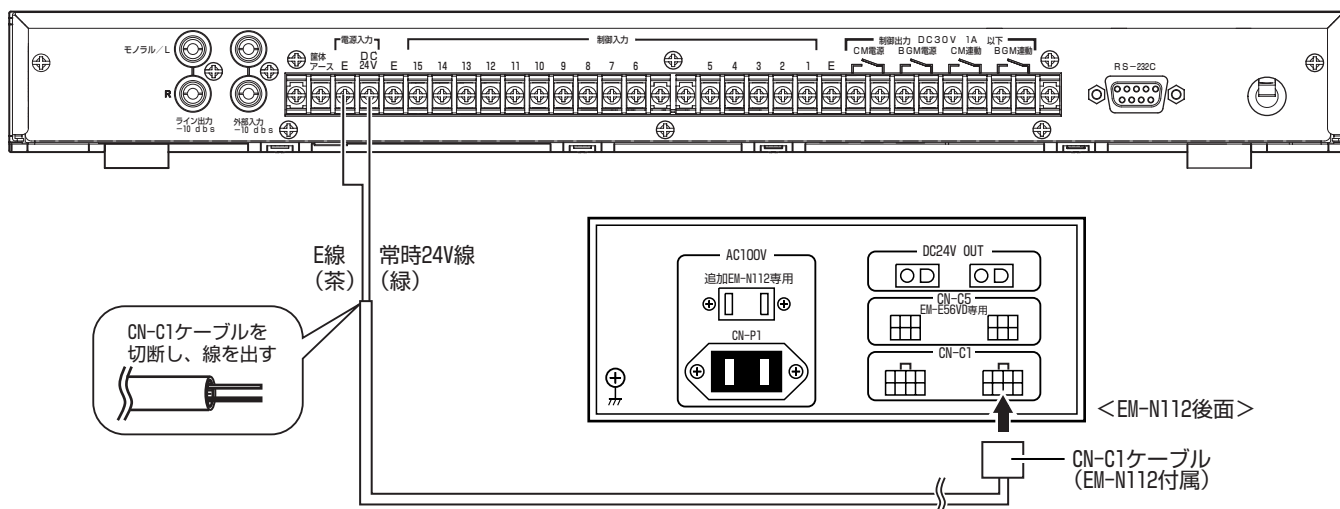
ご注意

- ・デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS300A)は本機に付属されていません。ご使用になりたい場合は、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。



非常電源ユニット(EM-N112) を 接続する

- ・ 停電時でも本機を作動可能にする場合は、非常電源ユニット(EM-N112) を接続してください。
- ・ 停電時は、非常電源ユニットから DC 24 V が出力されます。
- ・ 非常電源ユニットの詳細については、非常用放送設備の設置説明書をご覧ください。
- ・ 本機のDC24 V端子にCN-C1ケーブルの常時24V線(緑)を接続し、本機のE端子にCN-C1ケーブルのE線(茶)を接続します。



ご注意

- ・ 非常用放送設備と組み合わせて使用する場合は、本機専用の非常電源ユニット(EM-N112) を用意し、本機に接続してください。非常用放送設備用の非常電源ユニットには接続しないでください。

Step3: メモリーカードを入れる

■メモリーカードについて

- ・本機では、音声ファイルおよび本機の設定データはすべてメモリーカードに記録します。
- ・メモリーカードは本機の動作に必要なものです。必ず、CM用、BGM用の2枚のメモリーカードを本機に挿入してください。
- ・CM用のメモリーカードとBGM用のメモリーカードは、それぞれ記録されるデータが異なります。本機に挿入する前に、CM用には「CM」、BGM用には「BGM」と記入するなどして判別できるようにしてください。
- ・本機で使用するメモリーカードは、別売りの「デジタルメモリーカード」をご使用ください。「デジタルメモリーカード」の購入については、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。

ご注意

- 必ず指定の「デジタルメモリーカード」(別売)をご使用ください。指定のメモリーカード以外での正常な録音 / 再生などの動作を保証しません。
- 指定のメモリーカード以外を使用すると、音飛びや音切れなどが発生する原因となります。
- 本機の動作中にメモリーカードを取り出したいときは、必ず「5-1. CF 停止」メニューでメモリーカードの動作を停止してから取り出してください。停止せずにメモリーカードを取り出すと、故障の原因となります。(P.14 ページ「メモリーカードを本機から取り出す」参照)
- メモリーカードは精密な電子部品で作られています。静電気による破損を防ぐため、メモリーカードを挿入する前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。

メモ

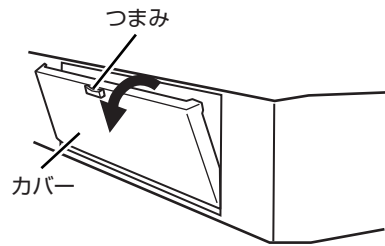
- 設定を保存してある他のメモリーカードに入れ換えるだけで、すべての設定を変更することができます。
- 別途供給のデジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS300A)を使って、PC だけで本機のセットアップを行うことができます。詳しくは、デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS300A)の取扱説明書をご覧ください。

用語について

- CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存するメモリーカード。
CMカードは、本機のCM用メモリーカード挿入口に挿入して使用する。
- BGM カード : 音楽などのミュージックデータを保存するメモリーカード。
BGMカードは、本機のBGM用メモリーカード挿入口に挿入して使用する。

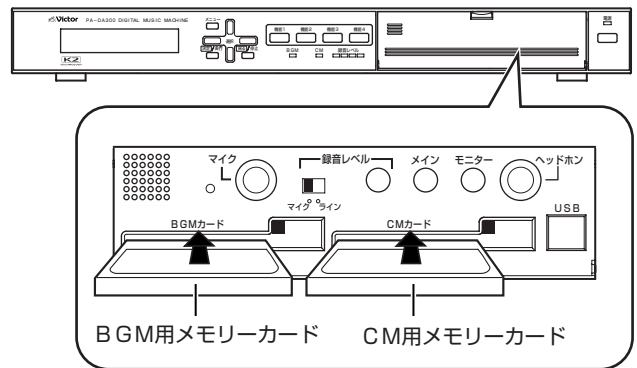
1. 本機前面のカバーを開ける

つまみに指をかけ、手前に開きます。



2. メモリーカードを下図のように本機に入れる

CM用、BGM用に2枚のメモリーカードを奥へ押し込んでください。



3. 本機前面のカバーを閉める

カバー上端の左右両側を押し閉めます。

4. LCD 画面の表示を確認する

- 新品のメモリーカードを挿入した場合
LCD 画面に、『* プレイリストセッテイシテクダサイ』と表示されます。録音および各種設定を行なってください。

*プレイリストセッテイシテクダサイ

- 設定済みのメモリーカードを挿入した場合

- ・LCD 画面に、『タイキチュウ』または『ジッコウチュウ』と表示されます。LCD 画面に、『キドウチュウ...』と表示後、待機中画面または実行中画面が表示されます。

タイキチュウ

<待機中画面>

ジッコウチュウ

<実行中画面>

メモ

- 「2-5. オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。
(P.57 ページ「電源投入時の動作を設定する」参照)

基本的な使い方の設定手順

ここでは、基本的な使い方の手順を説明します。
BGM ファイルや本機で録音した CM ファイルを制御入力端子に割り付けて、制御機器(スイッチやタイマーなど)から本機を起動し、ファイルを再生させるための手順です。

ご注意

- 本機の設定には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- BGM ファイルを再生するには、BGM プレイリストの設定が必要です。BGM プレイリストを設定していない場合は、最初に BGM プレイリストを設定してください。(P.69 ページ「BGM プレイリストを設定する」参照)

メモ

- CM 録音時にファイルを保存すると、CM プレイリストが自動的に作成され本機に登録されます。複数の CM ファイルを 1 つの CM プレイリスト登録して再生する必要が無い場合は、CM プレイリストに関する設定は必要ありません。

用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。

BGM ファイル : BGM 音楽データ。

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したものを。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したものを。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

Step1 CM を録音する(P.32 ページ)
再生するメッセージを録音します。

Step2 再生をする(P.36 ページ)
ファイルおよびプレイリストを再生して確認します。

Step3 制御入力の優先モードを設定する(P.44 ページ)
制御入力端子の優先モード(起動が重なった場合の優先動作)を設定します。

Step4 制御入力の制御方式を設定する(P.48 ページ)
ダイレクトモードまたはバイナリ(2進数)のどちらかに設定します。

Step5 再生ウェイト時間を設定する(P.50 ページ)
アンプの電源が入り、動作するまでの時間を考慮して音声再生する時間を設定します。

Step6 制御入力端子に起動番号と動作を割り当てる(P.51 ページ)
制御入力端子の機能および起動番号ごとの動作を設定します。

Step7 設定した内容を保存する(P.55 ページ)
設定した内容をメモリーカードに保存します。

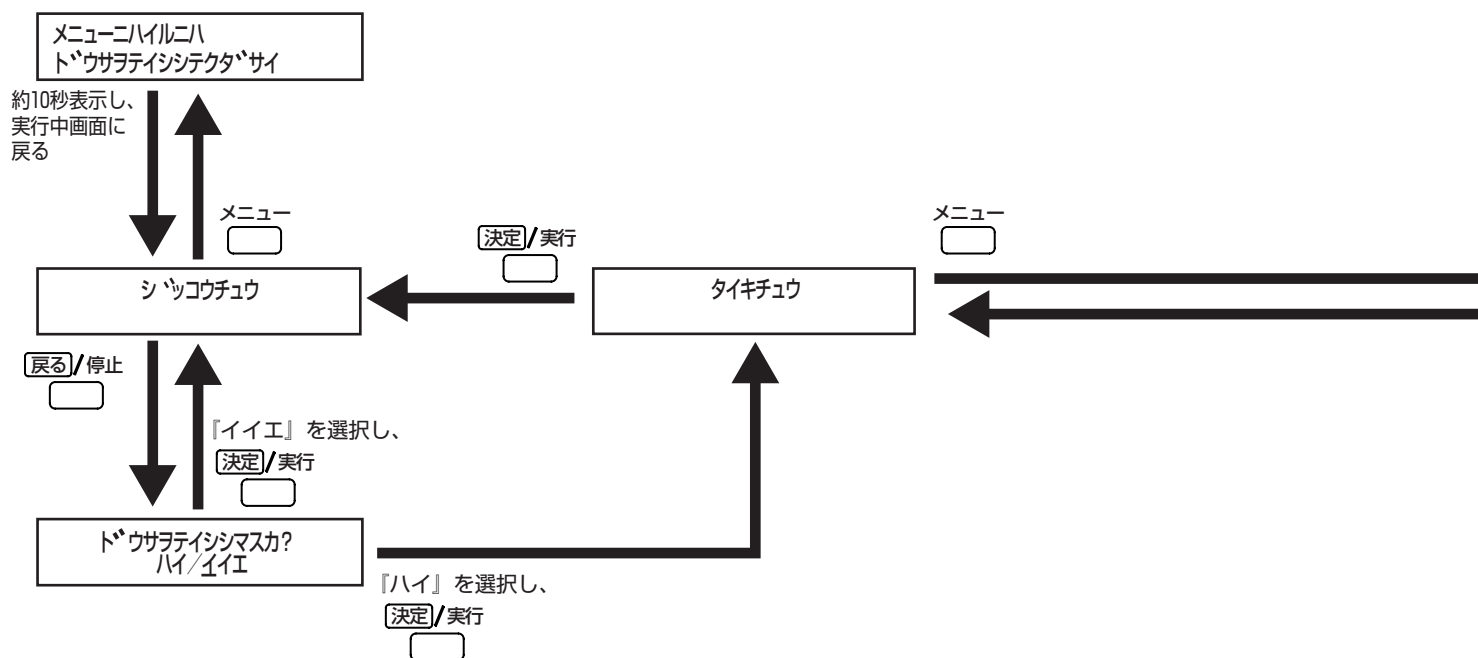
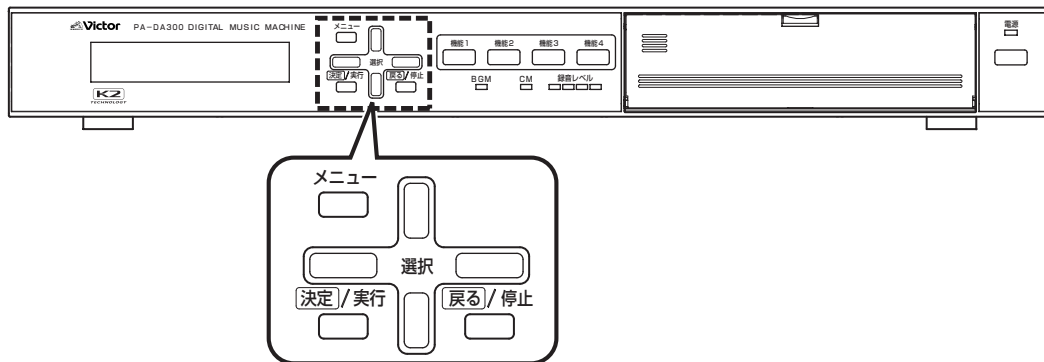
基本的な使い方の設定終了

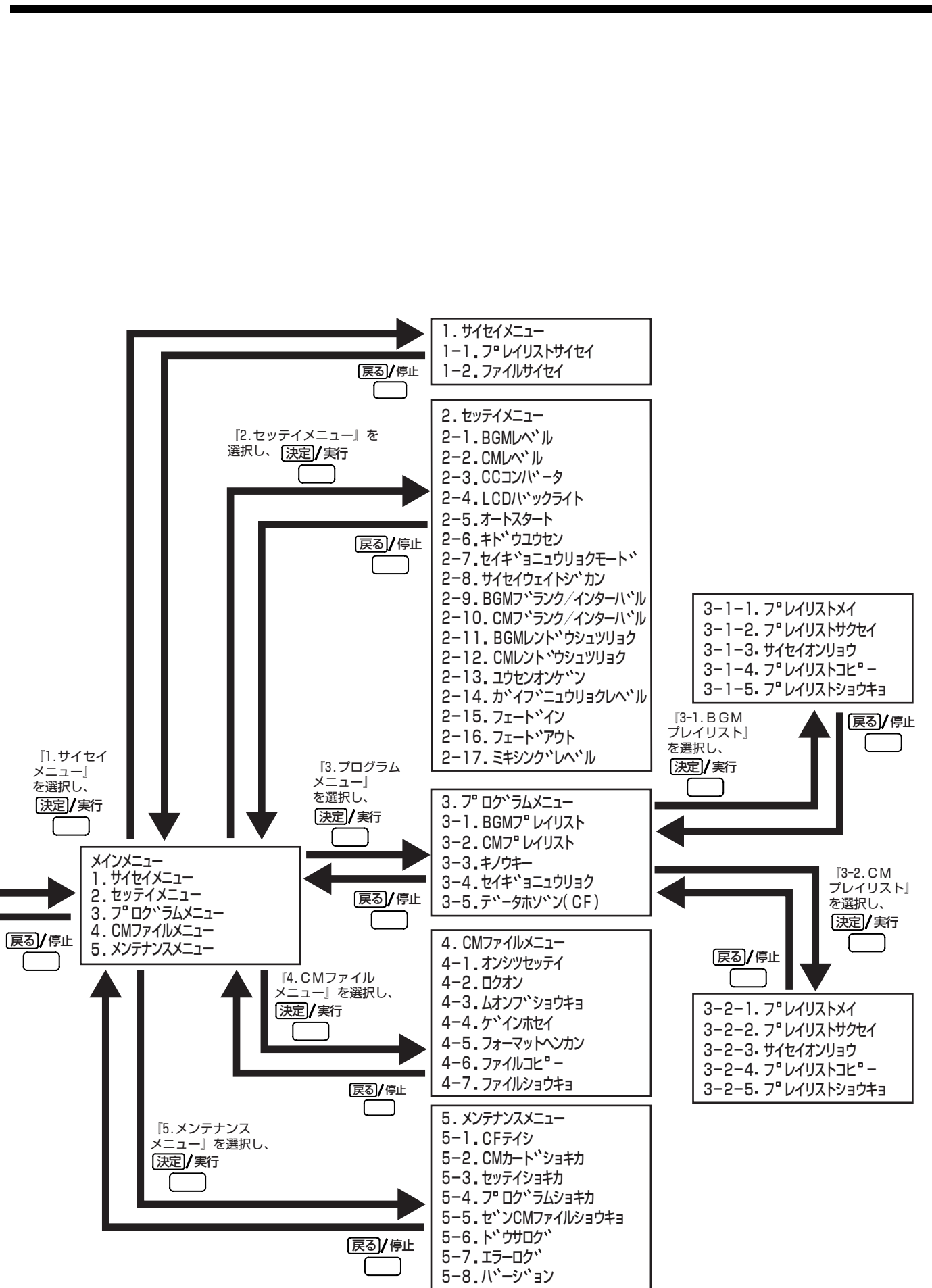
BGM ファイルの作成について

- BGM ファイルは、デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア(PA-ZS300A,別供給品)を使って作成します。
- BGM ファイルの購入を希望する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

メニュー画面の構成

下図は LCD 画面に表示されるメニューとメニュー間の移動構成です。
 本機 LCD 画面は 2 行表示になっています。下位の項目を表示したい場合は、選択上、下ボタンを押してください。





Step 1 : CM を録音する

録音には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

録音手順

step1 録音の音質を設定する (🔍 34 ページ)
録音時の音質、フォーマットを設定します。



step2 録音をする (🔍 34 ページ)
CM ファイルを作成します。



録音終了

用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ご注意

- 録音待機時および録音中は、ヘッドホン端子およびライン出力端子から音声は出力されません。録音停止後に試聴で確認してください。
- 録音した CM ファイルの試聴をしているときの音声は、ヘッドホン端子およびライン出力端子から出力されません。ライン出力端子から音声を出力させたくない場合は、メインボリュームを左側にまわしてください。

メモ

- 本機前面のカバー内にある、マイク入力端子に接続した録音機器から録音ができます。接続方法については、25 ページをご覧ください。
- 本機で録音できる CM ファイル数は、最大 999 ファイルです。
- 本機で作成できる CM プレイリストは最大 499 個です。
- すでに CM プレイリストが 499 個ある場合は、CM ファイル数が 999 個に達していなくても録音することができません。使用しない CM プレイリストを削除してから録音を行なってください。
- 録音した CM ファイルの番号は、C001 から C999 まで自動的につけられます。CM ファイル番号を変更することはできません。CM ファイル番号を指定して録音することはできません。
- 録音終了後に CM ファイルを保存すると、自動的にプレイリストに登録されます。
- CM プレイリスト名は、P001 から P499 まで自動的につけられます。
- CM プレイリスト名は、任意の名前に変更することができます。(🔍 86 ページ「CM プレイリスト名を変更する」参照)
- CM ファイル番号と CM プレイリスト番号は、数字の小さい順に自動的につけられます。ただし、同一番号の CM ファイルと CM プレイリストが両方欠番の番号を優先して割り当てます。

録音の音質について

用語について

CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、CM プレイリスト、BGM プレイリストを保存するメモリーカードです。
CM カードは、本機の CM カード挿入口に入れて使用してください。

- ・本機では、4 種類の録音方式から選択できます。
- ・録音方式によって、音質、CM カードの必要な容量が異なりますので、用途に応じて設定してください。
- ・工場出荷時の設定は『スタンダード - モノラル』です。

■ 録音方式

録音方式	ステレオ / モノラル	サンプリング周波数 (再生周波数)	信号処理方式	備考	連続最長録音時間
ハイスタンダードモノラル	モノラル	44.1 kHz (20 Hz ~ 20 kHz)	LPCM(非圧縮)	音楽 CD と同等。高音質な音楽に適します。	30分
スタンダードモノラル		22.05 kHz (20 Hz ~ 10 kHz)	LPCM(非圧縮)	アナウンスや BGM 用途の音楽に適します。	60分
ハイロングモノラル		44.1 kHz (20 Hz ~ 20 kHz)	μ - law	メモリーカードの容量を節約して長時間録音したい場合に使用します。	60分
ロングモノラル		22.05 kHz (20 Hz ~ 10 kHz)	μ - law		120分

※ 信号方式について

LPCM(Linear Pulse Code Modulation) : 音楽 CD と同様に、デジタル化したデータを圧縮していないため高音質です。ただし、メモリーカードの容量を多く使用します。

μ - law(ミューロー)

: LPCM(16 bit)に対して半分の(8 bit)に圧縮します。
圧縮特性に対数関数を用いることで、音量が小さいときの解像度を上げています。

■ CM カードの容量と録音可能時間の目安

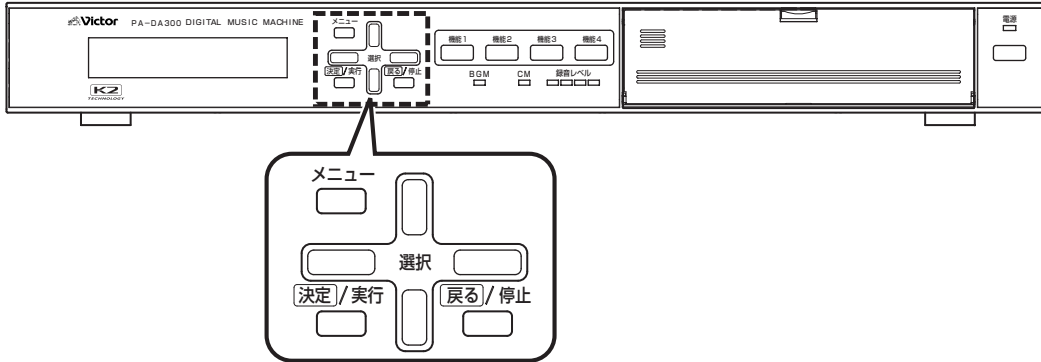
容量	モノラル			
	ハイスタンダード	スタンダード	ハイロング	ロング
128 MB	24分	48分	48分	1時間36分
512 MB	1時間36分	3時間13分	3時間13分	6時間27分

※ 上記は「デジタルメモリーカード」(品番:QAM0961-001(128MB), QAM0961-002(512MB))の場合です。

ご注意

- 録音方式で「ハイロング」および「ロング」に設定した場合、圧縮方式(μ - law 方式)の特性により、音量の小さい部分で雑音(量子化ノイズ)が聞こえることがあります。使用する用途に応じて録音方式を選択してください。

Step 1 : CM を録音する(つづき)



step1:録音の音質を設定する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『4. CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-1. オンシツセッテイ

< CM ファイルメニュー画面 >

3. 音質設定画面を表示する

CM ファイルメニューから『4-1. オンシツセッテイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4-1. オンシツセッテイ
スタンダ-ト-モノラル

< 音質設定画面 >

4. 音質を設定する

- ・選択上、下ボタンで音質を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『ハイ - スタンダ-ト-モノラル』: 44.1 kHz LPCM
『スタンダ-ト-モノラル』 : 22.05 kHz LPCM
『ハイ - ロング - モノラル』 : 44.1 kHz μ -law
『ロング - モノラル』 : 22.05 kHz μ -law
(工場出荷時: 『スタンダ-ト-モノラル』)
- ・音質が確定し、自動的に CM ファイルメニュー画面に戻ります。

step2:録音をする

最大 999 個の CM ファイルを作成できます。

1. 録音待機画面を表示する

CM ファイルメニュー画面から、『4-2. ロクオン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-2. ロクオン

< CM ファイルメニュー画面 >

スタンダ-ト-モノラル
ロクオンカイジシマス [ケッテイ]

step1 で設定した録音音質が表示されます。

< 録音待機画面 >

2. 録音を開始する

録音待機画面表示時に決定 / 実行ボタンを押します。

スタンダ-ト-モノラル
ケイカ 0:00:00 [テイシ]

< 録音中画面 >

メモ

- ・録音中に選択上、下ボタンを押すと、録音残時間画面に切り換わります。

スタンダ-ト-モノラル
ノコリ 0:43:29 [テイシ]

< 録音残時間画面 >

- ・CM ファイル、CM プレイリストに空きが無い場合は、『* アキファイルナシ』または『* アキプレイリストナシ』と表示され、『4. CM ファイルメニュー』画面に戻ります。
- ・CM ファイルを消去しても、CM プレイリスト番号に空きがないと録音できません。不要な CM プレイリストを消去してください。
(96 ページ「CM プレイリストを消去する」参照)

3. 録音を停止する

録音中画面表示時に戻る / 停止ボタンを押し、録音を停止します。

メモ

- メモリーカードの空き容量が無くなると、自動的に録音が停止します。

*アキヨウリョウカ`タリマセン
ロクオンヲ テイシシマシタ [ケッテイ]

4. 録音した CM ファイルを試聴する

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『イエ』を選択すると、試聴せずに手順 6. の保存確認画面が表示されます。

ロクオンテ`キマシタ
シチョウシマスカ? ハイ/イエ

<試聴選択画面>

5. 試聴を終了する

- 最後まで試聴すると、再試聴確認画面が表示されます。
- 再試聴確認画面で『イエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、保存確認画面(手順 6.)が表示されます。
- 『ハイ』を選択すると、再度、再生します。

モウイチド`サイセイ?
ハイ/イエ

<再試聴選択画面>

メモ

- 試聴時の音声は、本機内蔵モニタースピーカー、ヘッドホン端子、ライン出力端子から出力されます。
ただし、本機背面の制御出力の CM アンプ電源端子は制御信号を出力しません。
- 試聴中に戻る / 停止ボタンを押すと、保存確認画面(手順 6.)が表示されます。

6. 保存をする

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。保存が終了し、保存終了画面が表示されます。
- 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、録音待機画面に戻ります。
次の CM ファイルを録音する場合は、決定 / 実行ボタンを押すと録音を開始します。

ホソバンシマスカ?
ハイ/ロクオンヤリナオシ

<保存確認画面>

CM ファイル番号

C00 P00
ホソバンシマシタ [ケッテイ] CM プレイリスト名

<保存終了画面>

メモ

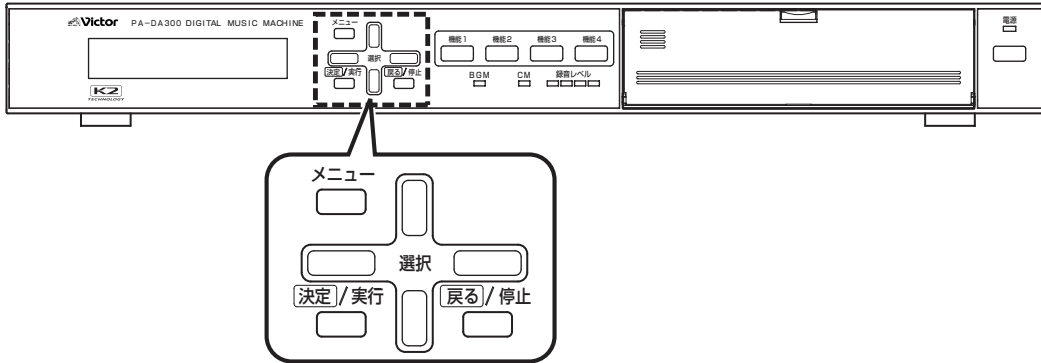
- 保存確認画面で『ロクオンヤリナオシ』を選択すると、保存をせずに録音待機画面に戻ります。
- CM プレイリスト名は、任意の名前に変更できます。
(▶ 86 ページ「CM プレイリスト名を変更する」参照)

7. 録音を終了する

録音待機画面で戻る / 停止ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

Step2: 再生をする

- ・ 録音済みの各 CM ファイルや各 BGM ファイル、および作成したプレイリストを試聴することができます。
- ・ 音声は、下記の出力で確認できます。
 - ・ 本機内蔵のモニタースピーカー
 - ・ ヘッドホン端子
 - ・ ライン出力端子 (モノラル/L 端子および R 端子)



用語について

CM ファイル	: 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
メッセージ	: 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	: 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	: CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
	BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM プレイリストを再生する

CM プレイリストに登録されている CM ファイルをすべて再生します。

ご注意

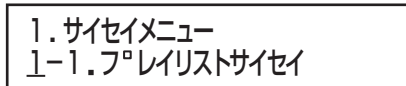
- 再生モード(連続/単独)、再生回数、シャッフルなどの設定は、プレイリストに対する設定ではありませんので、「1. 再生メニュー」での再生では反映されません。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・ システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・ 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

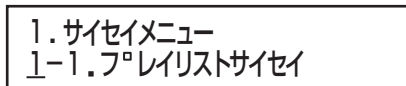
メインメニューから「1. サイセイメニュー」を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<再生メニュー画面>

3. BGM/CM 選択画面を表示する

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで「1-1. プレイリストサイセイ」を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<再生メニュー画面>



< BGM/CM 選択画面 >

4. BGM/CM 選択画面で『CM』を選択する

選択左、右ボタンで『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-1. プレイリストサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM 選択画面 >

5. プレイリスト選択画面で再生するCMプレイリストを選択する

選択上、下ボタンで CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-1. プレイリストサイセイ
センタク 001>P001

< プレイリスト選択画面 >

メモ

- 選択したCMプレイリストにメッセージ(ファイル)が登録されていない場合は、『* プレイリストラサクセイシテクダサイ』と表示され、プレイリスト選択画面に戻ります。

6. 再生する音量を設定する

選択上、下ボタンで 0(小音量)～9(大音量)の値に設定し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時:『9』)

1-1. プレイリストサイセイ
オオキサ 9

< 音量設定画面 >

7. 再生回数を選択する

選択左、右ボタンで、『1 カイ』または『リピート』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-1. プレイリストサイセイ
センタク: 1カイ/リピート

< 再生回数選択画面 >

8. 再生をする

- 再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『モデル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト選択画面に戻ります。

CM: P001
サイセイ/モデル

< 再生選択画面 >

メモ

- 再生中に次のメッセージにスキップしたい場合は、再生中画面で『ススム』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 再生中のメッセージを最初から試聴したい場合は、再生中画面で『モデル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。再生中のメッセージの一つ前のメッセージに戻りたい場合は、『モデル』を選択し、決定 / 実行ボタンを2回続けて押します。

CM: P001 C001 R
サイセイ←モデル/テイシ/ススム→

< 再生中画面 >

- 手順 6. で再生回数を『リピート』に設定している場合、LCD 画面の右上に『R』と表示されます。

CM: P001 C001 R
サイセイ←モデル/テイシ/ススム→

リピート再生
表示

- エラーが発生したときは、『* エラー』と表示されます。

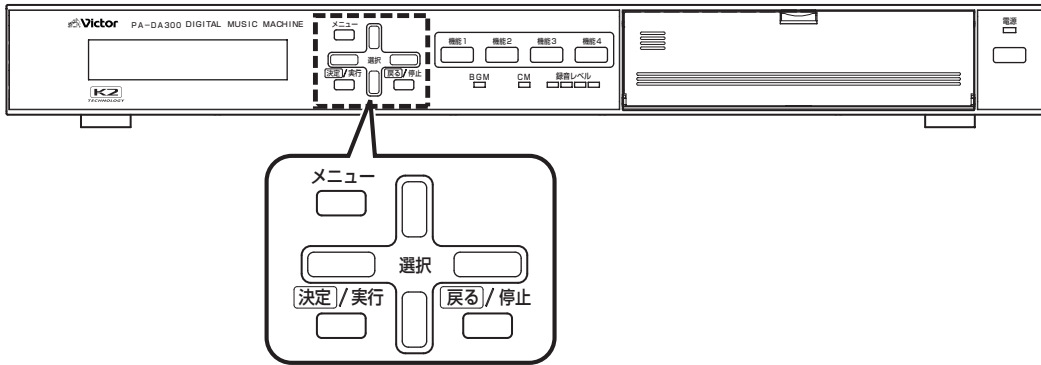
9. 再生を停止する

- 再生中画面で『テイシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 再生を終了し、プレイリスト選択画面に戻ります。

CM: P001 C001 R
サイセイ←モデル/テイシ/ススム→

< 再生中画面 >

Step2: 再生をする(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリストを再生する

- ・ BGM プレイリストに登録されている BGM ファイルをすべて再生します。
- ・ 再生するには、あらかじめ BGM ファイルを、BGM プレイリストにミュージック登録する必要があります。
(☞ 69 ページ「BGM プレイリストを設定する」参照)

ご注意

- 再生モード(連続/単独)、再生回数、シャッフルなどの設定は、プレイリストに対する設定ではありませんので、「1. 再生メニュー」での再生では反映されません。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・ システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・ 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1. サイセイメニュー
1-1. プレイリストサイセイ

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM 選択画面を表示する

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-1. プレイリストサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1. サイセイメニュー
1-1. プレイリストサイセイ

<再生メニュー画面>

1-1. プレイリストサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM 選択画面 >

4. BGM/CM 選択画面で『BGM』を選択する

選択左、右ボタンで『BGM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-1. プレイリストサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM 選択画面 >

5. プレイリスト選択画面で再生するBGMプレイリストを選択する

選択上、下ボタンでBGMプレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-1. プレイリストサイセイ
センタク 501 > P501

< BGMプレイリスト選択画面 >

メモ

- 選択したBGMプレイリストにミュージック(ファイル)が登録されていない場合は、『* プレイリストヲサイセイシテクダサイ』と表示され、BGMプレイリスト選択画面に戻ります。

6. 再生する音量を設定する

選択上、下ボタンで0(小音量)～9(大音量)の値に設定し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時:「9」)

1-1. プレイリストサイセイ
オオキサ 9

< 音量設定画面 >

7. 再生回数を選択する

選択上、右ボタンで、『1 カイ』または『リピート』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-1. プレイリストサイセイ
センタク: 1カイ/リピート

< 再生回数選択画面 >

8. 再生をする

- 再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『モドル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト選択画面に戻ります。

BGM: P501
サイセイ/モトル

< 再生選択画面 >

メモ

- 再生中に次のミュージックにスキップしたい場合は、再生中画面で『ススム』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 再生中のミュージックを最初から試聴したい場合は、再生中画面で『モドル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。再生中のミュージックの一つ前のミュージックに戻りたい場合は、『モドル』を選択し、決定 / 実行ボタンを2回続けて押します。

BGM: P501 B001 R
サイセイ←モトル/テイシ/ススム→

< 再生中画面 >

- 手順 6. で再生回数を『リピート』に設定している場合、LCD画面の右上に『R』と表示されます。

BGM: P501 B001 R
サイセイ←モトル/テイシ/ススム→

リピート再生
表示

- エラーが発生したときは、『* エラー』と表示されます。

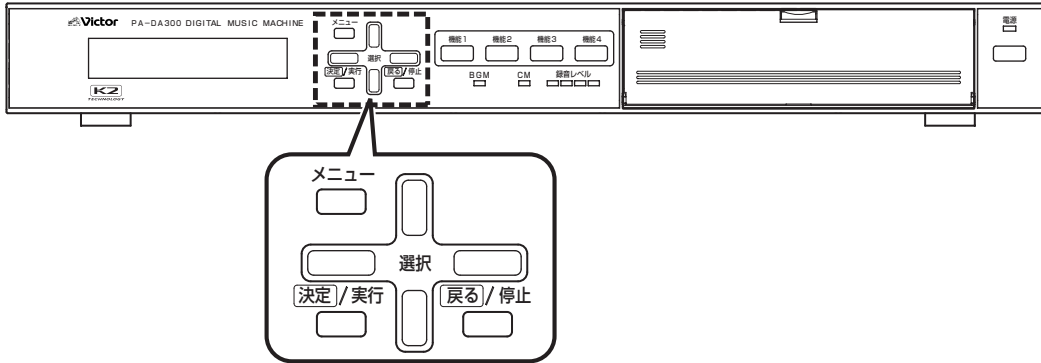
9. 再生を停止する

- 再生中画面で『テイシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 再生を終了し、プレイリスト再生選択画面に戻ります。

BGM: P501 B001 R
サイセイ←モトル/テイシ/ススム→

< 再生中画面 >

Step2: 再生をする(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM ファイルを再生する

選択した CM ファイルのみを再生します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1. サイセイメニュー
1-1. プレイリストサイセイ

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM ファイル選択画面を表示する

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-2. ファイルサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1. サイセイメニュー
1-2. ファイルサイセイ

<再生メニュー画面>

1-2. ファイルサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM ファイル選択画面 >

4. BGM/CM ファイル選択画面で『CM』を選択する

選択左、右ボタンで『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-2. ファイルサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM ファイル選択画面 >

5. ファイル再生選択画面でファイル番号と音量を設定する

- ・ 選択左、右ボタンで項目(『センタク』または『オオキサ』)を選択し、選択上、下ボタンで設定します。
 - ・ 設定が終わったら、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『センタク』:再生したい CM ファイル番号を選択します。
『オオキサ』:音量を設定します。0(小音量)～9(大音量)
(工場出荷時:『07』)

1-2. ファイルサイセイ センタク:C001 オオキサ 07

<ファイル再生選択画面>

6. CM ファイルを再生する

- ・ 再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『モデル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ファイル再生選択画面(手順 5.)に戻ります。

ファイルサイセイ C001 オオキサ 07 サイセイ/モデル

<再生選択画面>

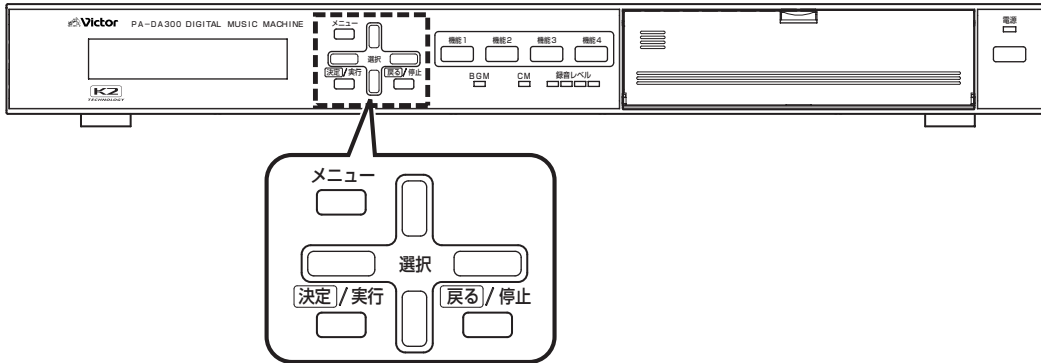
メモ

- ・ 存在していないファイル番号を選択した場合、『* ファイルエラー』と表示されます。

7. ファイルの再生を終了する

- ・ 最後まで再生すると、自動的にファイル再生選択画面に戻ります。
- ・ ファイルの再生中に戻る / 停止ボタンを押すと、再生を停止し、ファイル再生選択画面に戻ります。

Step2: 再生をする(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM ファイルを再生する

選択した BGM ファイルのみを再生します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1. サイセイメニュー
1-1. プレイリストサイセイ

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM ファイル選択画面を表示する

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-2. ファイルサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1. サイセイメニュー
1-2. ファイルサイセイ

<再生メニュー画面>

1-2. ファイルサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM ファイル選択画面 >

4. BGM/CM ファイル選択画面で『BGM』を選択する

選択左、右ボタンで『BGM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

1-2. ファイルサイセイ
センタク: BGM/CM

< BGM/CM ファイル選択画面 >

5. ファイル再生選択画面でファイル番号と音量を設定する

- ・ 選択左、右ボタンで項目(『センタク』または『オオキサ』)を選択し、選択上、下ボタンで設定します。
 - ・ 設定が終わったら、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『センタク』:再生したい BGM ファイル番号を選択します。
『オオキサ』:音量を設定します。0(小音量)～9(大音量)
(工場出荷時:『07』)

1-2. ファイルサイセイ
センタク: B001 オオキサ 07

<ファイル再生選択画面>

6. BGM ファイルを再生する

- ・ 再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『モデル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ファイル再生選択画面(手順 5.)に戻ります。

ファイルサイセイ B001
オオキサ 07 サイセイ/モデル

<再生選択画面>

メモ

- ・ 存在していないファイル番号を選択した場合、『* ファイルエラー』と表示されます。

7. ファイルの再生を終了する

- ・ 最後まで再生すると、自動的にファイル再生選択画面に戻ります。
- ・ ファイルの再生中に戻る / 停止ボタンを押すと、再生を停止し、ファイル再生選択画面に戻ります。

Step3: 制御入力の優先モードを設定する

- ・この優先モード設定では、CM プレイリスト同士または BGM プレイリスト同士の再生が重なった場合の動作について設定します。CM プレイリストと BGM プレイリストの再生が重なった場合は、同時に再生(ミックス出力)されます。
- ・機能ボタンおよび本機背面の制御入力端子から、本機を制御する場合の制御モード(起動優先モード)の設定をします。
- ・制御入力端子の制御信号の入力方式には「パルス方式」と「レベル方式」の 2 つがあります。
- ・再生中に別の制御信号が入力された場合の優先順位を「後優先」、「先優先」、「順次記憶」から選択できます。
- ・本機では、下表の 5 つの起動優先モードから選択します。(工場出荷時:「アトーパルス」)

メモ

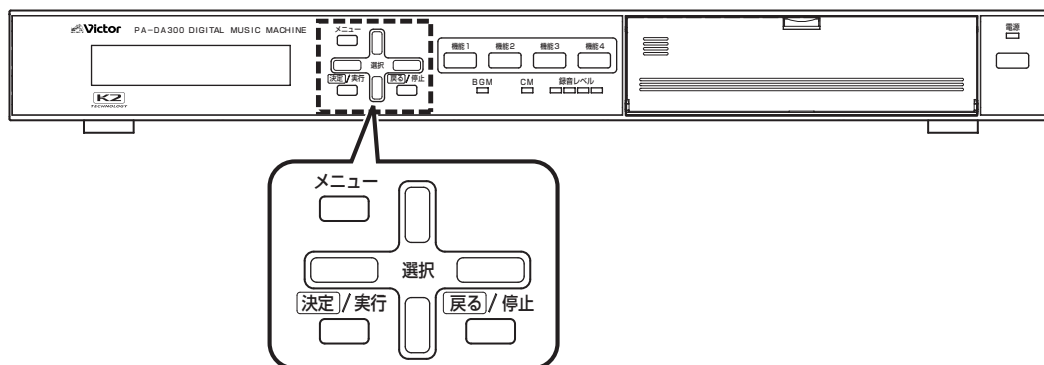
- 機能ボタンによる操作の場合、「レベル方式」でもボタンを連続で押し続ける必要はありません。一度オンにすると、設定されているプレイリストを最後まで再生します。その他仕様については、制御入力と同じ動作となります。
- 「レベル方式」の場合、単独再生、再生回数、「停止」信号は無効となります。
- 起動優先モードの設定の他に、緊急指定により、指定のプレイリストの優先順位を高くすることができます。

起動優先モード	LCD 画面表示	動作
後優先パルス	『アトーパルス』	<ul style="list-style-type: none"> ・後から入力された制御信号を優先します。 ・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次の再生に移行します。 ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。 ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。
先優先パルス	『サキーパルス』	<ul style="list-style-type: none"> ・先に入力された制御信号による動作を優先します。 ・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。 ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。 ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。
後優先レベル	『アトーレベル』	<ul style="list-style-type: none"> ・後から入力された制御信号を優先します。 ・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次の再生に移行します。 ・レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。
先優先レベル	『サキーレベル』	<ul style="list-style-type: none"> ・先に入力された制御信号による動作を優先します。 ・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。 ・レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。
順次記憶パルス	『ジュンジ キオク』	<ul style="list-style-type: none"> ・再生中に制御信号が入力されると、入力された順番に記憶します。 ・再生中のプレイリストを最後まで再生し、再生が終了すると順次再生します。 ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。 ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止して記憶している次のプレイリストを再生します。 ・BGM プレイリスト、CM プレイリストを、それぞれ最大 16 個(合計 32 個)まで記憶できます。 ・「停止」信号を 3 秒以上入力すると、記憶を消去できます。

ご注意

- パルス方式において、「再生モード」が「連続」の場合は 1 回のパルスでプレイリストを最後まで再生し、「再生モード」が「単独」の場合は 1 回のパルスで 1 ステップ再生します。

■ 優先モード設定



1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル

<設定メニュー画面>

3. 起動優先モード選択画面を表示する

- ・設定メニュー画面から、『2-6. キトウユウセン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-6. キトウユウセン

<設定メニュー画面>

2-6. キトウユウセン
アト-ハルズ

<起動優先モード選択画面>

4. 起動優先設定を選択する

- ・選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

2-6. キトウユウセン
アト-ハルズ

<起動優先モード選択画面>

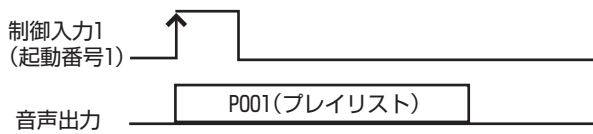
Step3: 制御入力の優先モードを設定する (つづき)

パルス方式とレベル方式について

下記の内容は、制御入力 1 端子(起動番号 1)に CM プレイリスト P001、制御入力 2 端子(起動番号 2)に CM プレイリスト P002 を割り付けた場合を例として説明しています。

■パルス方式の基本動作

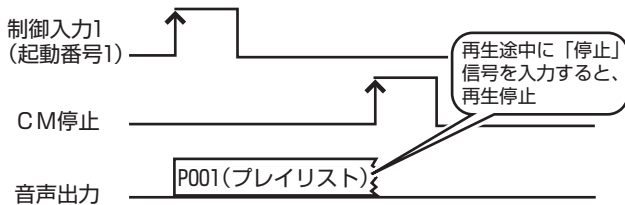
- ・制御信号の立ち上がりを検出して、プレイリストを再生します。



メモ

- ・制御信号は、100 ms 以上のパルスを入力してください。
- ・連続して制御信号が入力されても、再生は 1 回だけです。
- ・再生回数が設定されている場合は、設定されている回数を繰り返して再生します。

- ・制御入力 15 端子に「CM 停止」の動作を割り当てると、再生を途中で停止することができます。



メモ

- ・停止信号は、100 ms 以上のパルスを入力してください。なお、順次記憶モードの場合は、3 秒以上の停止信号を入力すると記憶が消去されます。記憶を消去しない場合は、2 秒以下のパルスを入力してください。
- ・「CM 停止」および「BGM 停止」信号が入力されると、それぞれ再生中のプレイリストを個別に停止することができます。

■レベル方式の基本動作

- ・制御信号の立ち上がりを検出して再生を開始し、制御信号が連続的に入力されている間、繰り返し再生します。

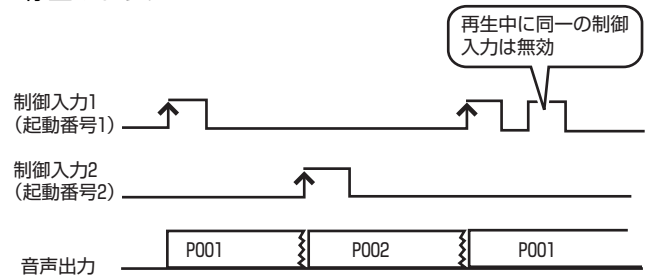


優先順位について

下記の内容は、制御入力 1 端子(起動番号 1)にプレイリスト P001、制御入力 2 端子(起動番号 2)にプレイリスト P002 を割り付けた場合を例として説明しています。

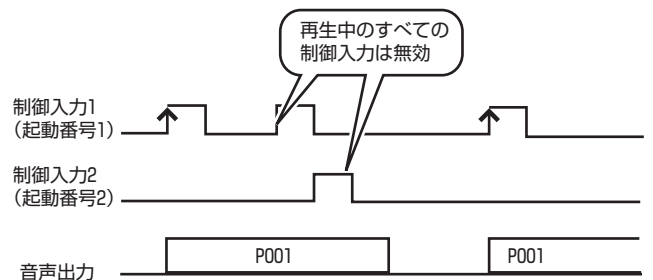
■後優先パルス

- ・後から入力された制御信号を優先します。
- ・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次のプレイリストを再生します。
- ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。
- ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。



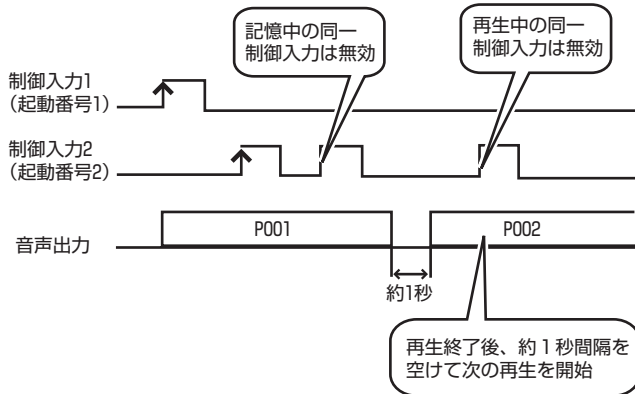
■先優先パルス

- ・先に入力された制御信号による動作を優先します。
- ・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。
- ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。
- ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。



■ 順次記憶パルス

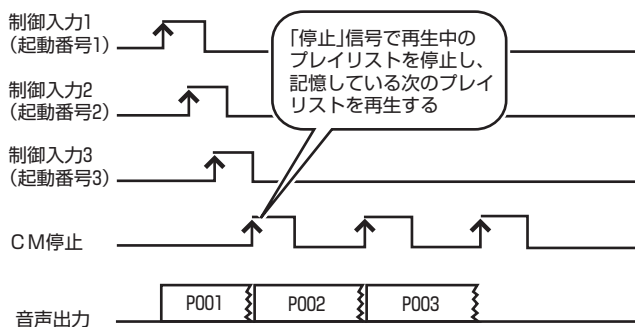
- 再生中に制御信号が入力されると、入力された順番に記憶します。
- BGM プレイリスト、CM プレイリストそれぞれ最大 16 個(合計 32 個)まで記憶できます。
- 再生中のプレイリストを最後まで再生し、再生が終了すると順次再生します。
- パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。



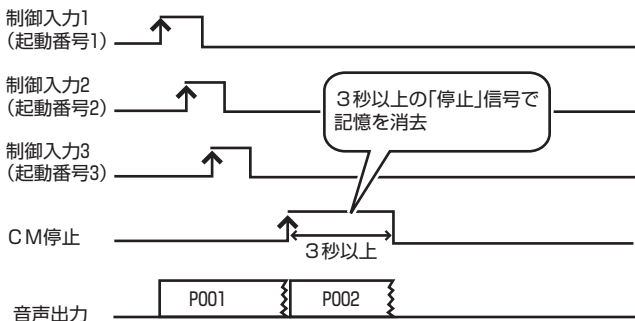
メモ

- 記憶中および再生中の同一制御入力は無効です。再生終了前に繰り返し同一の制御信号を入力しても再生するのは 1 回のみです。

- 「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止して記憶している次のプレイリストを再生します。

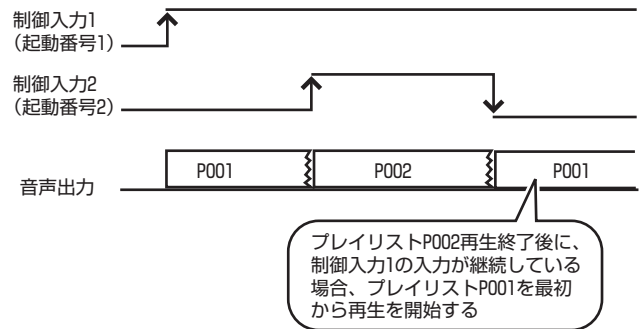


- 「停止」信号を 3 秒以上入力すると、記憶を消去できます。



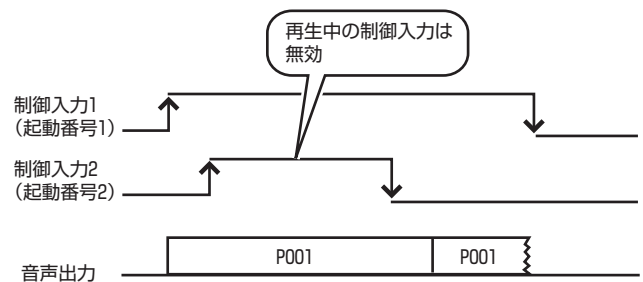
■ 後優先レベル

- 後から入力された制御信号を優先します。
- 再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次の再生に移行します。
- レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。



■ 先優先レベル

- 先に入力された制御信号による動作を優先します。
- 再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。
- レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。



Step4: 制御入力の制御方式を 設定する

- ・ 本機背面の制御入力端子を使って制御機器から本機を制御する場合、「ダイレクトモード」、「バイナリモード」の2つから選択できます。(工場出荷時:「ダイレクトモード」)
- ・ 各制御入力モードの接続方法については 22 ページ、23 ページをご覧ください。

制御入力モード	特徴
ダイレクトモード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制御入力 1 ~ 15 端子にプレイリストを割り付け、直接再生します。 ・ 最大 15 個のプレイリストが再生できます。 ・ 制御入力からの制御で録音 / 消去ができます。
バイナリモード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制御入力 1 ~ 10 端子とスタート端子(制御入力 13 端子)で、プレイリストを選択して再生します。 ・ CM プレイリストと BGM プレイリストを、最大で各 499 個(計 998 個)の再生できます。

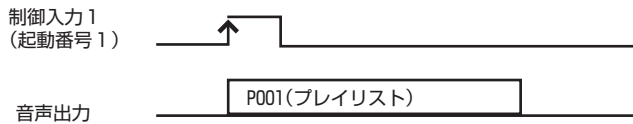
メモ

- ・ プレイリストは、起動番号 E001 ~ E999 に割り付けます。
(51 ページ「Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)
- ・ 「バイナリモード」に設定すると、制御入力端子に「スタート」、「停止」などの機能が自動的に設定されます。
- ・ 「バイナリモード」では、制御入力 1 ~ 10 端子バイナリ(2進数)信号を入力することで、起動番号 E001 ~ E999 を選択します。
- ・ 「ダイレクトモード」での制御入力 1 ~ 15 端子は、起動番号 E001 ~ E015 に対応しています。
- ・ バイナリ(2進数)信号 - 起動番号対応表は 136 ページをご覧ください。

■ダイレクトモードの制御方法について

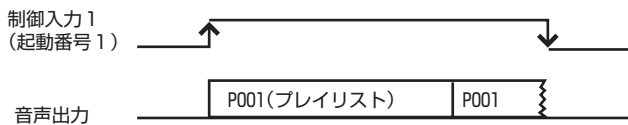
パルス方式:

制御入力 1 ~ 15 で起動番号を直接指定して再生開始します。



レベル方式:

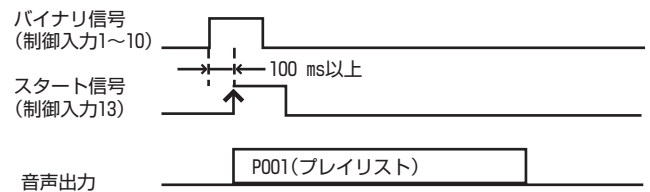
制御入力 1 ~ 15 で起動番号を直接指定し、制御入力が連続的に入力されている間、繰り返し再生します。



■バイナリモードの制御方法について

パルス方式:

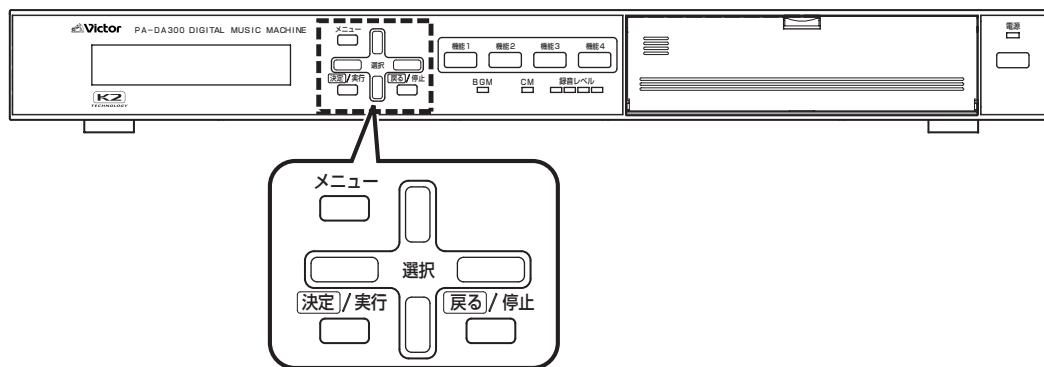
バイナリ信号(制御入力 1 ~ 10 端子)で起動番号を指定し、スタート信号が立ち上がると再生を開始します。



メモ

- ・ バイナリモードではパルス方式のみ対応しています。レベル方式には対応していません。
- ・ バイナリ信号入力からスタート信号入力までの時間は 100 ms 以上空けてください。

■ 制御方式設定



1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル

<設定メニュー画面>

3. 制御入力モード選択画面を表示する

- ・設定メニュー画面から、選択上、下ボタンで『2-7. セイギョニュウリョクモード』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-7. セイギョニュウリョクモード

<設定メニュー画面>

2-7. セイギョニュウリョクモード
ダイレクト/バイナリ

<制御入力モード選択画面>

4. 制御入力モードを選択する

- ・制御入力モード選択画面から、選択左、右ボタンで『ダイレクト』または『バイナリ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

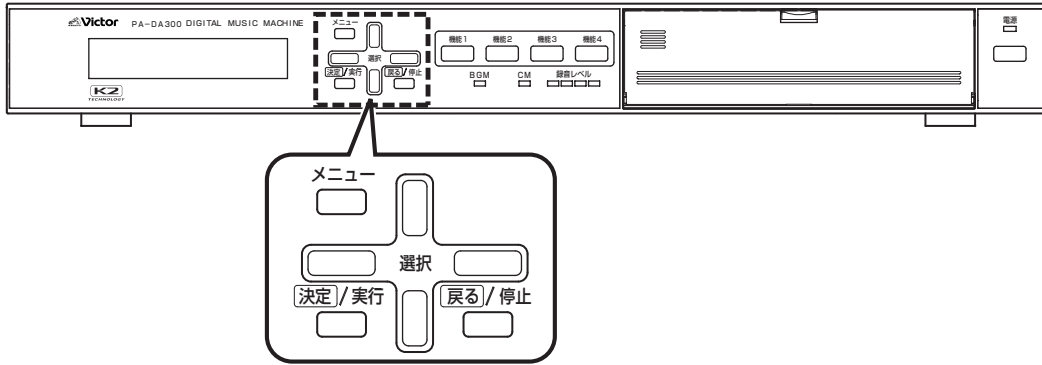
『ダイレクト』 : 制御入力 1 ~ 15 の各端子に 1 つの動作を割り当てます。

『バイナリ』 : 2 進数で動作を割り当てます。制御入力 1 ~ 10 の各端子に入力された 2 進数の組み合わせで動作を割り当てます。

(☞ 136 ページ「2 進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表」参照)

Step5: 再生ウェイト時間を設定する

- ・制御信号が入力されてからプレイリストの再生を開始するまでのウェイト(遅延)時間を0秒～99秒の間で設定できます。
- ・本機でアンプ電源の入 / 切を制御する場合、アンプの電源が入るまでの時間による音切れのない放送をする場合などに使用します。
- ・機器の接続については、19 ページをご覧ください。



1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. 再生ウェイト時間設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-8. サイセイウエイツィカン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-8. サイセイウエイツィカン

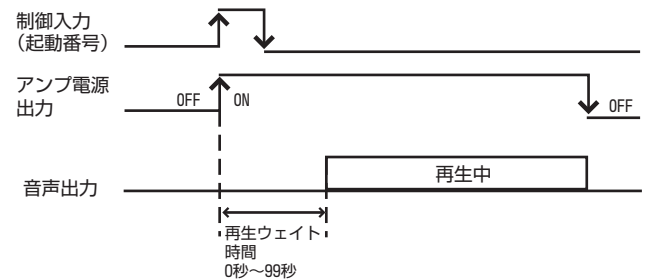
<設定メニュー画面>

2-8. サイセイウエイツィカン
ビョウ: 00

<再生ウェイト時間設定画面>

4. 再生ウェイト時間を設定する

- ・選択上、下ボタンで、『00』秒～『99』秒の間を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時: 0 秒)



- ・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる

- ・本機背面の制御入力端子に機能を設定します。
- ・制御入力方式を「ダイレクトモード」か「バイナリモード」に設定(🔍 48 ページ)しているかで、制御入力端子に設定できる機能が違います。
- ・「プレイリスト」を設定した場合、再生するプレイリスト、再生動作(再生モード、再生回数など)の設定をします。

制御入力端子の機能設定について

■ダイレクトモードの場合

- ・制御入力 1 ~ 15 端子は、起動番号 E001 ~ E015 に対応しています。
- ・起動番号 E001 ~ E015 に対応して、「プレイリスト」、「フェード」、「録音」、「消去」、「停止」または「なし」のいずれかの機能を設定します。
- ・「プレイリスト」を選択した場合、再生するプレイリスト、再生動作(再生モード、再生回数など)の設定をします。

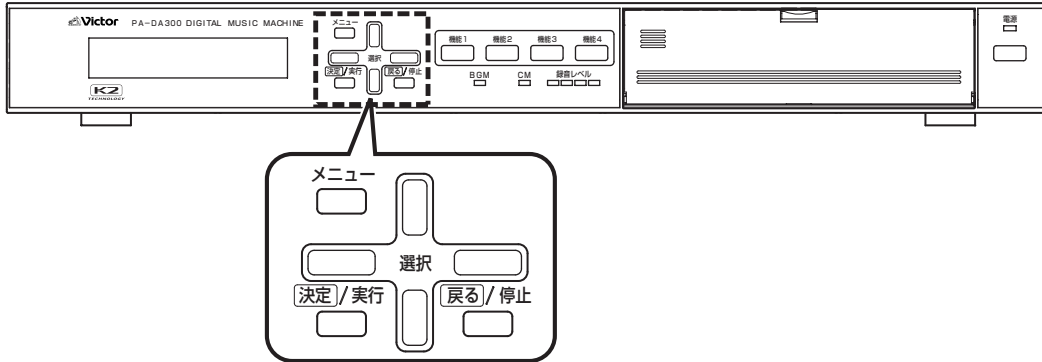
制御入力端子	起動番号	設定内容
1	E001	「プレイリスト」または「なし」
2	E002	
3	E003	
4	E004	
5	E005	
6	E006	
7	E007	
8	E008	
9	E009	
10	E010	
11	E011	「プレイリスト」または「フェード」または「なし」
12	E012	「プレイリスト」または「CM 録音」または「なし」
13	E013	「プレイリスト」または「CM 消去」または「なし」
14	E014	「プレイリスト」または「BGM 停止」または「なし」
15	E015	「プレイリスト」または「CM 停止」または「なし」

■バイナリモードの場合

- ・制御入力端子の機能は、自動的に設定されます。
- ・起動番号 E001 ~ E999 に対して、再生するプレイリスト、再生動作(再生モード、再生回数など)の設定をします。

制御入力端子	設定内容	備考
1	バイナリ信号入力 1	バイナリ信号入力により、起動番号「E001」~「E999」を選択
2	バイナリ信号入力 2	
3	バイナリ信号入力 3	
4	バイナリ信号入力 4	
5	バイナリ信号入力 5	
6	バイナリ信号入力 6	
7	バイナリ信号入力 7	
8	バイナリ信号入力 8	
9	バイナリ信号入力 9	
10	バイナリ信号入力 10	
11	「フェード」	最優先音源をミキシングレベルまで下げる
12	不使用	
13	「スタート」	選択された起動番号の「スタート」(再生開始)信号入力
14	「BGM 停止」	BGM 用「停止」信号入力
15	「CM 停止」	CM 用「停止」信号入力

Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる (つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に起動番号と動作を 割り当てる

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(136 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから「3. プログラムメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. 起動番号選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、「3-4. セイギョニュウリョク」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-4. セイギョニュウリョク

<プログラムメニュー画面>

3-4. セイギョニュウリョク
センタク: E001 P001

<起動番号選択画面>

4. 設定する起動番号を選択する

- ・選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・Step3 で設定した制御方式によって、設定できる起動番号数が違います。

『ダイレクト』: 『E001』～『E015』から選択可能。

『バイナリ』: 『E001』～『E999』から選択可能。

(136 ページ「2進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表」参照)

3-4. セイギョニュウリョク
センタク: E001 P001

起動番号

<起動番号選択画面>

選択している
制御入力に設定
されている動作
(プレイリスト名)

5. 動作を割り当てる

- ・選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・動作選択画面で『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 6. に進みます。
- ・動作選択画面で『ナシ』、『BGM テイシ』、『CM テイシ』、『CM ショウキョ』、『CM ロクオン』、『フェード』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、起動番号選択画面に戻ります。

キトウバンゴウ E001
センタク:ナシ

<動作選択画面>

- 『プレイリスト』 : 信号が入力されると、プレイリストを再生します。
『E001』～『E999』で選択可能。
- 『ナシ』 : 信号が入力されても動作しません。
『E001』～『E999』で選択可能。
- 『CM ロクオン』 : 信号が入力されると、録音を開始します。
『E012』でのみ選択可能。
- 『CM テイシ』 : 信号が入力されると、CM 再生動作を停止します。
『E015』でのみ選択可能。
- 『BGM テイシ』 : 信号が入力されると、BGM 再生動作を停止します。
『E014』でのみ選択可能。
- 『CM ショウキョ』 : 信号が入力されると、CM ファイルを消去します。
『E013』でのみ選択可能。
- 『フェード』 : 信号が入力されると、最優先音源をミキシングレベルまで下げます。
『E011』でのみ選択可能。

メモ

- ・制御入力モードを『バイナリモード』に設定している場合は、すべての起動番号に設定できるのは『プレイリスト』または『ナシ』のどちらかになります。

6. BGM/CM 選択画面を表示する

- ・選択左、右ボタンで『BGM』または『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

キトウバンゴウ E001
センタク: BGM/CM

< BGM/CM 選択画面 >

7. 選択した起動番号で再生するプレイリストを選択する

- ・選択上、下ボタンでプレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・メッセージまたはミュージックが入力されているプレイリストが表示されます。

キトウバンゴウ E001
センタク: 001 * P001

プレイリスト番号 プレイリスト名

<プレイリスト選択画面>

メモ

- ・設定されていないプレイリストを選択すると、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されません。

8. 起動番号の詳細設定をする

- ・プレイリスト再生に関する各設定を行います。
- ・起動番号の詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目(工場出荷時設定)	参照ページ
再生モード	連続 / 単独(連続)	53
再生回数	1回～99回、エンドレス(1回)	54
再生インターバル	分:0分～99分まで1分毎 秒:0秒～50秒まで10秒毎(0分0秒)	54
シャッフル	オン / オフ(オフ)	55
通常・緊急優先設定	通常 / 緊急(通常) ※ CM プレイリストにのみ設定可能。	55

■再生モード設定

- ・選択左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・決定 / 実行ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

E001:CM P001
サイセイモード:レンゾク/タンドク

<再生モード選択画面>

『レンゾク』 : 1回の起動信号入力でプレイリスト内のメッセージやミュージックをすべて再生します。
(☞ 54 ページ「再生回数設定」へ進む)

『タンドク』 : 起動信号が入力されるごとに、プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを1つずつ順番に再生します。
(☞ 55 ページ「シャッフル設定」へ進む)

(工場出荷時:『レンゾク』)

連続再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時に帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

← 起動入力
↓ すべてのメッセージを続けて再生

単独再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	始業時間です。朝礼の…
002	10時になりました。10分間の休憩…
003	12時です。お昼休み…
004	3時です。おやつの時間です…
005	本日の業務ご苦労様でした。

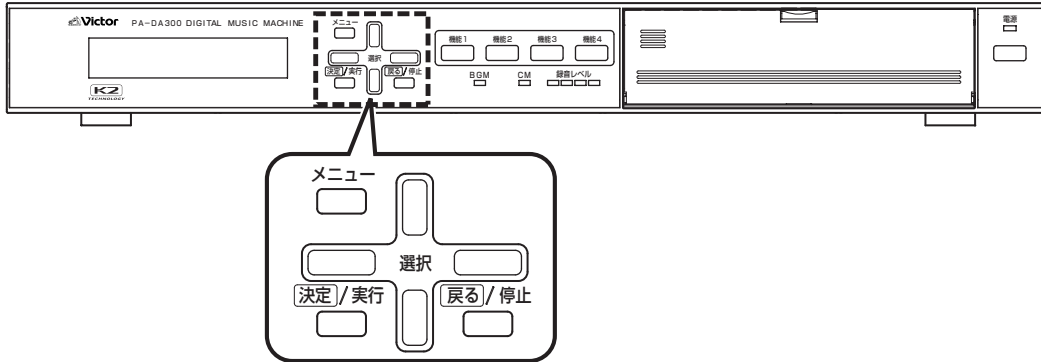
← 起動入力
← 起動入力
← 起動入力
← 起動入力
← 起動入力
※

※ 起動が入るごとにメッセージを1つずつ再生

メモ

- ・単独再生は、起動優先モードが『パルス方式』モードに設定されているときのみ対応します。(☞ 44 ページ「Step3: 制御入力の優先モードを設定する」参照)

Step6: 制御入力端子に 起動番号と動作を割り当てる (つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に起動番号と動作を 割り当てる(つづき)

8. 起動番号の詳細設定をする(つづき)

■再生回数設定

選択上、下ボタンで、再生回数(1回~99回)または『エンドレス』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

E001:CM P001
サイセイクイスイ: 01

<再生回数選択画面>

再生回数 : プレイリスト内のすべてのメッセージまたはミュージックの再生を繰り返す回数を設定します。
1回~99回まで設定できます。
(☞ 2回以上に設定した場合、54ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)
※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。(☞ 55ページ)

『エンドレス』: 停止信号が入力されるまで再生を繰り返します。
(☞ 54ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

(工場出荷時: 1回)

メモ

- 再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。
- 起動優先モードを「レベル方式」モードに設定している場合に、「再生インターバル時間」を設定するときは『エンドレス』を選択してください。

■再生インターバル時間設定

- プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
- 選択左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
- 選択上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、決定/実行ボタンを押します。
- 設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
(☞ 55ページ)

E001:CM P001
サイセイインターバル 00:00

<再生インターバル時間設定画面>

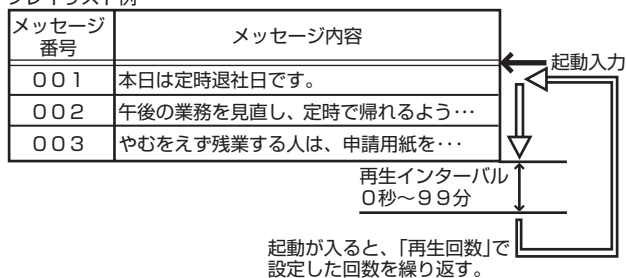
分 : 0分~99分まで1分毎に設定できます。

秒 : 0秒~50秒まで10秒毎に設定できます。

(工場出荷時: 0秒)

「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ

プレイリスト例



■シャッフル設定

- ・選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、「通常・緊急優先設定」へ進みます。
(☎ 55 ページ)

E001:CM P001
シャッフル:オン/オフ

<シャッフル設定画面>

【オン】 :プレイリストに登録されているメッセージやミュージックを、メッセージ番号またはミュージック番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

【オフ】 :プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを番号順に再生します。

(工場出荷時:「オフ」)

■通常・緊急優先設定

- ・選択左、右ボタンで「ツウジョウ」または「キンキュウ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・「キンキュウ」に設定すると、起動優先モードの設定に関係なく、最優先で再生します。

例えば、

- ・「後優先」設定のとき、「緊急」設定した起動番号のプレイリストを再生中に、後から別の起動が入っても無視されます。
- ・「先優先」設定のとき、「通常」設定した起動番号のプレイリストを再生中に、「緊急」設定された起動番号が起動されると、再生中のプレイリストを中断し、緊急設定のプレイリストを再生します。
- ・「順次記憶」設定で起動番号記憶中のとき、「緊急」設定された起動番号が起動されると、再生中のプレイリストを中断し、すぐに緊急設定のプレイリストを再生します。

E001:CM P001
ツウジョウ/キンキュウ

<通常・緊急優先設定画面>
(工場出荷時:「ツウジョウ」)

ご注意

- ・BGM プレイリストには、「緊急」設定をできません。

メモ

- ・CM 連動出力端子を「緊急」に設定しておくで、「緊急」設定された起動番号のプレイリストを再生中に外部機器を制御することができます。
(☎ 107 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

Step7: 設定した内容を保存する

- ・設定内容をメモリーカードに保存します。
- ・設定が終わったら必ずメモリーカードに保存してください。保存しないと、設定した内容を実行することができません。
- ・保存せずに本機の電源を切断すると、設定した内容は消えてしまいます。

1. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

2. 保存確認画面を表示する

プログラムメニュー画面から、『3-5. データホゾン (CF)』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-5. データホゾン (CF)

<プログラムメニュー画面>

3-5. データホゾン (CF)
データホゾン ハイ/イイ

<保存確認画面>

3. 保存をする

- ・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、保存をしないでプログラムメニュー画面に戻ります。

ご注意

- ・保存中にメモリーカードを抜かないでください。故障の原因となります。
保存中は、LCD 画面に『CF ロマカナイデクダサイ』と表示されます。

4. 保存を終了する

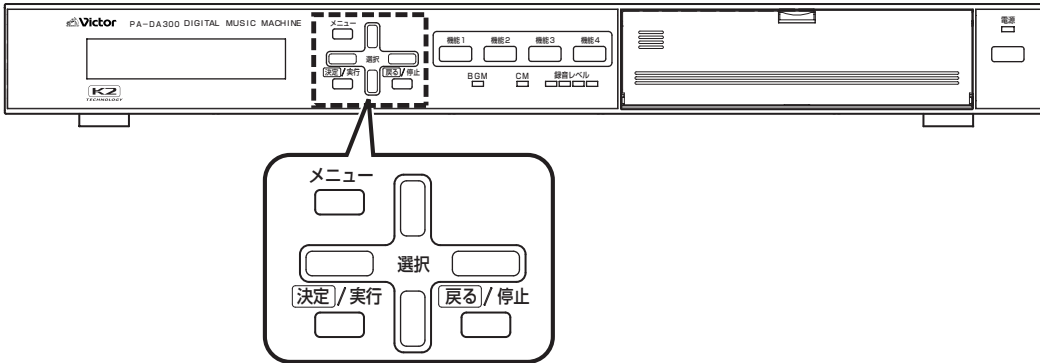
- ・保存が終了し、LCD 画面に『シュウリョウシマシタ』と表示されたら、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・保存が終了し、決定 / 実行ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。

その他の設定

設定が終わったら、CM カードに保存をしてください。(☞ 55 ページ)

メモ

- 設定中に戻る/停止ボタンを押すと、設定中の内容を確定しないで設定メニュー画面に戻ります。もう一度、戻る/停止ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。



LCD バックライト設定

1. メインメニュー画面を表示する

- システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. LCD バックライト設定画面を表示する

設定メニューから『2-4. LCD バックライト』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-4. LCDバックライト

<設定メニュー画面>

2-4. LCDバックライト
テントウ/ショウトウ/キーレンドウ

< LCD バックライト設定画面 >

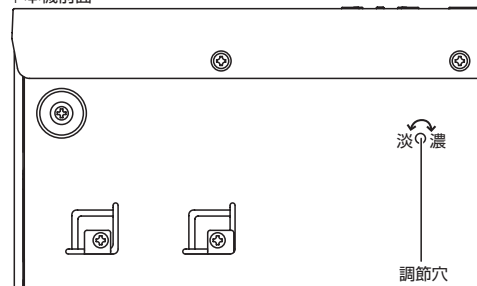
4. LCD バックライトの設定をする

- 選択左、右ボタンで、『テントウ』、『ショウトウ』、『キーレンドウ』のどれかを選択し、決定/実行ボタンを押します。
『テントウ』 : 常に、LCD バックライトを点灯します。
『ショウトウ』 : 常に、LCD バックライトを消灯します。
『キーレンドウ』 : ボタンを押してから 30 秒点灯します。(工場出荷時:『テントウ』)
- 設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

メモ

- 『ショウトウ』に設定していても下記の状態になると、バックライトが点灯します。
 - スケジュール実行中に、戻る / 停止ボタンを押したとき
 - メインメニュー画面に入ったとき
 - PC との通信を開始したとき
- LCD 画面のコントラスト調節について**
LCD画面の表示が見えにくい場合には、本機底面の調節穴からコントラストを調節することができます。調節穴に精密ドライバー(マイナス)を差し込み、調節穴の中のネジを左右にゆっくりとまわして調節してください。このとき、力を入れてまわすと、ネジを破損する原因となることがありますのでご注意ください。コントラストの調節をする場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

↑ 本機前面



電源投入時の動作を設定する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。(P.10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. オートスタート設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-5. オートスタート』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-5. オートスタート

<設定メニュー画面>

2-5. オートスタート
ケイゾク/ジッコウ/タイキ

<オートスタート設定画面>

4. オートスタート設定をする

- ・選択左、右ボタンで、『ケイゾク』、『ジッコウ』、『タイキ』のどれかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
 - 『ケイゾク』: 電源を入れると、自動的に電源 OFF 前の状態になります。
 - 『ジッコウ』: 電源を入れると、システム動作の実行状態になります。
 - 『タイキ』: 電源を入れると、待機状態になります。(工場出荷時:『ケイゾク』)
- ・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

CC コンバーターの動作設定をする

- ・本機は圧縮音楽データの音質を改善する CC コンバーターを BGM 再生部に搭載しています。
- ・CC コンバーターの動作を ON/OFF する必要がある場合に動作設定をします。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。(P.10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. CC コンバーター設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-3. CC コンバーター』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-3. CCコンバーター

<設定メニュー画面>

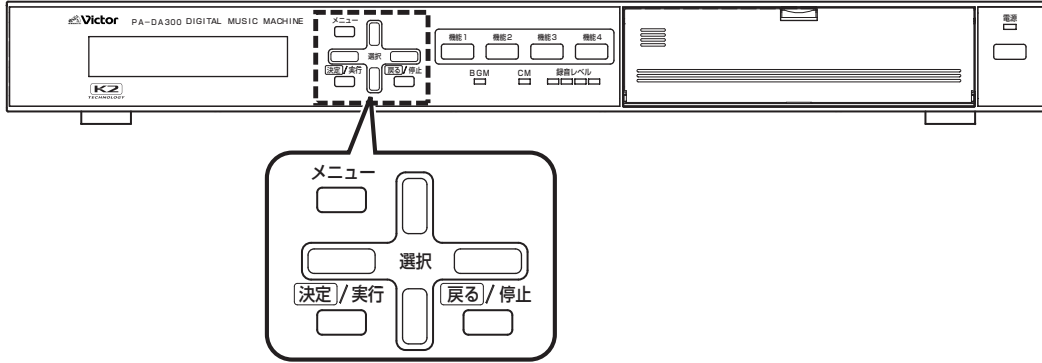
2-3. CCコンバーター
オン/オフ

<CC コンバーター設定画面>

4. CC コンバーターの ON/OFF 設定をする

- ・選択左、右ボタンで、『オン』、『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
 - 『オン』: CC コンバーターを動作させます。基本的には、『オン』で使用します。
 - 『オフ』: CC コンバーターを停止します。ON のときとの音の違いを確かめたいときなどに OFF にします。(工場出荷時:『オン』)
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

その他の設定(つづき)



BGM 出力、CM 出力のレベルを設定する

BGM、CM、外部入力の再生音量バランスを調節する必要がある場合に設定します。
外部入力レベルの設定については 111 ページをご覧ください。

■ BGM 出力レベル設定

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル

<設定メニュー画面>

3. BGM 出力レベル設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-1. BGM レベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル

<設定メニュー画面>

2-1. BGMレベル
オオキサ: 09

< BGM 出力レベル設定画面 >

4. BGM 出力レベルを設定する

- ・選択上、下ボタンで、0 ~ 9 の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・戻る / 停止ボタンを押すと、BGM 出力レベルを変更せずに設定メニュー画面(手順 3.)に戻ります。
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

2-1. BGMレベル
オオキサ: 09

< BGM 出力レベル設定画面 >

『オオキサ』: BGM 全体の再生音量を、0(最小音量)~ 9(最大音量)で設定します。

(工場出荷時: 『09』)

■ CM 出力レベル設定

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。(P.10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. CM 出力レベル設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-2. CM レベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-2. CMLレベル

<設定メニュー画面>

2-2. CMLレベル
オオキサ: 09

< CM 出力レベル設定画面>

4. CM 出力レベルを設定する

- ・選択上、下ボタンで、0 ~ 9 の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・戻る / 停止ボタンを押すと、CM 出力レベルを変更せずに設定メニュー画面(手順 3.)に戻ります。
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

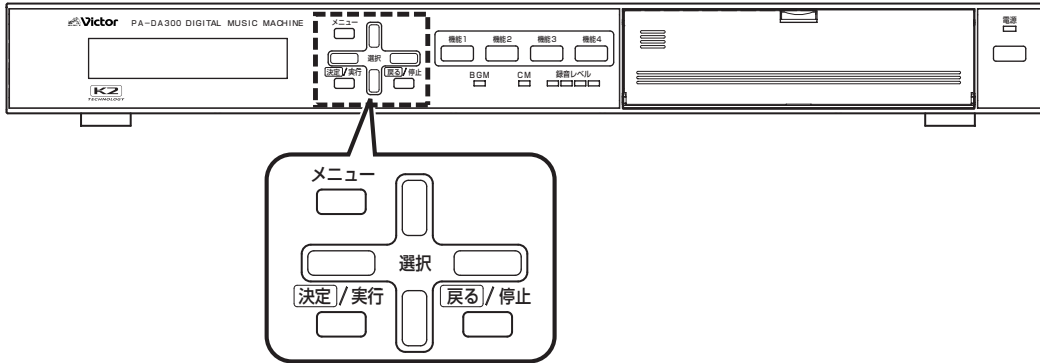
2-2. CMLレベル
オオキサ: 09

< CM 出力レベル設定画面>

『オオキサ』: CM 全体の再生音量を、0(最小音量)~ 9(最大音量)で設定します。

(工場出荷時:『09』)

CM ファイルを編集する



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

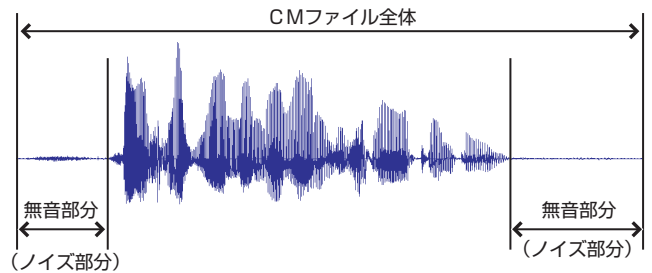
無音部を消去する

ご注意

- 編集中にメモリーカードを抜かないでください。本機の故障、ファイルが壊れる原因となります。
- ・録音した CM ファイルの不要な無音部(アナウンスが始まるまでの部分、およびアナウンス終了後部分)を削除します。
- ・無音レベルのしきい値(無音と判断するノイズレベルの境界値)を設定して、アナウンス前後の無音部を自動で削除します。
無音と判断するしきい値はノイズなどの大きさに応じてレベルを設定してください。
レベル 10: 判断するしきい値が最も大きい。
レベル 1 : 判断するしきい値が最も小さい。

メモ

- 削除される部分は、CM ファイルの先頭部分と末尾部分だけです。アナウンスの途中に無音部分があっても削除はしません。



CM ファイルの先頭部分と末尾部分の無音部を削除し、アナウンス部分だけにします。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『4. CM ファイルメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-1. オンシツセッテイ

< CM ファイルメニュー画面 >

3. 編集ファイル選択画面を表示する

CM ファイルメニュー画面から、選択上、下ボタンで『4-3. ムオンブショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-3. ムオンブショウキョ

< CM ファイルメニュー画面 >

4-3. ムオンブショウキョ
センタク: C001 10.3M

< 編集ファイル選択画面 >

4. 編集するファイルを選択する

選択上、下ボタンで編集したいファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4-3. ムオンブショウキョ
センタク: C001 10.3M —ファイルサイズ

CM ファイル番号

< 編集ファイル選択画面 >

CM ファイル番号 : 録音されている CM ファイル番号を表示します。

ファイルサイズ : 選択した CM ファイルのファイルサイズを表示します。単位は、「B (バイト)」です。

メモ

- CM ファイルが無い場合は、『* ロクオンファイルナシ』と表示され、編集ファイル選択画面(手順 4.)に戻ります。

5. 無音部消去レベルを選択する

選択上、下ボタンで 1 (小) ~ 10 (大) のどれかに設定し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時:『05』)

ムオンブショウキョ C001
レベル: 05 0:12:34 —手順 4. で選択したファイル

消去レベル ファイル時間

< 無音部消去レベル選択画面 >

6. 無音部を削除する

- 実行選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『イエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去レベル選択画面(手順 5.)に戻ります。
- 無音部削除処理中に戻る / 停止ボタンを押すと、処理を中止します。
- 処理を中止し、決定 / 実行ボタンを押すと、編集ファイル選択画面に戻ります。

ムオンブショウキョシマス C001
ハイ/イエ

< 実行選択画面 >

メモ

- 無音部削除データを作成中にメモリーカードの容量不足で作成できなかった場合は、『* アキウリョウガタリマセン』と表示されます。
- 編集するファイルの録音方式によっては、ファイル時間と同程度の時間がかかります。
- 無音部分のノイズ(暗騒音)が大きいと削除されない場合があります。静かな環境で再度録音を行なってください。

7. 試聴をする

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。再生が開始されます。
- 試聴選択画面で『イエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面(手順 9.)が表示されます。

ムオンブショウキョ C001
シチョウシマスカ? ハイ/イエ

< 試聴選択画面 >

8. 試聴を停止する

再生中に戻る / 停止ボタンを押すと、再生を停止します。再生を停止すると、保存確認画面が表示されます。

ムオンブショウキョ C001
シチョウテイシ [テイシ]

メモ

- 試聴中の CM ファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。

モウイチドサイセイ?
ハイ/イエ

< 再試聴確認画面 >

『ハイ』を選択 : もう一試聴します。

『イエ』を選択 : 試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

9. 保存をする

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、保存されます。
- 保存確認画面で『ショウキョヤリナオシ』を選択すると、無音部消去レベル選択画面(手順 5.)に戻ります。
- 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

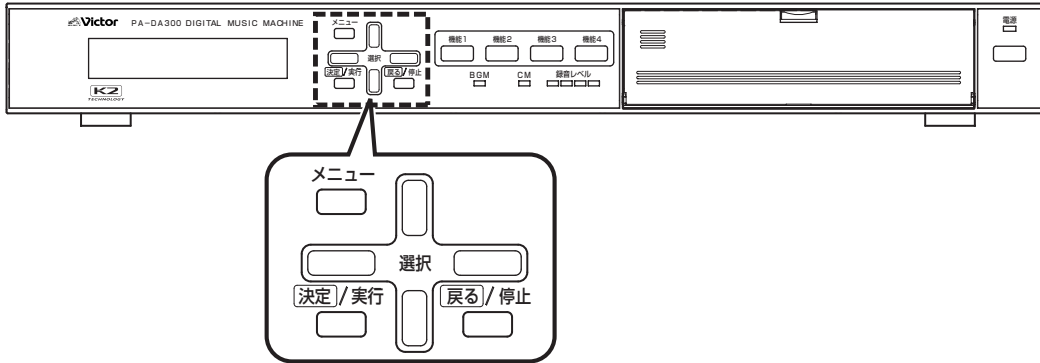
ホソンシマスカ?
ハイ/ショウキョヤリナオシ

< 保存確認画面 >

ムオンブショウキョ C001
ホソンシマシタ [ケッテイ]

< 保存終了画面 >

CM ファイルを編集する (つづき)

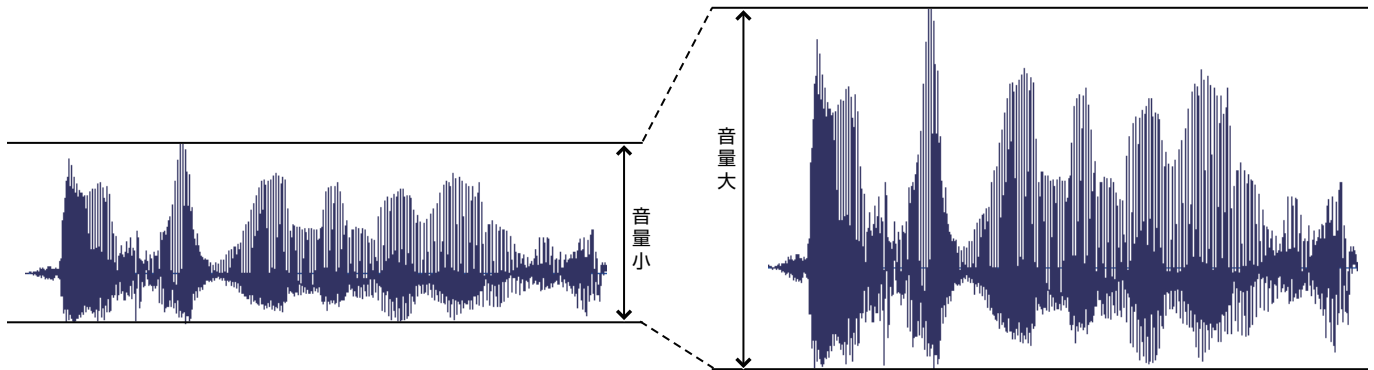


用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。
- CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存するメモリーカード。
CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に挿入して使用する。

音量のバラツキを補正する(ゲイン補正)

録音した CM ファイルの音量が大きいの、または小さい場合に音量を調整します。
補正レベルは、- 10 dB ~ +10 dB です。



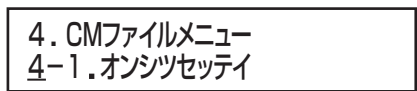
<音量が小さいファイルを補正して、音量を大きくする場合>

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する

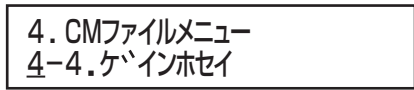
メインメニューから『4. CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< CM ファイルメニュー画面 >

3. 補正ファイル選択画面を表示する

CM ファイルメニュー画面から、『4-4. ゲインホセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



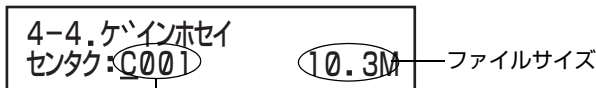
< CM ファイルメニュー画面 >



< 補正ファイル選択画面 >

4. 補正するファイルを選択する

選択上、下ボタンで補正する CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



CM ファイル番号

<補正ファイル選択画面>

CM ファイル番号: 補正する CM ファイル番号を表示します。

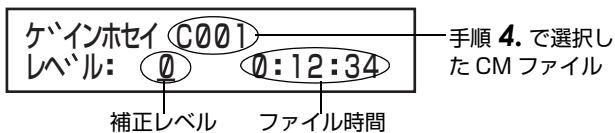
ファイルサイズ : 選択したファイルのファイルサイズを表示します。単位は、「B (バイト)」です。

メモ

- CM ファイルが無い場合は、『* ロクオンファイルなし』と表示され、補正ファイル選択画面(手順 4.)に戻ります。

5. 補正レベルを選択する

選択上、下ボタンで補正レベル(-10 ~ 10)を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時: [0])



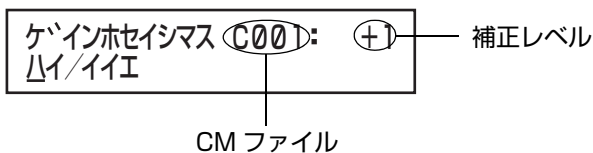
<補正レベル選択画面>

ご注意

- 補正レベルを大きくしすぎると、音が歪むことがあります。試聴(手順 7.)で確認して、歪まないレベルに設定してください。

6. 補正をする

- 選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、補正レベル選択画面(手順 5.)に戻ります。
- 補正中に戻る / 停止ボタンを押すと、補正を中止します。
- 補正を中止し、決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。



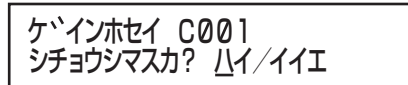
<補正実行選択画面>

メモ

- 補正データを作成中に CM カードの容量不足で作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』と表示されます。
- 補正する CM ファイルの録音方式によっては、CM ファイル時間の約 2 倍の時間がかかります。

7. 試聴をする

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面が表示されます。



<试听選択画面>

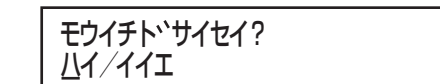
8. 試聴を停止する

- 試聴中に戻る / 停止ボタンを押し、再生を停止します。
- 試聴を停止すると、保存確認画面(手順 9.)が表示されます。



メモ

- 試聴中のファイルを最後まで再生すると、再试听確認画面が表示されます。

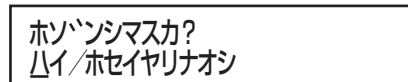


<再试听確認画面>

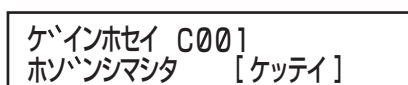
- 『ハイ』を選択 : もう一度、试听します。
- 『イイエ』を選択: 试听を終了し、保存確認画面を表示します。

9. 保存をする

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 保存確認画面で『ホセイヤリナオシ』を選択すると、補正レベル選択画面(手順 5.)に戻ります。
- 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

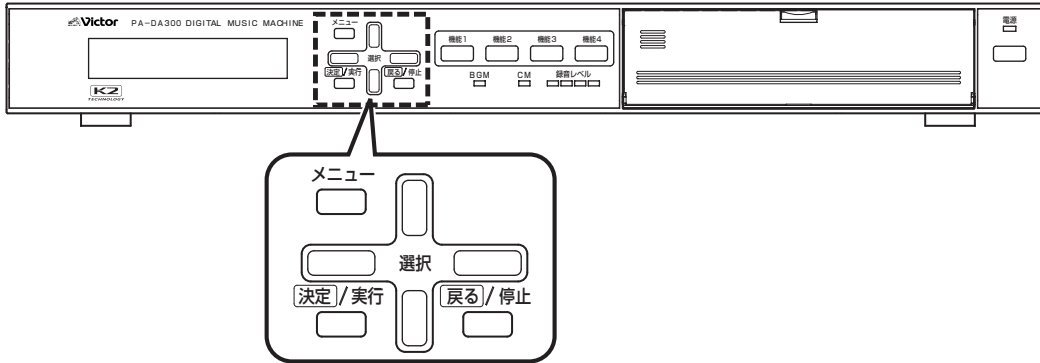


<保存確認画面>



<保存終了画面>

CM ファイルを編集する (つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。
- CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存するメモリーカード。
CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に挿入して使用する。

ファイル形式を変更する(フォーマット変換)

録音時に選択した音質のフォーマットから別の音質のフォーマットに変換します。

フォーマット変換表

変換元 \ 変換先		ハイスタンダード	ハイロング	スタンダード	ロング
		モノラル	モノラル	モノラル	モノラル
ハイスタンダード	モノラル	—	○	○	○
ハイロング	モノラル	×	—	×	○
スタンダード	モノラル	×	×	—	○
ロング	モノラル	×	×	×	—

○印:変換可能

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『4. CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-1. オンシツセッテイ

< CM ファイルメニュー画面 >

3. 変換ファイル選択画面を表示する

CM ファイルメニュー画面から、『4-5. フォーマットヘンカン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-5. フォーマットヘンカン

< CM ファイルメニュー画面 >

4-5. フォーマットヘンカン
センタク: C001 10.3M

< 変換ファイル選択画面 >

4. 変換する CM ファイルを選択する

変換ファイル選択画面から、選択上、下ボタンで変換する CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4-5. フォーマットヘンカン
センタク: C001 10.3M

CM ファイル

< 変換ファイル選択画面 >

5. 選択した CM ファイルを確認する。

選択した CM ファイルを、変換ファイル詳細画面で確認したら、決定 / 実行ボタンを押します。

CM ファイル

C001 0:12:34 [ケッテイ]
スタンダード - モノラル

現在の
フォーマット

<変換ファイル詳細画面>

6. 変換先のフォーマットを選択する

- ・ 選択上、下ボタンで変換先のフォーマットを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 選択できる変換先のフォーマットは前ページのフォーマット変換表をご覧ください。

フォーマットヘンカン C001
スタンダード - モノラル

<フォーマット選択画面>

7. 変換をする

- ・ 音質変換確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 音質変換確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、フォーマット選択画面(手順 6.)に戻ります。
- ・ 変換実行中に戻る / 停止ボタンを押すと、変換を中断します。
- ・ 変換を中断して決定 / 実行ボタンを押すと、変換せずに CM ファイルメニュー画面に戻ります。

フォーマットヘンカン C001
ヘンカンシマス ハイ/イイエ

<音質変換確認画面>

ヘンカンチュウ [チュウタン]
CFヲヌカナイテクダサイ

<音質変換実行中画面>

メモ

- ・ 変換データ作成中に、CM カードの容量不足で変換できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』とエラー表示されます。
- ・ 変換する CM ファイルの録音方式によっては、CM ファイル時間の約 4 倍の時間がかかる場合があります。

8. 試聴をする

- ・ 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面が表示されます。

フォーマットヘンカン C001
シチョウシマスカ? ハイ/イイエ

<試聴選択画面>

9. 試聴を停止する

試聴中に戻る / 停止ボタンを押します。

試聴を停止すると、保存確認画面(手順 10.)が表示されず。

メモ

- ・ 試聴中の CM ファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。

モウイチドサイセイ?
ハイ/イイエ

<再試聴確認画面>

『ハイ』を選択 : もう一度、試聴します。

『イイエ』を選択 : 試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

10. 保存をする

- ・ 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 保存確認画面で『ヘンカンヤリナオシ』を選択すると、フォーマット選択画面(手順 6.)に戻ります。
- ・ 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

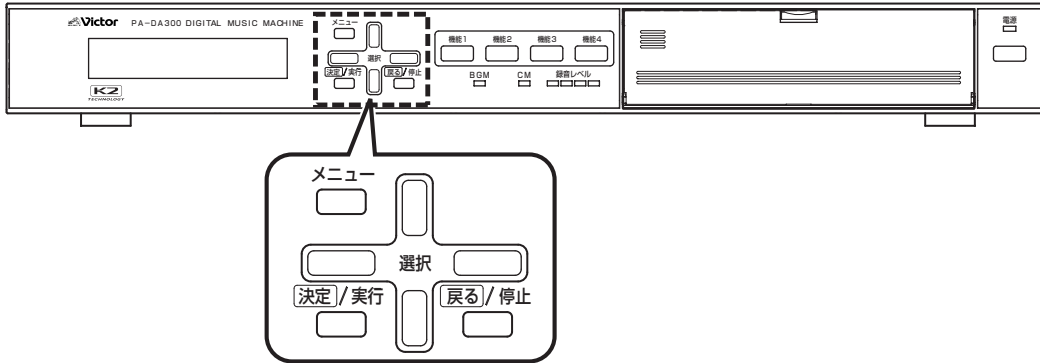
ホソンシマスカ?
ハイ/ヘンカンヤリナオシ

<保存確認画面>

フォーマットヘンカン C001
ホソンシマシタ [ケッテイ]

<保存終了画面>

CM ファイルを編集する (つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。
- BGM ファイル : BGM 音楽データ。
- CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存するメモリーカード。
CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に挿入して使用する。

CM ファイルをコピーする

- ・録音した CM ファイルをコピーします。
- ・CM ファイル形式を変換する前に、オリジナルの CM ファイルをバックアップしておきたい場合などに行います。
- ・作成できる CM ファイルは最大 999 個です。

メモ

- 下記の場合は、ファイルをコピーすることができません。
 - ・すでにファイルが 999 個作成されている。
 - ・CM ファイルがひとつも作成されていない。
- BGM ファイルはコピーできません。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『4. CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-1. オンシツセツテイ

< CM ファイルメニュー画面 >

3. コピー元 CM ファイル選択画面を表示する

CM ファイルメニュー画面から、『4-6. ファイルコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-6. ファイルコピー

< CM ファイルメニュー画面 >

4-6. ファイルコピー
コピー元: C001 10.3M

< コピー元 CM ファイル選択画面 >

4. コピー元 CM ファイル選択画面で、コピー元の CM ファイルを選択する

選択上、下ボタンでコピーする CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. コピー先の CM ファイルを選択し、コピーをする

- ・コピー先選択画面でコピー先の空き CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・コピーが終了すると、『コピーシマシタ』と、約 10 秒表示してから CM ファイルメニュー画面に戻ります。

4-6. ファイルコピー
コピー先: C002

< コピー先選択画面 >

メモ

- 選択したコピー先の CM ファイル番号が録音済みの場合、『* ファイルシヨウズミ』とエラー表示されます。先に CM ファイルを消去してからコピーを実行してください。
- CMカードの容量不足でコピーを作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』とエラー表示されます。

CM ファイルを消去する

不要になった CM ファイルを削除します。

1. メインメニュー画面を表示する

- システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『4. CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-1. オンシツセツテイ

< CM ファイルメニュー画面 >

3. 消去ファイル選択画面を表示する

CM ファイルメニュー画面から、『4-7. ファイルシヨウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4. CMファイルメニュー
4-7. ファイルシヨウキョ

< CM ファイルメニュー画面 >

4-7. ファイルシヨウキョ
センタク: C001 10.3M

< 消去ファイル選択画面 >

4. 消去するファイルを選択する

選択上、下ボタンで消去する CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

4-7. ファイルシヨウキョ
センタク: C001 10.3M

消去する CM ファイル

5. CM ファイルを消去する

- 消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 消去確認画面で『イエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去ファイル選択画面(手順 3.)に戻ります。
- CM ファイルが消去されると、『シヨウキョシマシタ』と、約 10 秒表示してから消去ファイル選択画面(手順 3.)に戻ります。

4-7. ファイルシヨウキョ C001
シヨウキョシマスカ? ハイ/イエ

< 消去確認画面 >

メモ

- CM ファイルを消去する場合、不要な CM プレイリストも消去してください。CM プレイリストが 499 個作成されていると、CM ファイル番号に空きがあっても録音できません。
(☞ 96 ページ「CM プレイリストを消去する」参照)

BGM プレイリストによる さまざまな再生方法例

- ・ BGM ファイルを BGM プレイリストにミュージックとして登録することで、複数の BGM ファイルを組み合わせて放送することができます。
- ・ BGM プレイリスト作成および制御入力(起動番号)の各種設定によりさまざまな放送ができます。

用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

■複数のミュージックを組み合わせ、ひとつのミュージックとして再生する

1回の起動で、複数のミュージックで構成した BGM プレイリストを続けて再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-4. 制御入力」	52
ブランク時間	ミュージック 001:0 秒 ミュージック 002:3 秒	「3-1-2. プレイリスト作成」	74

BGMプレイリスト再生例



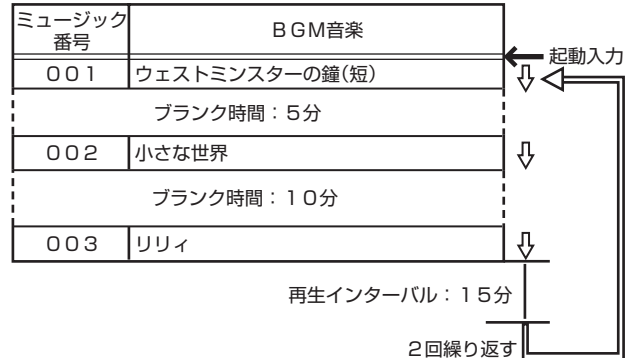
■複数のミュージックを、時間の間隔を空けて繰り返して再生する

1回の起動で、複数のミュージックを任意の時間を空けて、繰り返して再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-4. 制御入力」	52
再生回数	2回		
再生インターバル	15分		
ブランク時間	ミュージック 001:5分 ミュージック 002:10分	「3-1-2. プレイリスト作成」	74

BGMプレイリスト再生例



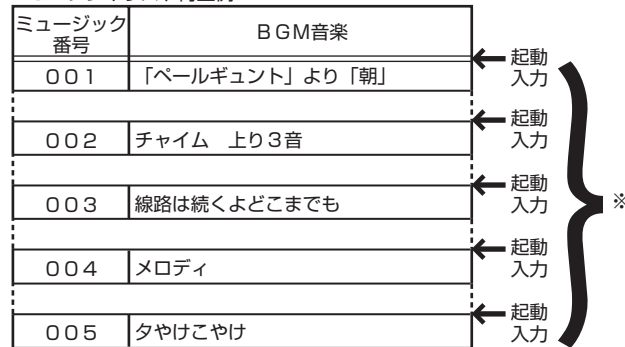
■再生する順番が決まっているミュージックを、起動が入るごとに放送する

起動が入るごとに、BGM プレイリスト内のミュージックを1つずつ順番に再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	単独再生	「3-4. 制御入力」	52

BGMプレイリスト再生例



BGM プレイリストを 設定する

- ・ BGM プレイリストに対して、各設定を行います。
- ・ BGM プレイリストは最大 499 個(P501 ~ P999)作成できます。

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー
プレイリスト名	カタカナ、アルファベットなど	P501 ~ P999	『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-1. プレイリストメイ』
BGM ファイル番号	B001 ~ B999	—	『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』
ファイル音量	0 ~ 10	8	
ブランク時間	0秒~9.9分 0.5秒毎に設定	00:00.0	
再生音量	0 ~ 9	9	『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-3. サイセイオンリョウ』

プレイリスト名 : 下記の文字から最大 8 文字で名前を変更できます。

- ・ カタカナ
- ・ アルファベット 小文字、大文字
- ・ 数字
- ・ 記号(、＃、\$、%、&、(、)、_、{、}、!)
- ・ 空欄

BGM ファイル番号: 再生したい BGM ファイル番号を順番に登録します。

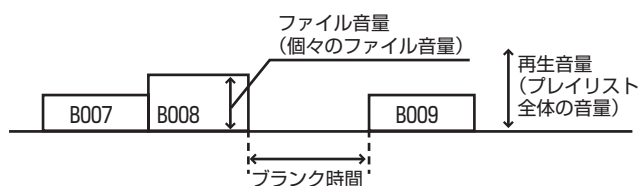
ひとつの BGM プレイリストに最大 100 ファイル登録できます。
チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルは複数の BGM プレイリストに登録することができます。

ブランク時間 : BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク時間(間隔)を設定します。
ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
※プレイリストを繰り返し再生するときの再生間隔を設定するときは、起動番号設定の「再生インターバル」で設定します。

(☞ 54 ページ)

ファイル音量 : 各 BGM ファイルの音量ばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変えたいときなどに設定します。

再生音量 : プレイリスト全体の音量を設定します。



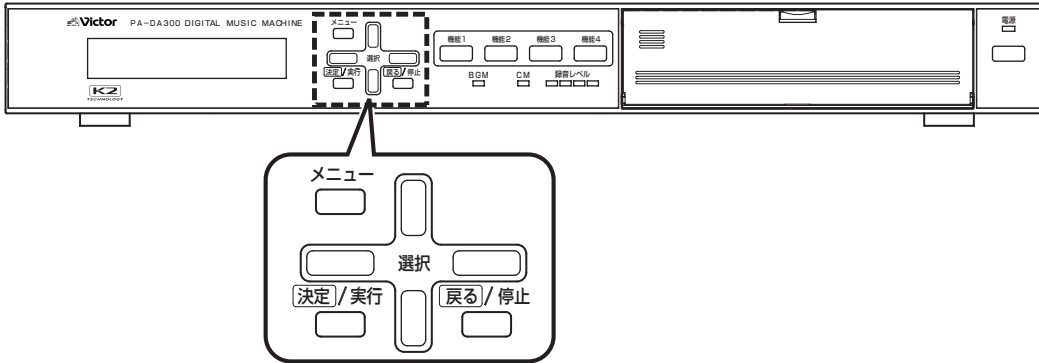
- ・ BGM プレイリストの設定を行う前に、下記の記入例を参考にプレイリスト設定シートを作成してください。
プレイリスト設定シートはコピーしてお使いください。(☞ 139 ページ)

BGM プレイリスト設定シート記入例

プレイリスト番号	001			
プレイリスト名	ラジオタイソウ			
メッセージ番号 または ミュージック番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	内容
001	B007	7	00:00.0	チャイム 上り 3音
002	B008	6	00:00.5	ラジオ体操第一(号令入り)
003	B009	7	(※)	チャイム 下り 3音

※ BGM プレイリストの最終ミュージックに設定した「ブランク時間」は無効となります。

BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

新規の BGM プレイリストを作成する

- ・ミュージック登録をし、BGM プレイリストの作成を行います。
- ・1つの BGM プレイリストには最大 100 個のミュージックが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで「3. プログラムメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGM プレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで「3-1. BGM プレイリスト」→「3-1-2. プレイリストサクセイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3-1. BGM プレイリスト
3-1-2. プレイリストサクセイ

< BGM プレイリストメニュー画面 >

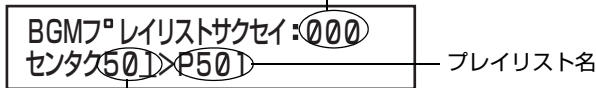
BGM プレイリストサクセイ: 000
センタク501>P501

< BGM プレイリスト選択画面 >

4. ミュージック登録されていないBGMプレイリストを選択する

- ・ 選択上、下ボタンで作成する BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 決定 / 実行ボタンを押すと、LCD 画面に『シンキツイカシマス』と約 10 秒表示されます。

選択しているプレイリストに含まれるミュージック数

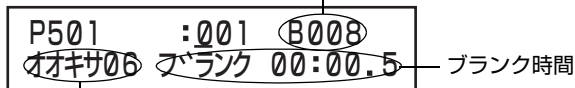


BGMプレイリスト
<プレイリスト選択画面>

5. ミュージックを設定する

- ・ 選択左、右ボタンで設定項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
- ・ 設定の終了後、決定 / 実行ボタンを押し、設定内容を確定します。

BGM ファイル番号



ファイル音量
<ミュージック設定画面>

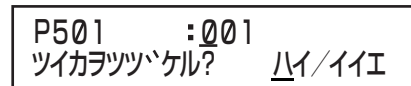
- BGM ファイル番号** :再生する BGM ファイルを選択します。
- ファイル音量** :BGM プレイリストに登録した各 BGM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-1-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)
- ブランク時間** (分 / 秒 / コンマ 5 秒) :BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

メモ

- ・ 続けてミュージック登録をせずに登録を終了する場合は、手順 7. へ進みます。

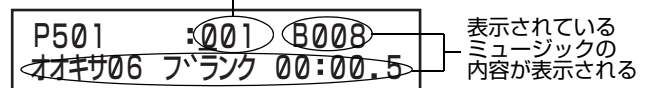
6. 続けてミュージック登録をする

- ・ 継続登録確認画面から、選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ ミュージック選択画面から、選択上、下ボタンで追加したいミュージックの前または後ろのミュージック番号を選択します。
- ・ ミュージック項目選択画面から、選択左、右ボタンで『ツイカ』または『ソウニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『ツイカ』または『ソウニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、ミュージック設定画面が表示されます。(手順 5.)を参照)



<継続登録選択画面>

ミュージック番号



<ミュージック選択画面>



<ミュージック項目選択画面>

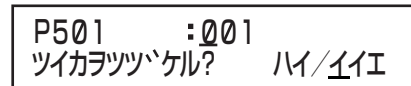
- 『ツイカ』 :ミュージック選択画面で選択したミュージックの後ろに新規ミュージックが登録されます。
- 『ソウニュー』 :ミュージック選択画面で選択したミュージックの前に新規ミュージックが登録されます。

メモ

- ・ ミュージックがすでに 100 個あるときは、ミュージックを新規登録できません。『* ステップスウガサイダイデス』と、約 10 秒表示され、ミュージック項目選択画面に戻ります。

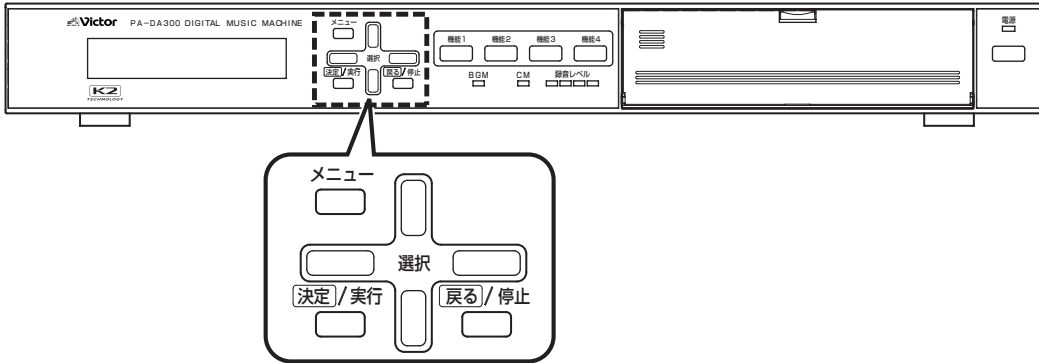
7. ミュージック登録を終了する

- ・ 継続登録確認画面から、選択左、右ボタンで『イイエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<継続登録選択画面>

BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト名を変更する

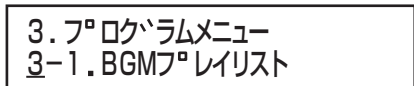
- ・プレイリスト名は最大8文字まで入力可能です。
- ・工場出荷時のプレイリスト名は”P+ 3桁の数字”(例: 「P501」)で設定されています。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

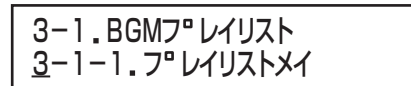
メインメニューから、選択上、下ボタンで「3. プログラムメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで「3-1. BGMプレイリスト」→「3-1-1. プレイリストメイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< BGM プレイリストメニュー画面 >



< BGM プレイリスト選択画面 >

4. 名前をつけたい BGM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで、名前をつけたい BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

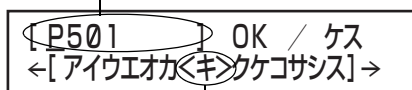


BGM プレイリスト番号
< BGM プレイリスト選択画面 >

5. 選択したプレイリストの名前を変更する

- ・文字選択部から任意の文字を選択して入力します。
- ・選択上、下ボタンでカーソルを「文字選択部」⇄「OK」⇄「ケース」⇄「プレイリスト名表示部」の順に移動できます。

プレイリスト名表示部



文字選択部

プレイリスト名表示部 : 文字選択部から選択した任意の文字をカーソル () のある位置に挿入します。選択左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。

『OK』 : 入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部の内容を確定します。

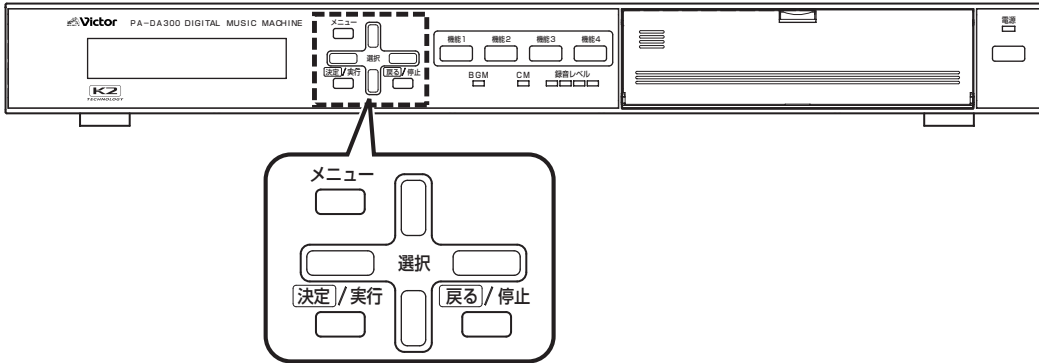
『ケース』 : 『ケース』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。

文字選択部 : 文字を選択するときは、選択上、下ボタンでカーソルを文字選択部に移動し、選択左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の<>カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

6. プレイリスト名を確定する

- ・入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押します。
- ・決定 / 実行ボタンを押さずに、戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト名を確定せずに BGM プレイリスト選択画面に戻ります。
- ・入力したプレイリスト名が確定すると、自動的に BGM プレイリスト選択画面に戻ります。

BGM プレイリストを 設定する(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミュージックを追加する

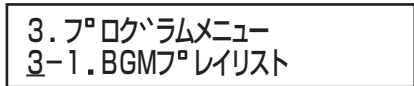
- ・ミュージックを追加し、BGM プレイリストの設定を行います。
- ・1つのBGM プレイリストには最大 100 個のミュージックが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで「3. プログラムメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで「3-1. BGM プレイリスト」→「3-1-2. プレイリストサクセイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< BGM プレイリストメニュー画面 >

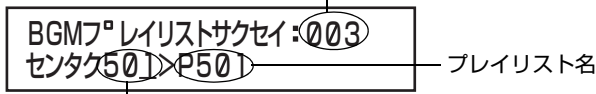


< BGM プレイリスト選択画面 >

4. 設定する BGM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで作成する BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

選択しているプレイリストに含まれるミュージック数



BGM プレイリスト
<プレイリスト選択画面>

メモ

- 選択した BGM プレイリストに 1 つもミュージックが登録されていない場合は、約 10 秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にミュージック設定画面(手順 7.)が表示されます。

5. 追加したいミュージックの前または後ろのミュージック番号を選択する

選択上、下ボタンでミュージック番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

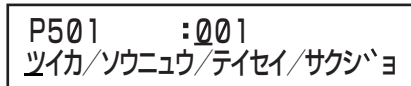
ミュージック番号



<ミュージック選択画面>

6. ミュージック項目を選択する

『ツイカ』または『ソウニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<ミュージック項目選択画面>

- 『ツイカ』 : 手順 5. で選択したミュージックの後ろに新規ミュージックが登録されます。
- 『ソウニュー』 : 手順 5. で選択したミュージックの前に新規ミュージックが登録されます。

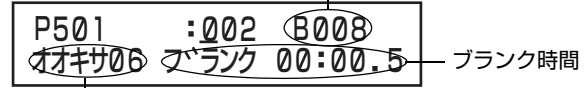
メモ

- ミュージックがすでに 100 個あるときは、ミュージックを新規登録できません。『* ステップスウガサイダイデス』と、約 10 秒表示され、ミュージック項目選択画面(手順 6.)に戻ります。

7. ミュージックを設定する

- 選択左、右ボタンで設定項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
- 設定の終了後、決定 / 実行ボタンを押し、設定内容を確定します。

BGM ファイル番号



ファイル音量

<ミュージック設定画面(例:手順 6. で『ツイカ』を選択した場合)>

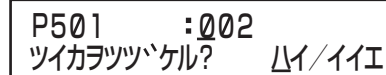
BGM ファイル番号 : 再生する BGM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルを複数の BGM プレイリストに登録することができます。

ファイル音量 : BGM プレイリストに登録した各 BGM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-1-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:「8」)

ブランク時間(分 / 秒 / コンマ 5 秒) : BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
(工場出荷時:「00:00.0」)

メモ

- 設定内容を確定すると、継続登録確認画面が表示されます。『ハイ』または『イエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押してください。

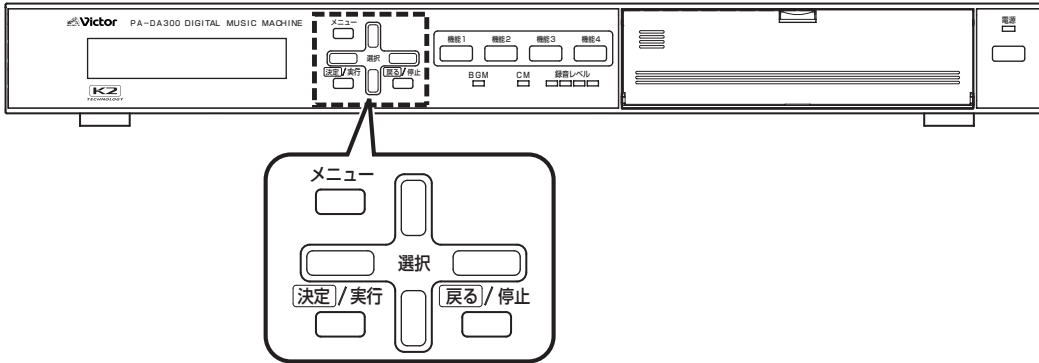


<継続登録確認画面(例:手順 6. で『ツイカ』を選択した場合)>

『ハイ』 : ミュージックを続けて登録します。ミュージック設定画面(手順 7.)に戻ります。

『イエ』 : ミュージック登録を終了します。ミュージック選択画面(手順 5.)に戻ります。

BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミュージックを修正する

選択したミュージックの設定内容を修正します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。

(10 ページ「システム動作を停止する」参照)

・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGM プレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1. BGM プレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3-1. BGM プレイリスト
3-1-2. プレイリストサクセイ

< BGM プレイリストメニュー画面 >

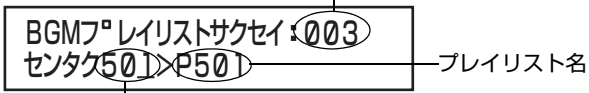
BGM プレイリストサクセイ: 003
センタク501>P501

< BGM プレイリスト選択画面 >

4. 修正したいミュージックが登録されている BGM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで修正する BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

選択している BGM プレイリスト
に含まれるミュージック数



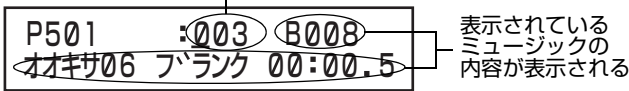
BGM プレイリスト

< BGM プレイリスト選択画面 >

5. 修正するミュージック番号を選択する

ミュージック番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

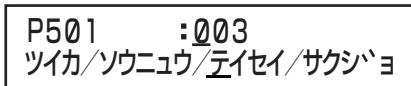
ミュージック番号



<ミュージック選択画面>

6. ミュージック項目を選択する

・『テイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

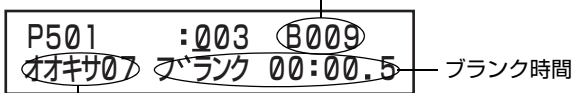


<ミュージック項目選択画面>

7. ミュージックを修正する

- ・ 選択左、右ボタンで修正する項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
- ・ 修正終了後、決定 / 実行ボタンを押し、修正内容を確定します。

BGM ファイル番号

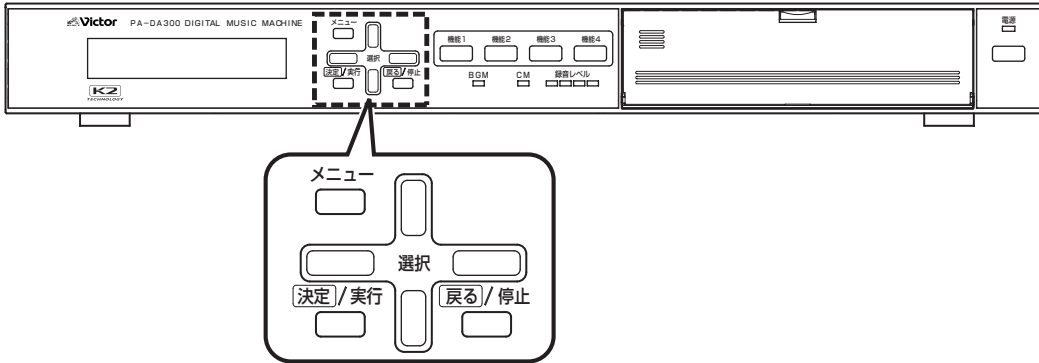


ファイル音量

<ミュージック設定画面(例:手順 6. で『テイセイ』を選択した場合)>

- BGM ファイル番号** :再生する BGM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルを複数の BGM プレイリストに登録することができます。
- ファイル音量** :BGM プレイリストに登録した各 BGM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※ BGM プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-1-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:「8」)
- ブランク時間 (分 / 秒 / コンマ 5 秒)** :BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。ミュージックを続けて再生する場合の間の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
(工場出荷時:「00:00. 0」)

BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミュージックを削除する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1. BGMプレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3-1. BGMプレイリスト
3-1-2. プレイリストサクセイ

< BGM プレイリストメニュー画面 >

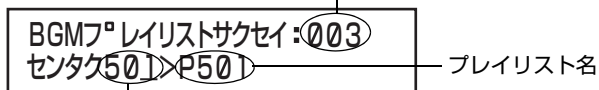
BGMプレイリストサクセイ: 003
センタク501>P501

< BGM プレイリスト選択画面 >

4. 削除したいミュージックが登録されている BGM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで修正する BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

選択している BGM プレイリスト
に含まれるミュージック数

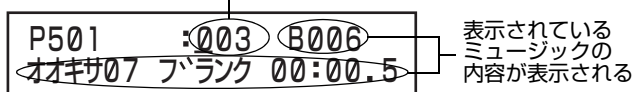


BGMプレイリスト
< BGM プレイリスト選択画面 >

5. 削除するミュージック番号を選択する

ミュージック番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

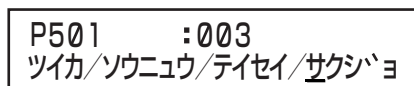
ミュージック番号



<ミュージック選択画面>

6. ミュージック項目を選択する

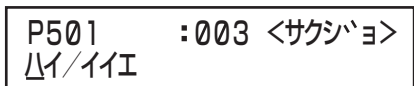
・『サクジョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<ミュージック項目選択画面>

7. ミュージックを削除する

- ・ミュージック削除選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ミュージックが削除されると、ミュージック選択画面(手順 5.)に戻ります。
- ・削除を中止する場合は、『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押します。削除を中止すると、ミュージック項目選択画面(手順 6.)に戻ります。

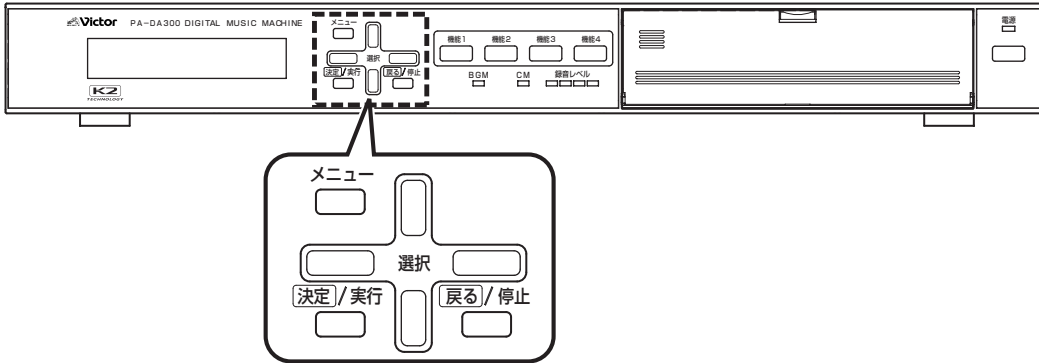


<ミュージック削除確認画面>

メモ

- ・選択したミュージックを削除し、プレイリスト選択画面に戻ると、削除したミュージックの次のミュージックの番号が繰り上がって表示されます。

BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

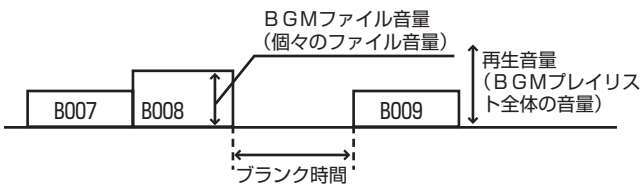
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

再生音量レベルを設定する

BGM プレイリスト全体の音量を設定します。



1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1. BGM プレイリスト』→『3-1-3. サイセイオンリョウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ミュージックが登録されていない BGM プレイリストは表示されません。

3-1. BGMプレイリスト
3-1-3. サイセイオンリョウ

< BGM プレイリストメニュー画面 >

3-1-3. サイセイオンリョウ
センタク50] > P501

09

— 現在の出力レベル

< BGM プレイリスト選択画面 >

4. 出力レベルを設定する

- ・ 選択上、下ボタンで0～9の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 決定 / 実行ボタンを押し、出力レベルを確定すると、BGMプレイリスト選択画面(手順 3.)に戻ります。
- ・ 戻る / 停止ボタンを押すと、出力レベルを変更せずにBGMプレイリスト選択画面(手順 3.)に戻ります。

サイセイオンリョウ P501
オオキサ: 07

<出力レベル設定画面>

『オオキサ』: BGMプレイリストの再生音量を設定します。
0 (最小音量)～9 (最大音量)の範囲で設定します。
(工場出荷時: 『9』)

BGMプレイリストをコピーする

下記は説明例として、P501『ラジオタイソウ』のBGMプレイリストをP502にコピーする手順を説明しています。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・ システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・ 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. コピー元プレイリスト選択画面を表示する

- ・ プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1. BGMプレイリスト』→『3-1-4. プレイリストコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3-1. BGMプレイリスト
3-1-4. プレイリストコピー

< BGMプレイリストメニュー画面>

3-1-4. プレイリストコピー
コピー元 (50) > ラジオタイソウ

プレイリスト名

BGMプレイリスト番号

<コピー元プレイリスト選択画面>

メモ

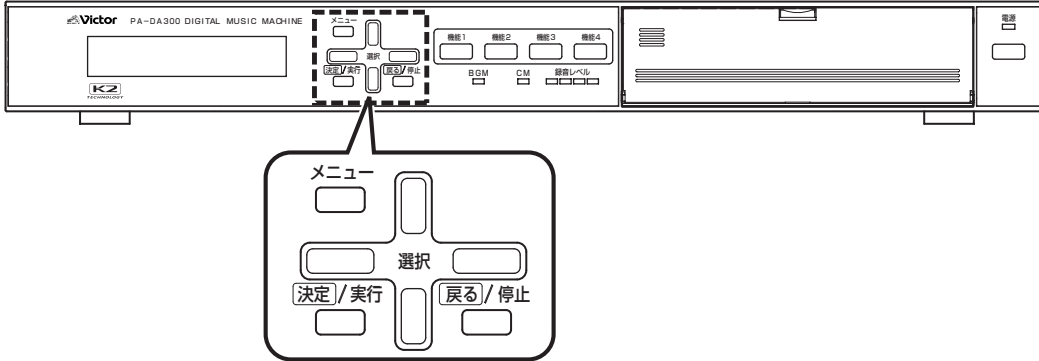
- ・ 下記の状態の場合は、コピーすることができません。
 - ・ すでに499個のBGMプレイリストが作成されている場合。LCD画面に約10秒間『*アキプレイリストナシ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。
 - ・ プレイリスト名が表示されないプレイリストは未設定のためコピーできません。LCD画面に約10秒間『*プレイリストラサクセイシテクダサイ』と表示し、コピー元プレイリスト選択画面に戻ります。

4. コピー元のプレイリストを選択してコピーする

- ・ 選択上、下ボタンで、コピーするBGMプレイリストを選択して決定 / 実行ボタンを押すと、コピーを実行します。
- ・ 戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。
- ・ 一番小さい空きプレイリスト番号に自動的にコピーされます。
- ・ コピーが終了すると、LCD画面に約10秒間『コピーシマシタ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。

コピーシマシタ
コピー元 502 > ラジオタイソウ

BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリストを消去する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1. BGM プレイリスト』→『3-1-5. プレイリストショウキョ』を選択し、決定/実行ボタンを押します。



< BGM プレイリストメニュー画面 >



< BGM プレイリスト選択画面 >

4. 消去する BGM プレイリストを選択する

- ・選択上、下ボタンで消去する BGM プレイリストを選択し、決定/実行ボタンを押します。



BGM プレイリスト番号

<プレイリスト選択画面>

5. 消去をする

- ・ 消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『イエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去せずに BGM プレイリスト選択画面(手順 3.)に戻ります。
- ・ BGM プレイリストを消去すると、LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示し、BGM プレイリスト選択画面に戻ります。

3-1-5. プレイリストショウキョ
ショウキョシマスカ? ハイ/イエ

<消去確認画面>

CM プレイリストによる さまざまな再生方法例

- ・ 録音したCM ファイルをCM プレイリストにメッセージとして登録することで、複数の CM ファイルを組み合わせて放送することができます。
- ・ CM プレイリスト作成および制御入力(起動番号)の各種設定によりさまざまな放送ができます。

用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

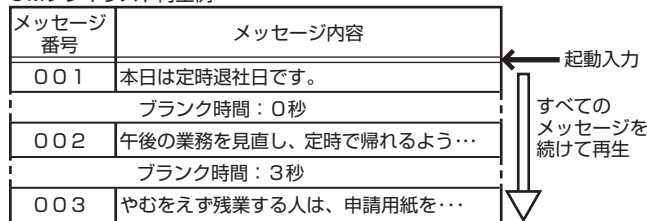
■ 複数のメッセージを組み合わせて、ひとつのメッセージとして再生する

1 回の起動で、複数のメッセージで構成した CM プレイリストを続けて再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-4. 制御入力」	53
ブランク時間	メッセージ 01: 0秒 メッセージ 02: 3秒	「3-2-2. プレイリスト作成」	88

CMプレイリスト再生例



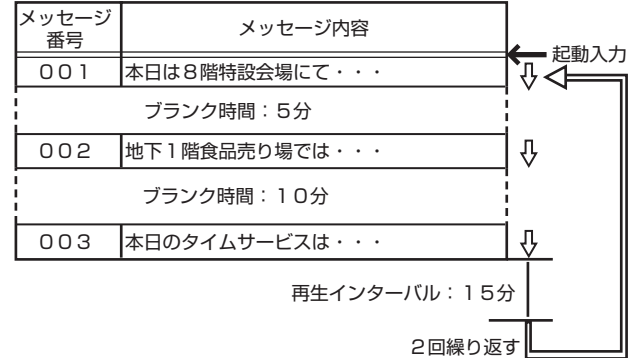
■ 複数のメッセージを、時間の間隔を空けて繰り返し再生する

1 回の起動で、複数のメッセージを任意の時間を空けて、繰り返して再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-4. 制御入力」	53
再生回数	2 回		
再生インターバル	15分		
ブランク時間	メッセージ 01: 5分 メッセージ 02: 10分	「3-2-2. プレイリスト作成」	88

CMプレイリスト再生例



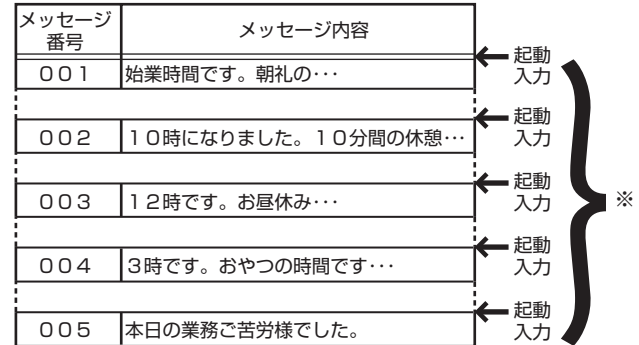
■ 再生する順番が決まっているメッセージを、起動が入るごとに放送する

起動が入るごとに、CM プレイリスト内のメッセージを1つずつ順番に再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	単独再生	「3-4. 制御入力」	53

CMプレイリスト再生例



CM プレイリストを設定する

- ・ CM プレイリストに対して、各設定を行います。
- ・ CM プレイリストは最大 499 個 (P001 ~ P499) 作成できます。

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー
プレイリスト名	カタカナ、アルファベットなど	P001 ~ P499	『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-1. プレイリストメイ』
CM ファイル番号	C001 ~ C999	—	『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』
ファイル音量	0 ~ 10	8	
ブランク時間	0 秒 ~ 9 9 分 0.5 秒毎に設定	00:00.0	
再生音量	0 ~ 9	9	『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-3. サイセイオンリョウ』

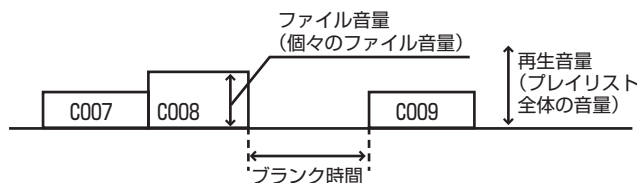
プレイリスト名 : 本機に録音したときに自動的に作成されると、「P001 ~ P499」のように連番で名前がつけられています。下記の文字から最大 8 文字で名前を変更できます。

- ・ カタカナ
- ・ アルファベット 小文字、大文字
- ・ 数字
- ・ 記号 (^、#、\$、%、&、(、)、_、{、}、!)
- ・ 空欄

CM ファイル番号 : 再生したいファイル番号を順番に登録します。ひとつのプレイリストに最大 100 ファイル登録できます。チャイム音など、共通で使用するファイルは複数のプレイリストに登録することができます。

ブランク時間 : CM ファイル再生時、次の CM ファイル再生開始までのブランク時間 (間隔) を設定します。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。※プレイリストを繰り返し再生するときの再生間隔を設定するときは、起動番号設定の「再生インターバル」で設定します。(101 ページ)

ファイル音量 : 各 CM ファイルの音量ばらつきを調整する場合や、意図的に一部の CM ファイル音量を変えたいときなどに設定します。
再生音量 : プレイリスト全体の音量を設定します。



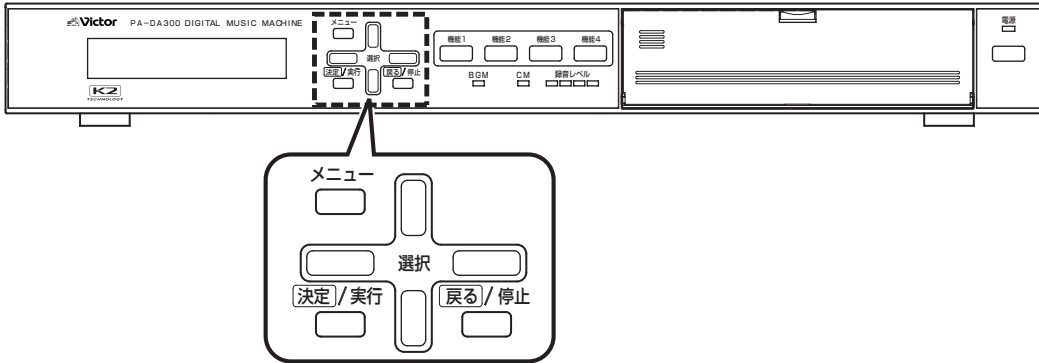
- ・ CM プレイリストの設定を行う前に、下記の記入例を参考にプレイリスト設定シートを作成してください。プレイリスト設定シートはコピーしてお使いください。(139 ページ)

プレイリスト設定シート記入例

001				
サービスデー				
メッセージ番号 または ミュージック番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	メッセージ内容
001	C007	7	00:00.0	いらっしやいませ。
002	C008	6	00:00.5	ご来店いただきまして...
003	C009	7	(※)	本日はラッキーサービスデーで.....

※ CM プレイリストの最終メッセージに設定した「ブランク時間」は無効となります。

CM プレイリストを設定する (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM プレイリスト名を変更する

- ・プレイリスト名は最大8文字まで入力可能です。
- ・工場出荷時のプレイリスト名は”P+ 3桁の数字”(例:「P001」)で設定されています。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで「3. プログラムメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. CM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで「3-2. CM プレイリスト」→「3-2-1. プレイリストメイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-2. CMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3-2. CMプレイリスト
3-2-1. プレイリストメイ

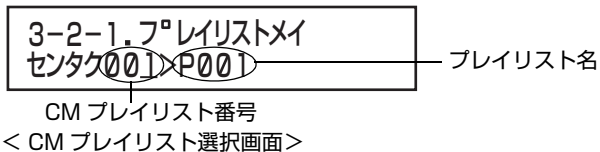
<CM プレイリストメニュー画面>

3-2-1. プレイリストメイ
センタク001>P001

<CM プレイリスト選択画面>

4. 名前をつけたい CM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで、名前をつけたい CM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



5. 選択した CM プレイリストの名前を変更する

- ・文字選択部から任意の文字を選択して入力します。
- ・選択上、下ボタンでカーソルを「文字選択部」⇄「OK」⇄「ケス」⇄「プレイリスト名表示部」の順に移動できます。

プレイリスト名表示部



プレイリスト名表示部 : 文字選択部から選択した任意の文字をカーソル () のある位置に挿入します。選択左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。

『OK』 : 入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部の内容を確定します。

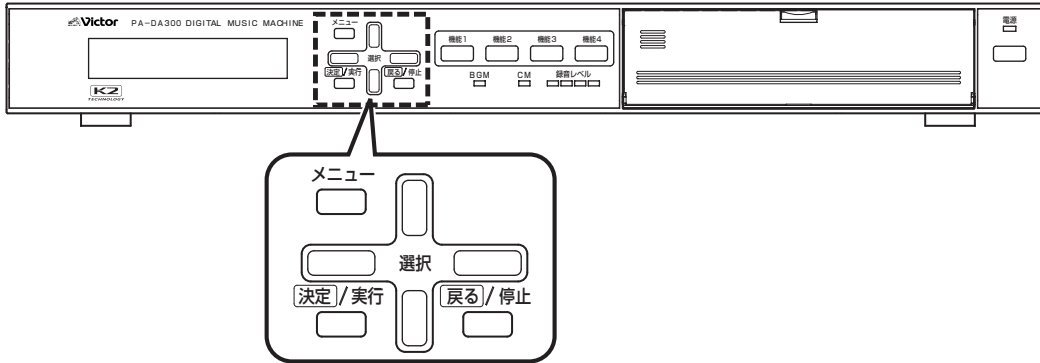
『ケス』 : 『ケス』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。

文字選択部 : 文字を選択するときは、選択上、下ボタンでカーソルを文字選択部に移動し、選択左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の<>カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

6. プレイリスト名を確定する

- ・入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押します。
- ・決定 / 実行ボタンを押さずに、戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト名を確定せずに CM プレイリスト選択画面に戻ります。
- ・入力したプレイリスト名が確定すると、自動的に CM プレイリスト選択画面に戻ります。

CM プレイリストを設定する (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを追加する

- ・メッセージを追加し、CM プレイリストの設定を行います。
- ・1つのCM プレイリストには最大 100 個のメッセージが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。

(10 ページ「システム動作を停止する」参照)

- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで「3. プログラムメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. CM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで「3-2. CM プレイリスト」→「3-2-2. プレイリストサクセイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-2. CMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3-2. CMプレイリスト
3-2-2. プレイリストサクセイ

<CM プレイリストメニュー画面>

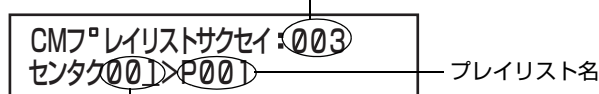
CMプレイリストサクセイ:003
センタク001>P001

<CM プレイリスト選択画面>

4. 設定する CM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで作成する CM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

選択しているプレイリストに含まれるメッセージ数



CM プレイリスト番号

< CM プレイリスト選択画面 >

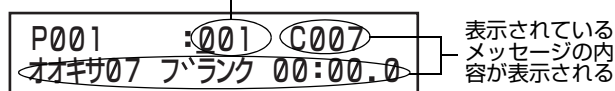
メモ

- 選択したCMプレイリストに1つもメッセージが登録されていない場合は、約10秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にメッセージ設定画面(手順7.)が表示されます。

5. 追加したいメッセージの前または後ろのメッセージ番号を選択する

メッセージ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

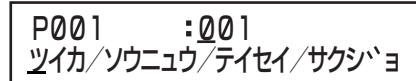
メッセージ番号



<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する

『ツイカ』または『ソウニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<メッセージ項目選択画面>

- 『ツイカ』 : 手順5. で選択したメッセージの後ろに新規メッセージが登録されます。
- 『ソウニュー』 : 手順5. で選択したメッセージの前に新規メッセージが登録されます。

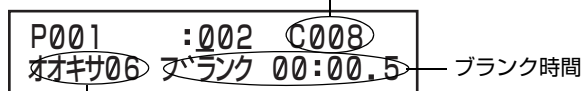
メモ

- メッセージがすでに100個あるときは、メッセージを新規登録できません。『* ステップスウガサイダイデス』と、約10秒表示され、メッセージ項目選択画面(手順6.)に戻ります。

7. メッセージを設定する

- 選択左、右ボタンで設定項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
- 設定の終了後、決定 / 実行ボタンを押し、設定内容を確認します。

ファイル番号



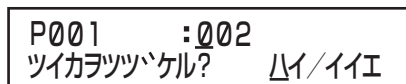
ファイル音量

<メッセージ設定画面(例:手順6.で『ツイカ』を選択した場合)>

- ファイル番号 : 再生する CM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する CM ファイルを複数の CM プレイリストに登録することができます。
- ファイル音量 : CM プレイリストに登録した各 CM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の CM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-2-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)
- ブランク時間 : CM ファイル再生時、次の CM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0秒から99分まで0.5秒毎に設定できます。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00.0』)

メモ

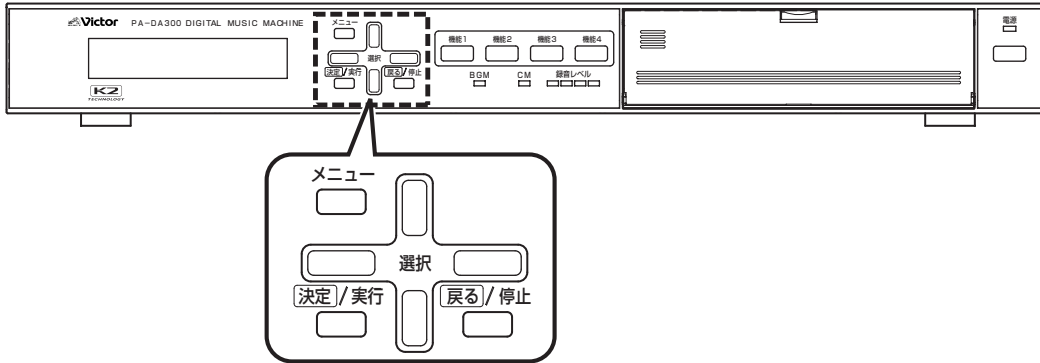
- 設定内容を確認すると、継続登録確認画面が表示されず。『ハイ』または『イエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押してください。



<継続登録選択画面(例:手順6.で『ツイカ』を選択した場合)>

- 『ハイ』 : メッセージを続けて登録します。メッセージ設定画面(手順7.)に戻ります。
- 『イエ』 : メッセージ登録を終了します。メッセージ選択画面(手順5.)に戻ります。

CMプレイリストを設定する (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを修正する

選択したメッセージの設定内容を修正します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。

(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)

- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. CM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2. CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-2. CMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3-2. CMプレイリスト
3-2-2. プレイリストサクセイ

<CMプレイリストメニュー画面>

CMプレイリストサクセイ: 003
センタク001>P001

<CMプレイリスト選択画面>

4. 修正したいメッセージが登録されている CM プレイリストを選択する

選択上、下ボタンで修正する CM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

選択している CM プレイリスト
に含まれるメッセージ数

CMプレイリストサクセイ:003
センタク001 P001

CM プレイリスト番号
< CM プレイリスト選択画面 >

5. 修正するメッセージ番号を選択する

メッセージ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

メッセージ番号

P001 :003 C008
オオキサ06 ブランク 00:00.5

<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する

・『テイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

P001 :003
ツイカ/ソウニユウ/テイセイ/サクジ'ヨ

<メッセージ項目選択画面>

7. メッセージを修正する

- ・ 選択左、右ボタンで修正する項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
- ・ 修正終了後、決定 / 実行ボタンを押し、修正内容を確定します。

CM ファイル番号

P001 :003 C009
オオキサ07 ブランク 00:00.5

ファイル音量

<メッセージ設定画面(例:手順 6. で『テイセイ』を選択した場合)>

ファイル番号 :再生する CM ファイルを選択します。

※チャイム音など、共通で使用する CM ファイルを複数の CM プレイリストに登録することができます。

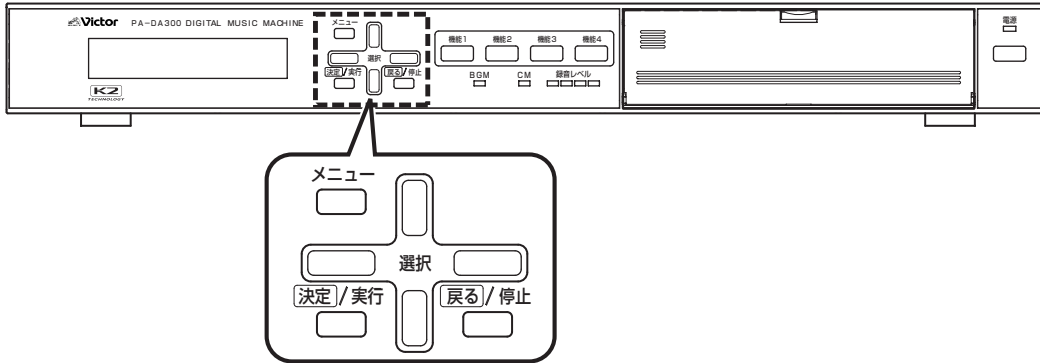
ファイル音量 :CM プレイリストに登録した各 CM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の CM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。

※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-2-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)

ブランク時間 :CM ファイル再生時、次の CM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
(分 / 秒 / コンマ 5 秒)

0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

CMプレイリストを設定する (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

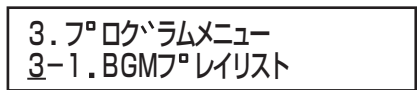
メッセージを削除する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

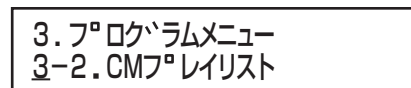
メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

3. CM プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2. CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>



< CM プレイリストメニュー画面>



< CM プレイリスト選択画面>

4. 削除したいメッセージが登録されているCMプレイリストを選択する

選択上、下ボタンで修正するCMプレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

選択しているプレイリストに含まれるメッセージ数

CMプレイリストサクセイ:004 センタク001>P001	プレイリスト名
----------------------------------	---------

CMプレイリスト番号

< CMプレイリスト選択画面 >

5. 削除するメッセージ番号を選択する

メッセージ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

メッセージ番号

P001 :003 C006 オオキサ07 フランク 00:00.5	表示されているメッセージの内容が表示される
---------------------------------------	-----------------------

<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する

・『サクジョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

P001 :003 ツイカ/ソウニユウ/テイセイ/サクジ`ヨ

<メッセージ項目選択画面>

7. メッセージを削除する

- ・メッセージ削除確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・メッセージが削除されると、メッセージ選択画面(手順 5.)に戻ります。
- ・削除を中止する場合は、『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押します。削除を中止すると、メッセージ項目選択画面(手順 6.)に戻ります。

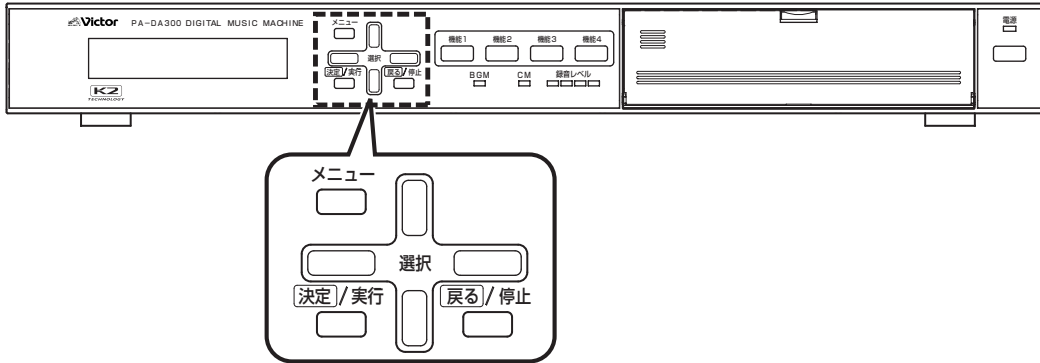
P001 :003 <サクジ`ヨ> ハイ/イイエ

<メッセージ削除確認画面>

メモ

- ・選択したメッセージを削除し、CMプレイリスト選択画面に戻ると、削除したメッセージの次のメッセージの番号が繰り上がって表示されます。

CMプレイリストを設定する (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

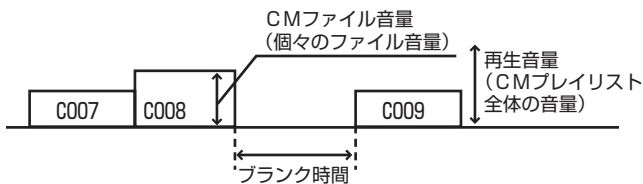
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

再生音量レベルを設定する

CM プレイリスト全体の音量を設定します。



1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. CM プレイリスト選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2. CMプレイリスト』→『3-2-3. サイセイオンリョウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・メッセージが登録されていない CM プレイリストは表示されません。

3. プログラムメニュー
3-2. CMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3-2. CMプレイリスト
3-2-3. サイセイオンリョウ

< CM プレイリストメニュー画面>

3-2-3. サイセイオンリョウ
センタク001>P001

⓪9 — 現在の出力レベル

< CM プレイリスト選択画面>

4. 出力レベルを設定する

- ・ 選択上、下ボタンで0～9の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 決定 / 実行ボタンを押し、出力レベルを確定すると、CM プレイリスト選択画面(手順 3.)に戻ります。
- ・ 戻る / 停止ボタンを押すと、出力レベルを変更せずに CM プレイリスト選択画面(手順 3.)に戻ります。

サイセイオンリョウ P001
オオキサ: 07

<出力レベル設定画面>

『オオキサ』: CM プレイリストの再生音量を設定します。
0 (最小音量)～9 (最大音量)の範囲で設定します。
(工場出荷時: 『9』)

CM プレイリストをコピーする

1. メインメニュー画面を表示する

- ・ システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・ 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. コピー元プレイリスト選択画面を表示する

- ・ プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2. CMプレイリスト』→『3-2-4. プレイリストコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-2. CMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3-2. CMプレイリスト
3-2-4. プレイリストコピー

<CMプレイリストメニュー画面>

3-2-4. プレイリストコピー
コピーモード 001 > サービスデータ

CMプレイリスト番号

<コピー元プレイリスト選択画面>

メモ

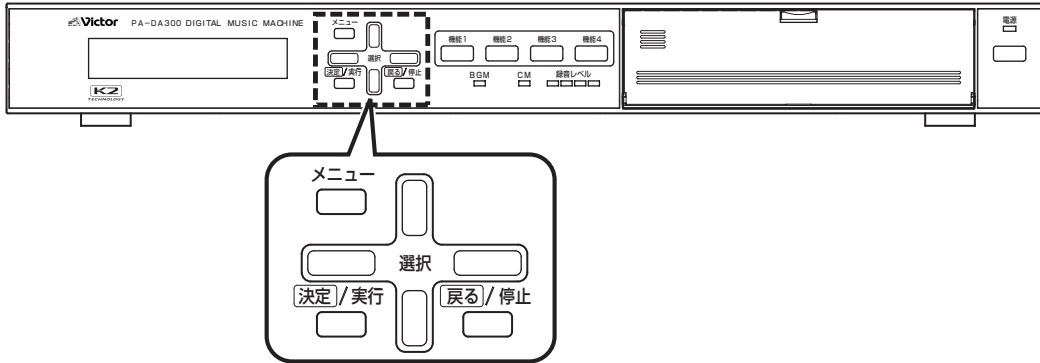
- ・ 下記の状態の場合は、コピーすることができません。
 - ・ すでに 499 個の CM プレイリストが作成されている場合。LCD 画面に約 10 秒間『* アキプレイリスト ナシ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。
 - ・ プレイリスト名が表示されない CM プレイリストは未設定のためコピーできません。LCD 画面に約 10 秒間『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示し、コピー元プレイリスト選択画面に戻ります。

4. コピー元のプレイリストを選択してコピーする

- ・ 選択上、下ボタンでコピーする CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、コピーを実行します。
- ・ 戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。
- ・ 一番小さい空きプレイリスト番号に自動的にコピーされます。
- ・ コピーが終了すると、LCD 画面に約 10 秒間『コピーシマシタ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。

コピーシマシタ
コピーサキ 002 > サービスデータ

CMプレイリストを設定する (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM プレイリストを消去する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. CM プレイリスト選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2. CMプレイリスト』→『3-2-5. プレイリストショウキョ』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-2. CMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3-2. CMプレイリスト
3-2-5. プレイリストショウキョ

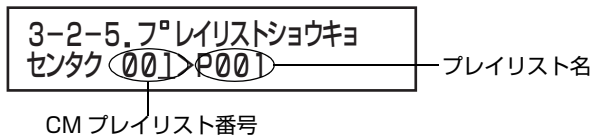
<CMプレイリストメニュー画面>

3-2-5. プレイリストショウキョ
センタク 001>P001

<CMプレイリスト選択画面>

4. 消去するプレイリストを選択する

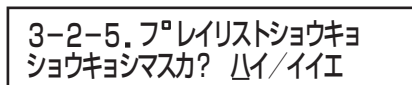
選択上、下ボタンで消去する CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< CM プレイリスト選択画面 >

5. 消去をする

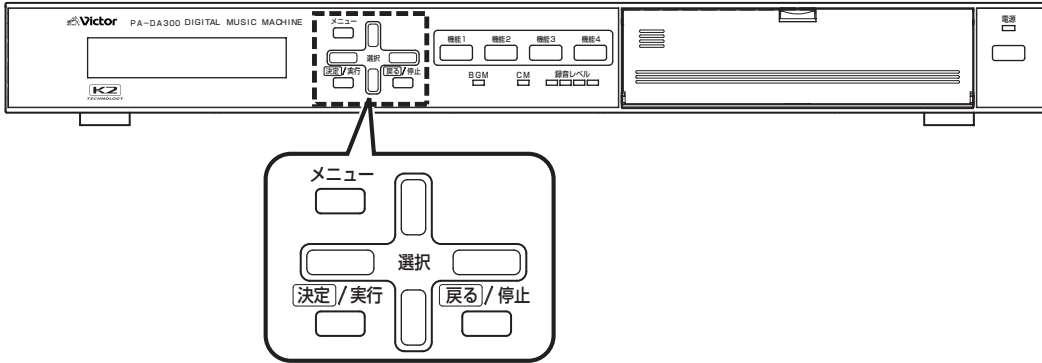
- ・ 消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去せずに CM プレイリスト選択画面(手順 2.)に戻ります。
- ・ プレイリストを消去すると、LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示し、プレイリスト選択画面に戻ります。



< 消去確認画面 >

機能ボタンに BGM プレイリストを設定する

機能ボタンに、再生する BGM プレイリストを設定します。



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. 機能ボタン選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、『3-3. キノウキー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-3. キノウキー

<プログラムメニュー画面>

3-3. キノウキー
センタク: E1 ナシ

<機能ボタン選択画面>

4. 設定する機能ボタンを選択する

- ・選択上、下ボタンで設定する機能ボタンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3-3. キノウキー
センタク: (E1) ナシ

機能ボタン

<機能ボタン選択画面>

5. 動作を割り当てる

- ・ 選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 6. に進みます。
- ・ 『ナシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、機能ボタン選択画面に戻ります。

3-3. キノウキ F1
センタク: プレイリスト

<動作選択画面>

『プレイリスト』: 機能ボタンを押すと、プレイリストを再生します。

『ナシ』: 機能ボタンを押しても動作しません。

6. BGM/CM 選択画面で、『BGM』を選択する

選択左、右ボタンで『BGM』選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3-3. キノウキ F1 : プレイリスト
センタク: BGM/CM

< BGM/CM 選択画面 >

7. 選択した機能ボタンで再生する BGM プレイリストを選択する

- ・ 選択上、下ボタンで BGM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ ミュージックが入力されている BGM プレイリストが表示されます。

選択している機能ボタン

3-3. キノウキ (F1) : プレイリスト
センタク (501) x P501

プレイリスト名

BGM プレイリスト番号

<プレイリスト選択画面>

メモ

- ・ 設定されていない BGM プレイリストを選択した場合、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されます。

8. 機能ボタンの詳細設定をする

- ・ BGM プレイリスト再生に関する各設定を行います。
- ・ 機能ボタンの詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目 (工場出荷時設定)	参照ページ
再生モード	連続 / 単独 (連続)	99
再生回数	1回~99回、エンドレス (1回)	100
再生 インターバル	分: 0分~99分まで1分毎 秒: 0秒~50秒まで10秒毎 (0分0秒)	101
シャッフル	オン / オフ (オフ)	101

■再生モード設定

- ・ 選択左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 決定 / 実行ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

F1 : BGM P501
サイセイモード : レンゾク/タンドク

<再生モード選択画面>

『レンゾク』: 機能ボタンを1回押すと、BGM プレイリスト内のミュージックをすべて再生します。
(☞ 100 ページ「再生回数設定」へ進む)

『タンドク』: 機能ボタンを1回押すごとに、BGM プレイリスト内のミュージックを1つずつ順番に再生します。
(☞ 101 ページ「シャッフル設定」へ進む)

(工場出荷時: 『レンゾク』)

連続再生の動作イメージ

BGMプレイリスト例

ミュージック番号	BGM音楽
001	チャイム 上り3音
002	ラジオ体操第一 (号令入り)
003	チャイム 下り3音

機能ボタンを押す
↓
すべてのミュージックを続けて再生

単独再生の動作イメージ

BGMプレイリスト例

ミュージック番号	BGM音楽
001	「ペールギュント」より「朝」
002	ウェストミンスターの鐘
003	小さな世界
004	ディンドン
005	夕やけこやけ

機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す

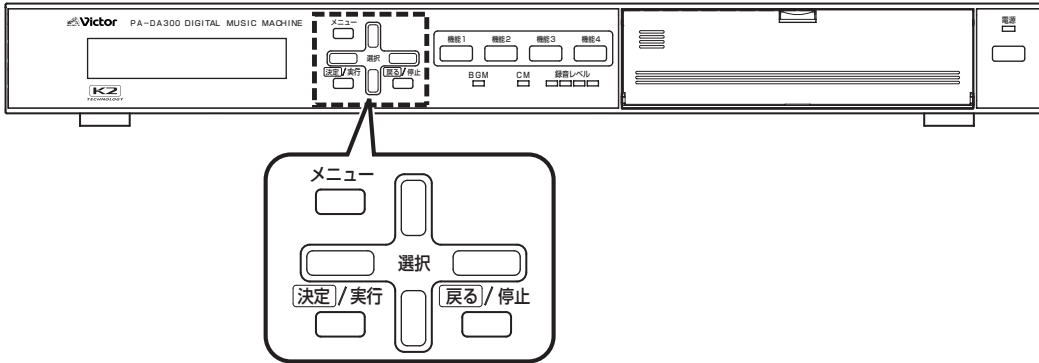
※

※機能ボタンを押すごとにミュージックを1つずつ再生

メモ

- ・ 単独再生は、起動優先モードが「パルス方式」モードに設定されているときのみ対応します。

機能ボタンに BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

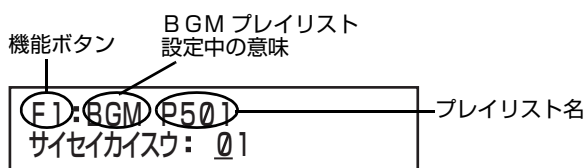
BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

8. 機能ボタンの詳細設定をする(つづき)

■再生回数設定

選択上、下ボタンで、再生回数(1回~99回)または『エンドレス』を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<再生回数選択画面>

再生回数 : BGM プレイリスト内のミュージックすべてを繰り返して再生する回数を設定します。1回~99回まで設定できます。

(☞ 2回以上に設定した場合、101ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。(☞ 101ページ)

『エンドレス』: BGM プレイリスト内のミュージックすべてを限りなく再生します。

(☞ 101ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

(工場出荷時: 1回)

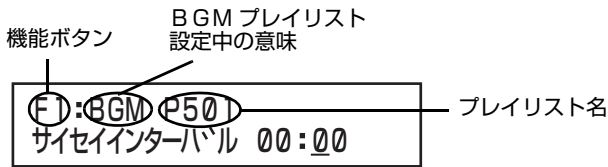
メモ

●再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。

●起動優先モードを「レベル方式」モードに設定している場合に、「再生インターバル時間」を設定するときは「エンドレス」を選択してください。

■再生インターバル時間設定

- ・ BGM プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
- ・ 選択左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
- ・ 選択上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
(☞ 101 ページ)



<再生インターバル時間設定画面>

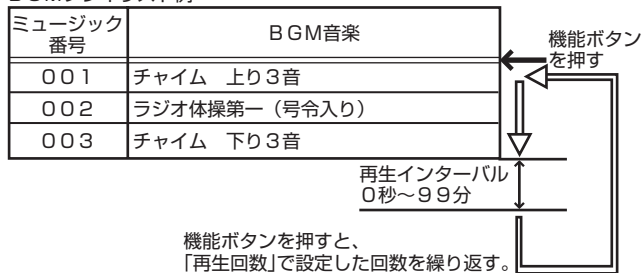
分 : 0分~ 99分まで1分毎に設定できます。

秒 : 0秒~ 50秒まで10秒毎に設定できます。

(工場出荷時: 0秒)

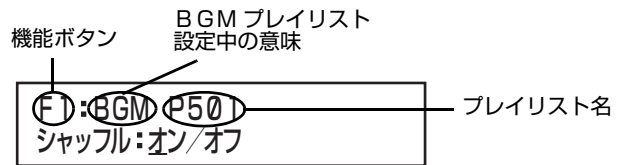
「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ

BGMプレイリスト例



■シャッフル設定

- ・ 選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 設定を確定すると、機能ボタン選択画面に戻ります。
(☞ 98 ページ)



<シャッフル設定画面>

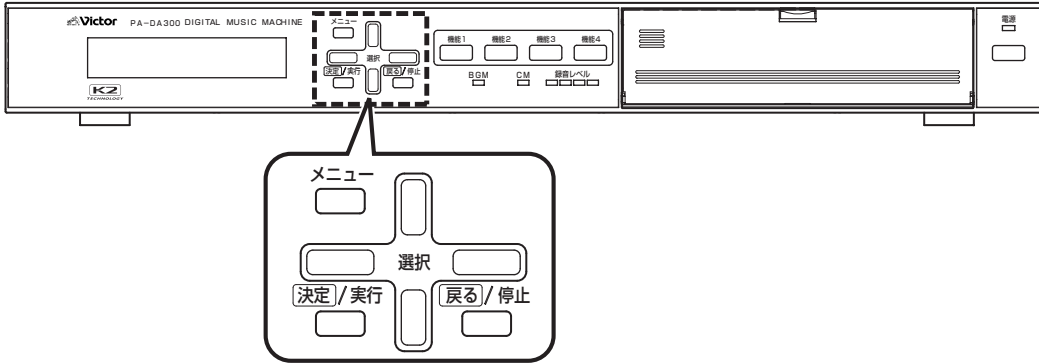
『オン』 : BGM プレイリストに登録されているミュージックを、ミュージック番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

『オフ』 : BGM プレイリスト内のミュージックをミュージック番号順に再生します。

(工場出荷時: 『オフ』)

機能ボタンに CM プレイリストを設定する

機能ボタンに、再生する CM プレイリストを設定します。



用語について

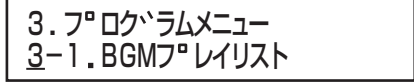
- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

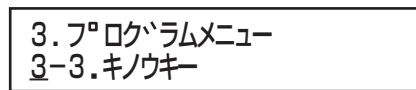
メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

3. 機能ボタン選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、『3-3. キノウキー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>



<機能ボタン選択画面>

4. 設定する機能ボタンを選択する

- ・選択上、下ボタンで設定する機能ボタンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



機能ボタン

<機能ボタン選択画面>

5. 動作を割り当てる

- ・ 選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 6. に進みます。
- ・ 『ナシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、機能ボタン選択画面に戻ります。

3-3. キノウキ F1
センタク: プレイリスト

< 動作選択画面 >

『プレイリスト』: 機能ボタンを押すと、プレイリストを再生します。

『ナシ』: 機能ボタンを押しても動作しません。

6. BGM/CM 選択画面で、『CM』を選択する

選択左、右ボタンで『CM』選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

3-3. キノウキ F1: プレイリスト
センタク: BGM/CM

< BGM/CM 選択画面 >

7. 選択した機能ボタンで再生する CM プレイリストを選択する

- ・ 選択上、下ボタンで CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ メッセージが入力されている CM プレイリストが表示されます。

選択している機能ボタン

3-3. キノウキ (F1): プレイリスト
センタク (00) x P001

CM プレイリスト番号

< プレイリスト選択画面 >

メモ

- ・ 設定されていない CM プレイリストを選択した場合、『*プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されます。

8. 機能ボタンの詳細設定をする

- ・ CM プレイリスト再生に関する各設定を行います。
- ・ 機能ボタンの詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目 (工場出荷時設定)	参照ページ
再生モード	連続 / 単独 (連続)	103
再生回数	1回~99回、エンドレス (1回)	104
再生 インターバル	分: 0分~99分まで1分毎 秒: 0秒~50秒まで10秒毎 (0分0秒)	105
シャッフル	オン / オフ (オフ)	105
通常・ 緊急優先設定	通常 / 緊急 (通常)	105

■再生モード設定

- ・ 選択左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 決定 / 実行ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

F1: CM P001
サイセイモード: レンゾク/タンドク

< 再生モード選択画面 >

『レンゾク』: 機能ボタンを1回押すと、CM プレイリスト内のメッセージをすべて再生します。
(☞ 104 ページ「再生回数設定」へ進む)

『タンドク』: 機能ボタンを1回押すごとに、CM プレイリスト内のメッセージを1つずつ順番に再生します。
(☞ 105 ページ「シャッフル設定」へ進む)

(工場出荷時: 『レンゾク』)

連続再生の動作イメージ

CMプレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時に帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

機能ボタンを押す
↓
すべてのメッセージを続けて再生

単独再生の動作イメージ

CMプレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	始業時間です。朝礼の…
002	10時になりました。10分間の休憩…
003	12時です。お昼休み…
004	3時です。おやつの時間です…
005	本日の業務ご苦労様でした。

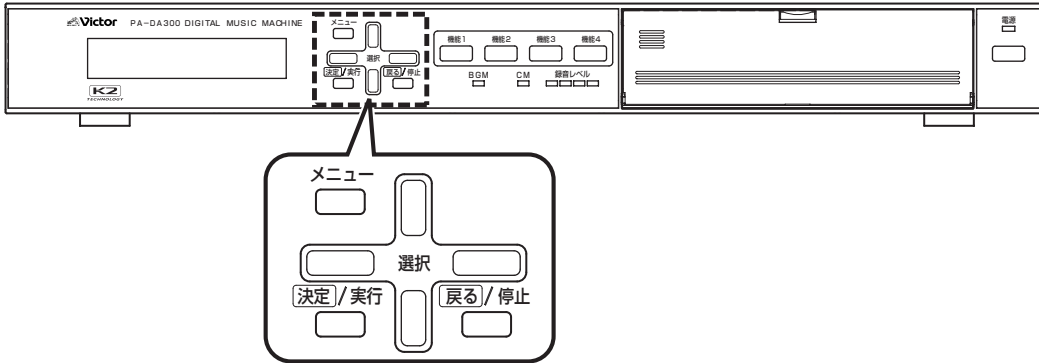
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
機能ボタンを押す
※

※機能ボタンを押すごとにメッセージを1つずつ再生

メモ

- ・ 単独再生は、起動優先モードが「パルス方式」モードに設定されているときのみ対応します。

機能ボタンに CM プレイリストを設定する(つづき)



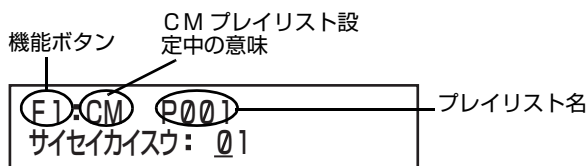
用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

8. 機能ボタンの詳細設定をする(つづき)

■再生回数設定

選択上、下ボタンで、再生回数(1回~99回)または『エンドレス』を選択し、決定/実行ボタンを押します。



<再生回数選択画面>

- 再生回数 : CM プレイリスト内のメッセージすべてを繰り返して再生する回数を設定します。
1回~99回まで設定できます。
(☞ 2回以上に設定した場合、105ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)
※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。(☞ 105ページ)
- 『エンドレス』: CM プレイリスト内のメッセージすべてを限りなく再生します。
(☞ 105ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

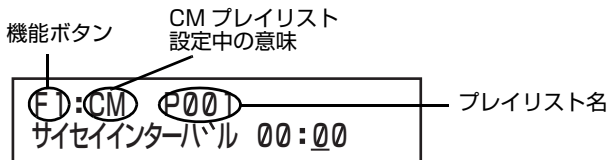
(工場出荷時: 1回)

メモ

- 再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。
- 起動優先モードを「レベル方式」モードに設定している場合に、「再生インターバル時間」を設定するときは「エンドレス」を選択してください。

■再生インターバル時間設定

- ・CM プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
- ・選択左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
- ・選択上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
(☞ 105 ページ)



<再生インターバル時間設定画面>

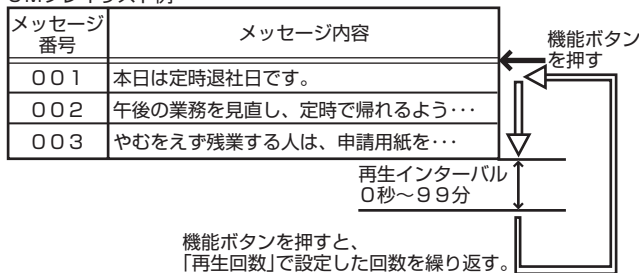
分 : 0分~ 99分まで1分毎に設定できます。

秒 : 0秒~ 50秒まで10秒毎に設定できます。

(工場出荷時: 0秒)

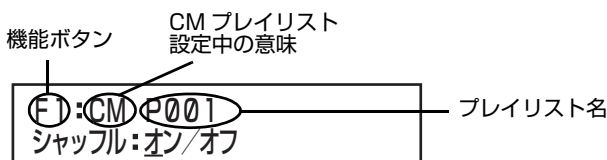
「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ

CMプレイリスト例



■シャッフル設定

- ・選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、「通常・緊急優先設定」へ進みます。
(☞ 105 ページ)



<シャッフル設定画面>

「オン」 : CM プレイリストに登録されているメッセージを、メッセージ番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

「オフ」 : CM プレイリスト内のメッセージをメッセージ番号順に再生します。

(工場出荷時: 「オフ」)

■通常・緊急優先設定

- ・選択左、右ボタンで「ツウジョウ」または「キンキュウ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・「キンキュウ」に設定すると、起動優先モードの設定に関係なく、最優先で再生します。
例えば、
- ・「後優先」設定のとき、「緊急」設定した機能ボタンの CM プレイリストを再生中に、後から別の起動が入っても無視されます。
- ・「先優先」設定のとき、「通常」設定した起動番号のプレイリストを再生中に、「緊急」設定された機能ボタンを押すと、再生中のプレイリストを中断し、緊急設定の CM プレイリストを再生します。
- ・「順次記憶」設定で起動番号記憶中のとき、「緊急」設定された機能ボタンを押すと、再生中のプレイリストを中断し、すぐに緊急設定の CM プレイリストを再生します。

F1:CM P001
ツウジョウ/キンキュウ

<通常・緊急優先設定画面>

(工場出荷時: 「ツウジョウ」)

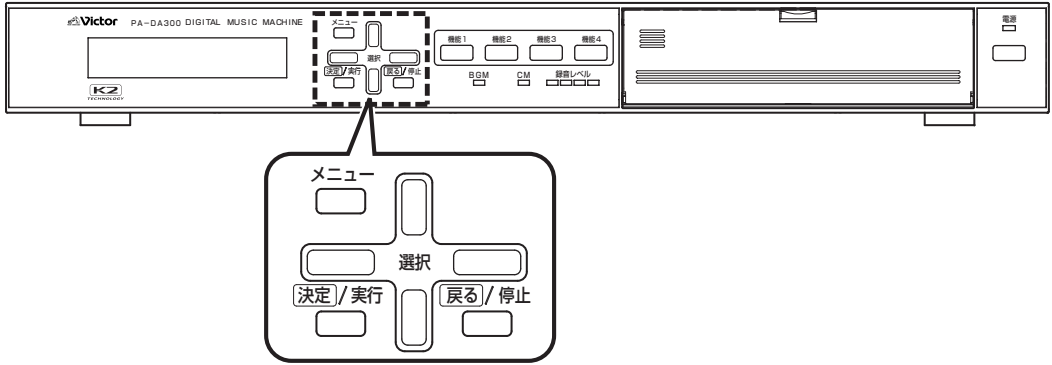
メモ

- ・CM 連動出力端子を「緊急」に設定しておくと、「緊急」設定された起動番号の CM プレイリストを再生中に外部機器を制御することができます。

(☞ 107 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

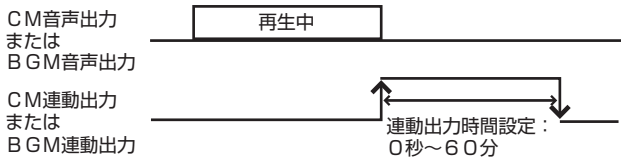
外部機器を制御する

- ・ 本機背面の BGM 連動出力端子または CM 連動出力端子に接続した外部機器を制御することができます。
- ・ 接続する外部機器に合わせて設定を行なってください。
- ・ BGM 連動出力端子は、常に「連動出力」設定になっています。「緊急」、「ビジー」設定はできません。



外部機器の制御例

- 再生終了後に外部機器を制御する
(「2-12.CM 連動出力」設定で「レンドウ」に設定)
- ・ プレイリスト再生終了のタイミングで外部機器へ出力(メーク接点)します。
- ・ 連動出力時間を0秒～60分まで設定できます。接続する外部機器に応じて設定してください。

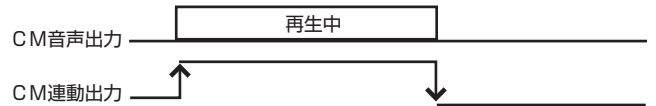


ご注意

- ・ BGM 連動出力端子は、常に「連動」モードで動作します。

■ 緊急指定したプレイリストの再生時に外部機器を制御する

- (「2-12.CM 連動出力」設定で「キンキュウ」に設定)
- ・ 「通常・緊急優先」設定を「緊急」に設定した起動番号が起動されると、外部機器を制御します。
- ・ プレイリスト再生中は連続して出力(メーク接点)されます。



■ 録音 / 消去時のビジー出力として使用する

- (「2-12.CM 連動出力」設定で「ビジー」に設定)
- ・ 録音、ファイルの消去時に、録音 / 消去の状態表示をすることができます。
- ・ 詳しくは、「離れた場所から CM 録音の制御をする」(P.115 ページ)をご覧ください。

BGM 連動出力設定をする

- ・信号が入力されると、BGM 連動端子に接続した外部機器を起動します。
- ・BGM 連動出力端子に設定できる機能は、「連動」のみです。連動時間を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. BGM 連動出力設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-11. BGM レンドウ シュツリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-11. BGMLレンドウシュツリョク

<設定メニュー画面>

2-11. BGMLレンドウシュツリョク
レンドウ 00:00

< BGM 連動出力設定画面>

4. 連動出力設定をする

- ・選択左、右ボタンで項目、分、秒を切り換えます。選択上、下ボタンで値を切り換えます。
分: 0分から60分まで1分毎に設定可能。
秒: 0秒から59秒まで1秒毎に設定可能。
(工場出荷時: 0分0秒)
- ・連動時間を設定し、決定 / 実行ボタンを押すと、設定を確定します。
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

2-11. BGMLレンドウシュツリョク
レンドウ 00:00

分 秒

CM 連動出力設定をする

信号が入力されると、CM 連動端子に接続した外部機器を起動します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. CM 連動出力設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-12. CM レンドウ シュツリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-12. CMレンドウシュツリョク

<設定メニュー画面>

2-12. CMレンドウシュツリョク
レンドウ 00:00

<連動出力設定画面>

4. 連動出力設定をする

- ・選択上、下ボタンで、『レンドウ』、『キンキュウ』、『ビジー』のどれかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

『レンドウ』 : ファイル再生終了後に、CM 連動端子に接続した外部機器を制御します。
連動時間を設定してください。

2-12. CMレンドウシュツリョク
レンドウ 00:00

分 秒

選択左、右ボタンで項目、分、秒を切り換えます。

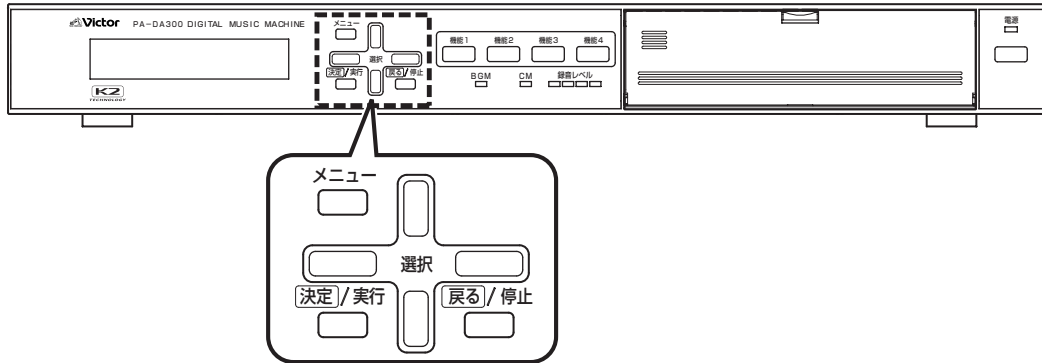
選択上、下ボタンで値を切り換えます。
分: 0分から60分まで1分毎に設定可能。
秒: 0秒から59秒まで1秒毎に設定可能。
(工場出荷時: 0分0秒)

『キンキュウ』 : 緊急指定した CM プレイリスト再生時に、CM 連動端子に接続した外部機器を制御します。

『ビジー』 : 録音、ファイルの消去時に、録音 / 消去の状態表示をします。

(工場出荷時: 「レンドウ」)

外部機器を制御する(つづき)



ブランク / インターバル期間の BGM 電源制御を設定する

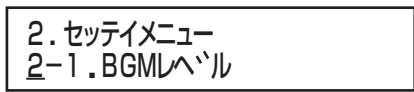
- ・本機背面の制御出力の BGM アンプ電源端子についての設定です。
- ・制御入力の起動番号設定での「再生インターバル時間」設定(☞ 54 ページ)および、BGM プレイリスト作成時の「ブランク時間」設定(☞ 88 ページ)で設定した、ファイルを再生していない間について、「BGM 電源制御」を出力(メーク)する / しないを設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<設定メニュー画面>

3. ブランク / インターバル設定画面を表示する

設定メニューから『2-9. BGM ブランク / インターバル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<設定メニュー画面>

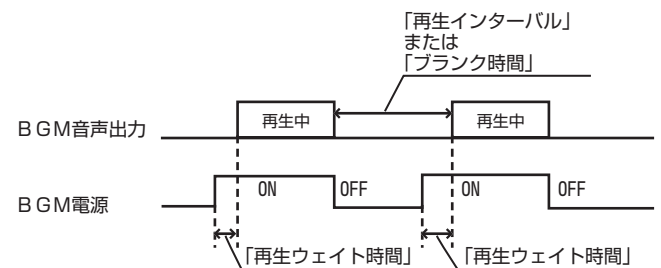


<ブランク / インターバル設定画面>

4. ブランク / インターバル設定をする

- ・選択左、右ボタンで、『オン』または『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『オン』 : ブランク / インターバル期間も出力(メーク)する。
『オフ』 : ブランク / インターバル期間は出力(メーク)しない。
- ・『オフ』に設定すると、ブランク、インターバル時間が 100 秒以上のときに設定が有効になります。
- ・設定を確定すると、自動的にブランク / インターバル設定画面に戻ります。
(工場出荷時: 『オフ』)

■ 『オフ』設定の場合の動作



メモ

- ・「再生インターバル」および「ブランク時間」が、100 秒以上に設定されているときに有効となります。
100 秒未満のときは、ファイル再生していない間も連続で出力します。
- ・「再生ウェイト時間」が設定されている場合は、ファイル再生開始より、設定した時間だけ早く出力されます。

ブランク / インターバル期間の CM 電源制御を設定する

- ・本機背面の制御出力の CM アンプ電源端子についての設定です。
- ・制御入力の起動番号設定での「再生インターバル時間」設定(☞ 52 ページ)および、CM プレイリスト作成時の「ブランク時間」設定(☞ 88 ページ)で設定した、ファイルを再生していない間について、「CM 電源制御」を出力(メーク)する / しないを設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. ブランク / インターバル設定画面を表示する

設定メニューから『2-10. CM ブランク / インターバル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-10. CM ブランク / インターバル

<設定メニュー画面>

2-10. CM ブランク / インターバル
オン / オフ

<ブランク / インターバル設定画面>

4. ブランク / インターバル設定をする

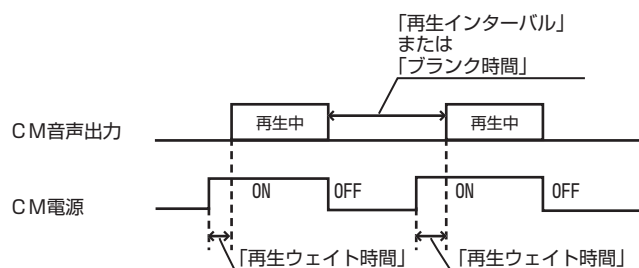
- ・選択左、右ボタンで、『オン』または『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

『オン』 : ブランク / インターバル期間も出力(メーク)する。

『オフ』 : ブランク / インターバル期間は出力(メーク)しない。

- ・『オフ』に設定すると、ブランク、インターバル時間が 100 秒以上のときに設定が有効になります。
- ・設定を確定すると、自動的にブランク / インターバル設定画面に戻ります。
(工場出荷時:『オフ』)

■ 「オフ」設定の場合の動作



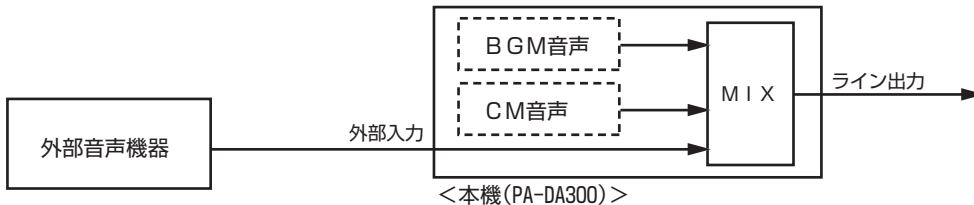
メモ

- ・「再生インターバル」および「ブランク時間」が、100 秒以上に設定されているときに有効となります。100 秒未満のときは、ファイル再生していない間も連続で出力します。
- ・「再生ウエイト時間」が設定されている場合は、ファイル再生開始より、設定した時間だけ早く出力されます。

BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する

BGM 音声、CM 音声、本機背面の外部入力端子から入力された音声を、ミキシングして出力することができます。また、優先順位、フェードイン / アウト時間など、用途に合わせて設定できます。

■ミキシング出力イメージ



■ミキシング出力に関する設定

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー	参照ページ
優先音源	外部 > CM > BGM、外部 > BGM > CM、CM > 外部 > BGM、CM > BGM > 外部、BGM > 外部 > CM、BGM > CM > 外部	CM > 外部 > BGM	『2-13. ユウセンオンゲン』	110
外部入力レベル	0 ~ 9	9	『2-14. ガイブニュウリョクレベル』	111
フェードイン	0 ~ 10 秒	0 秒	『2-15. フェードイン』	113
フェードアウト	0 ~ 10 秒	0 秒	『2-16. フェードアウト』	113
ミキシングレベル	0 % ~ 100 % (10 % 毎に設定)	40 %	『2-17. ミキシングレベル』	114

優先音源を設定する

音声を優先して出力させる音源を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(『10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル

<設定メニュー画面>

3. 優先音源設定画面を表示する

設定メニューから『2-13. ユウセンオンゲン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-13. ユウセンオンゲン

<設定メニュー画面>

2-13. ユウセンオンゲン
センタク: CM>ガイブ>BGM

<優先音源設定画面>

4. 優先音源の設定をする

- ・選択上、下ボタンで、下記の6種類から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

2-13. ユウセンオンゲン
センタク: CM>ガイブ>BGM

<優先音源設定画面>

選択項目	最優先音源	次優先音源	最下位音源
『ガイブ > CM > BGM』	外部音声	CM 音声	BGM 音声
『ガイブ > BGM > CM』	外部音声	BGM 音声	CM 音声
『CM > ガイブ > BGM』	CM 音声	外部音声	BGM 音声
『CM > BGM > ガイブ』	CM 音声	BGM 音声	外部音声
『BGM > ガイブ > CM』	BGM 音声	外部音声	CM 音声
『BGM > CM > ガイブ』	BGM 音声	CM 音声	外部音声

(工場出荷時: 『CM > ガイブ > BGM』)


外部入力レベルを設定する

外部音声機器を接続したときの音声入力レベルを設定します。

ご注意

- 優先音源設定が「外部」の場合、音声レベル信号を検知してフェードイン/アウトの制御をしています。外部音声機器の音声出力レベルを定格レベル(-10 dBs)に設定し、本機の「外部入力レベル」設定で音量を調節してください。

1. メインメニュー画面を表示する

- システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
( 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. 外部入力レベル設定画面を表示する

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-14. ガイブニュウリヨクレベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-14. ガイブニュウリヨクレベル

<設定メニュー画面>

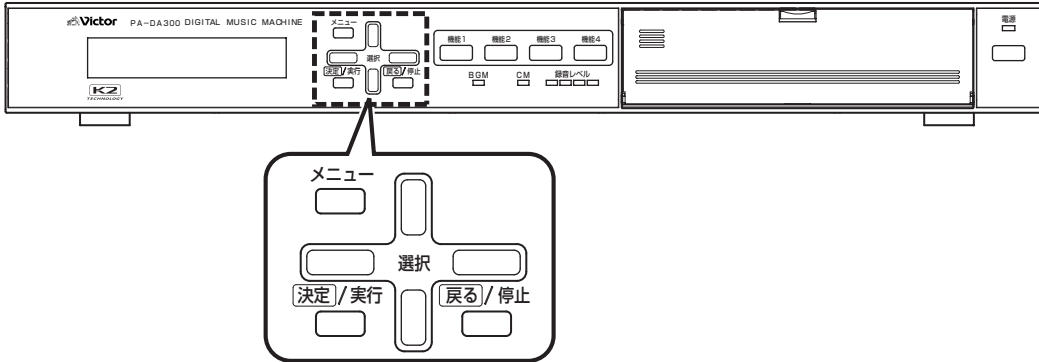
2-14. ガイブニュウリヨクレベル
オオキサ: 07

<外部入力レベル設定画面>

4. 外部入力レベルの設定をする

- 選択上、下ボタンで、『0』(音量小)～『9』(音量大)の値から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
(工場出荷時: 『9』)

BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

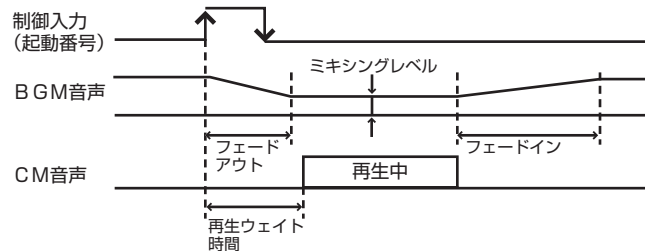
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミキシングの設定をする

- ・ミキシングの設定は3つあります。下記の3つの設定をしてください。
 - ・フェードイン設定 (113 ページ)
 - ・フェードアウト設定 (113 ページ)
 - ・ミキシングレベル設定 (114 ページ)
- ・本機のプレイリスト再生と外部音声機器の再生が重なったとき、「優先音源」の設定にしたがって、最優先に設定していない音源の音声を「ミキシングレベル」で設定したレベルまでフェードアウトします。
- ・BGM 音声、CM 音声、外部音声の3つが重なった場合、最下位に設定されている音声はミュートされます。
- ・フェードアウトとフェードインの時間は個別に設定します。(例:フェードアウト 2 秒、フェードイン 4 秒)
- ・ミキシングレベルの設定が「100%」のときは、そのままの音量で出力され、「0%」のときはミュートとなります。

BGM 音声、CM 音声の2つをミキシングする場合 (優先音源設定:CM > BGM >外部)

BGM プレイリスト(BGM 音声)を出力中に、CM プレイリスト(CM 音声)再生の起動が入った場合、BGM 音声をミキシングレベルまでフェードアウトし、CM 音声の再生終了後に再び元のレベルまでフェードインします。

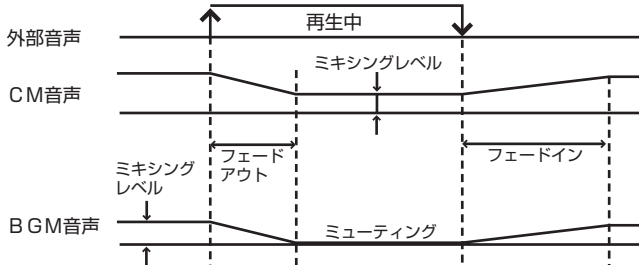


メモ

- ・「フェードアウト時間」を「再生ウェイト時間」より短い時間に設定すると、音声が重ならないように放送できます。
- ・プレイリスト再生で、ブランク時間およびインターバル時間で設定した、ファイルを再生していない期間が11秒以上の場合、BGM 音声は元の音量に戻ります。

BGM 音声、CM 音声、外部音声の3つが重なった場合 (優先音源設定:外部 > CM > BGM)

BGM 音声および CM 音声を再生中に、外部入力の音声信号を検出すると、CM 音声をミキシングレベルまでフェードアウトし、BGM 音声をミュートします。外部入力の音声信号が停止した後、CM 音声を再び元のレベルまでフェードインし、BGM 音声をミキシングレベルまでフェードインします。



メモ

- 外部入力の音声は、音声信号のレベルを検知して制御しています。音声が重ならないようにしたい場合は、「フェードアウト」の時間を短く設定してください。
- 本体音声（BGM）がフェードアウト→ミキシングレベルまたはミュート→フェードインしている期間、本機前面の再生表示灯が点滅表示します。

■フェードイン設定

フェードイン時間を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. フェードイン設定画面を表示する

設定メニューから『2-15. フェードイン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-15. フェードイン

<設定メニュー画面>

2-15. フェードイン
ビョウ: 00

<フェードイン設定画面>

4. フェードイン時間の設定をする

- 選択上、下ボタンで、0 秒～ 10 秒から選択し、[決定] / 実行ボタンを押します。
- 設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
(工場出荷時: 0 秒)

■フェードアウト設定

フェードアウト時間を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. フェードアウト設定画面を表示する

設定メニューから『2-16. フェードアウト』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-16. フェードアウト

<設定メニュー画面>

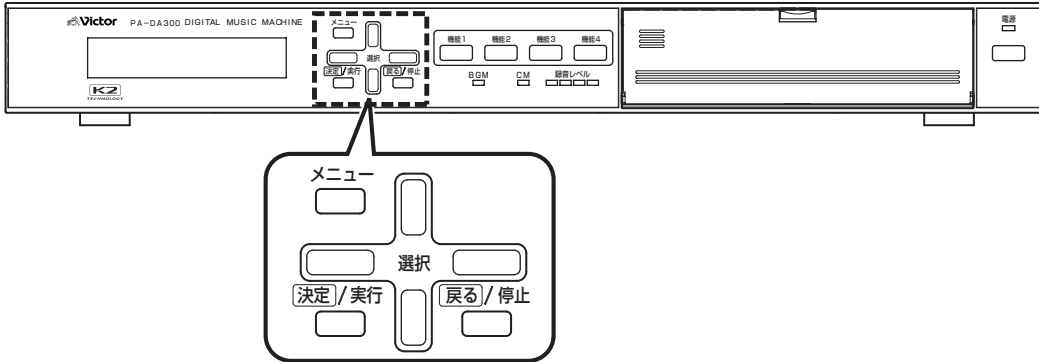
2-16. フェードアウト
ビョウ: 00

<フェードアウト設定画面>

4. フェードアウト時間の設定をする

- 選択上、下ボタンで、0 秒～ 10 秒から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
(工場出荷時: 0 秒)

BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する(つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)

BGM ファイル : BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)

メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):

再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ~ P999):

再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミキシングの設定をする(つづき)

■ミキシングレベル設定

下記のどちらかの状態になったときのミキシングレベルを設定します。

- ・ 2つ以上の音源が重なったとき。
- ・ 「フェード」設定にしている制御入力端子に信号が入力されたとき。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・ システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・ 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル

<設定メニュー画面>

3. ミキシングレベル設定画面を表示する

設定メニューから『2-17. ミキシングレベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-17. ミキシングレベル

<設定メニュー画面>

2-17. ミキシングレベル
40%

<ミキシングレベル設定画面>

4. ミキシングレベル値を設定をする

- ・ 選択上、下ボタンで、100%(音量を下げない)~ 0%(無音にする)から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
(工場出荷時: 40%)

離れた場所から CM 録音の制御をする

- ・本機背面の制御入力端子に制御機器(スイッチなど)を接続して制御することで、本機から離れた場所で録音 / 消去ができます。接続方法は、22 ページをご覧ください。

■ 録音制御に関する設定

設定項目	設定値	設定メニュー	参照ページ
制御入力モード	『ダイレクト』	『2-7. セイギョニュウリヨクモード』	115
制御入力端子の機能設定	E012:『CM ロクオン』 E013:『CM ショウキョ』	『3-4. セイギョニュウリヨク』	116
CM 連動出力端子の設定	『ビジー』	『2-12. CM レンドウシュツリヨク』	117

ご注意

- ・バイナリモードでの録音には対応していません。ダイレクトモードに設定してください。
- ・CM ファイルの消去が完了するまで録音を開始できません。本機の LCD 画面表示を確認できないところでは、必ずビジー出力を使用して本機の状態を確認して操作してください。
- ・CM プレイリストに複数の CM ファイルが登録されている場合でも、メッセージ番号 001 に設定されている CM ファイルだけを消去 / 録音します。

制御入力端子の制御方式を設定する

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. 制御入力モード選択画面を表示する

- ・設定メニュー画面から、『2-7. セイギョニュウリヨクモード』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-7. セイギョニュウリヨクモード

<設定メニュー画面>

2-7. セイギョニュウリヨクモード
ダイレクト/バイナリ

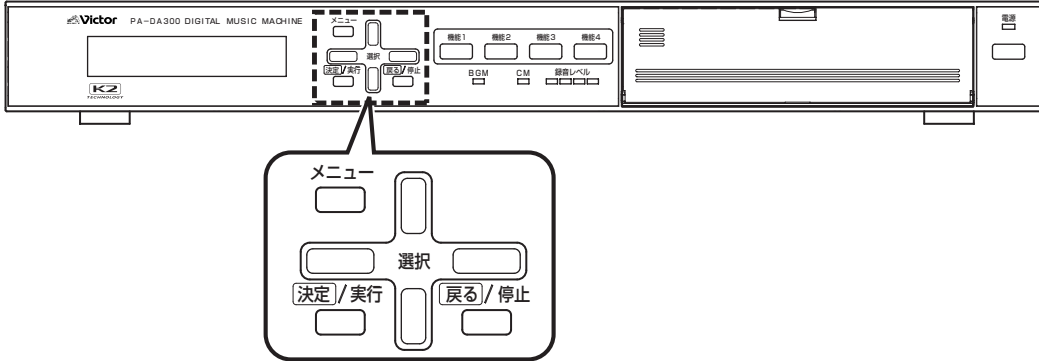
<制御入力モード選択画面>

4. 制御入力モードを『ダイレクト』設定にする

- ・選択上、下ボタンで、『ダイレクト』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

『ダイレクト』: 制御入力 1 ~ 15 の各端子に 1 つの動作を割り当てます。

離れた場所から CM 録音の制御をする(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に消去と録音の機能を設定する

信号が入力されると、ファイルの消去と録音を行うように設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(P10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

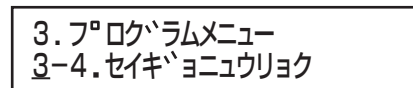
メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

3. 起動番号選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、『3-4. セイギョニュウリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>



<起動番号選択画面>

4. 『E013』を選択する

- ・選択上、下ボタンで『E013』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・消去の動作は『E013』のみに設定可能です。

5. 消去動作を割り当てる

- ・ 選択上、下ボタンで『CM ショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 設定を確定すると、起動番号選択画面に戻ります。

キトウハンゴウ E013
センタク: CMショウキョ

<動作選択画面>

6. 起動番号選択画面で『E012』を選択する

- ・ 選択上、下ボタンで『E012』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 録音の動作は『E012』のみに設定可能です。

7. 録音動作を割り当てる

- ・ 選択上、下ボタンで『CM ロクオン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 設定を確定すると、起動番号選択画面に戻ります。

キトウハンゴウ E012
センタク: CMロクオン

<動作選択画面>

CM 連動端子にビジー設定をする

録音または CM ファイルの消去が開始すると、CM 連動端子に接続した被制御機器が起動します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・ システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・ 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-1. BGMLレベル

<設定メニュー画面>

3. CM 連動出力設定画面を表示する

設定メニューから『2-12. CM レンドウシュツリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

2. セッテイメニュー
2-12. CMレントウシュツリョク

<設定メニュー画面>

2-12. CMレントウシュツリョク
レントウ 00:00

< CM 連動出力設定画面>

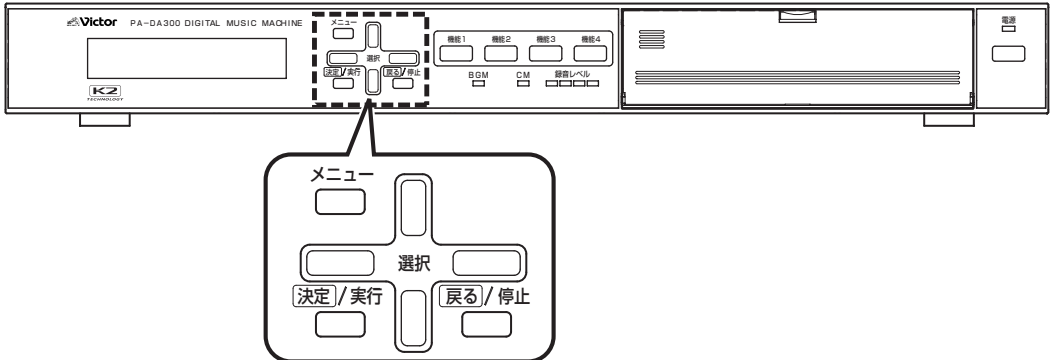
4. 『ビジー』を選択する

- ・ 選択上、下ボタンで『ビジー』選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

2-12. CMレントウシュツリョク
ビジー

< CM 連動出力設定画面>

離れた場所から CM 録音の制御をする(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

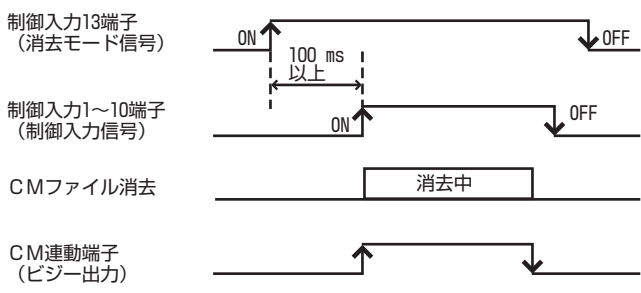
CM ファイルを消去する

すでに録音済みの CM ファイルがある場合には、録音ができません。録音する前に CM ファイルを消去します。

ご注意

- 消去を行う前に、制御入力端子に接続している外部機器(タイマーなど)の動作を停止してください。CM ファイルの消去中に、タイマーなどから入力があると、大切な CM ファイルを消去してしまいます。

CM ファイル消去イメージ

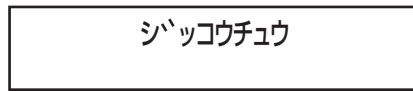


メモ

- 消去モード信号入力から制御入力信号を入力するまでの時間は 100 ms 以上空けてください。

1. 本機を実行中にする

- 決定 / 実行ボタンを押します。
- システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。



<実行中画面>

2. 消去モードにする

制御入力 13 端子(「消去」機能設定)に接続しているスイッチをオンにします。

3. CM ファイルを消去する

- 消去したいファイルを設定している制御入力端子(制御入力 1 ~ 10 端子)に接続されているスイッチをオンにします。
- 「ビジー」に設定されている CM 連動端子にランプが接続されている場合は、ランプが点灯します。

メモ

- CMファイルを消去すると、本機のLCD画面に下記のように表示されます。



- 消去するCMファイルが存在しない場合や、対応するプレイリストが設定されていない場合は、ビジー出力はされません。
- CMプレイリストに複数のCMファイルが登録されている場合でも、メッセージ番号001に設定されているCMファイルだけを消去します。
- 消去中は、制御入力端子からの制御および機能ボタンは動作しません。

4. CM ファイルの消去を終了する

- 消去が終わったら、手順3.でオンにしたスイッチをオフにします。
- 「ビジー」に設定されているCM連動端子にランプを接続している場合は、ファイルの消去が終了すると、ランプが消灯します。

5. 消去モードを終了する

制御入力13端子(「消去」機能設定)に接続しているスイッチをオフにします。

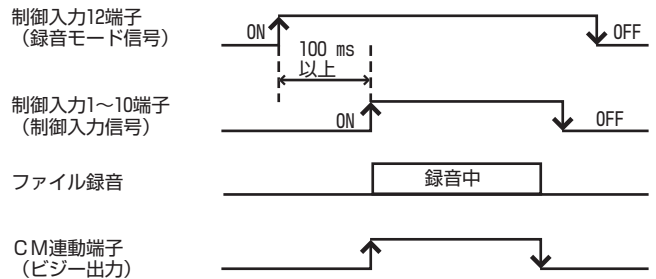
CM ファイルを録音する

CMファイルを消去したことを確認してから、録音をしてください。

ご注意

- 録音モードに入る前に、制御入力端子に接続している外部機器(タイマーなど)の動作を停止してください。録音中に、タイマーなどから入力があると、正常に録音できません。

CM ファイル録音イメージ



メモ

- 録音モード信号入力から制御入力信号を入力するまでの時間は100ms以上空けてください。

1. 本機を実行中にする

- 決定 / 実行ボタンを押します。
- システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。



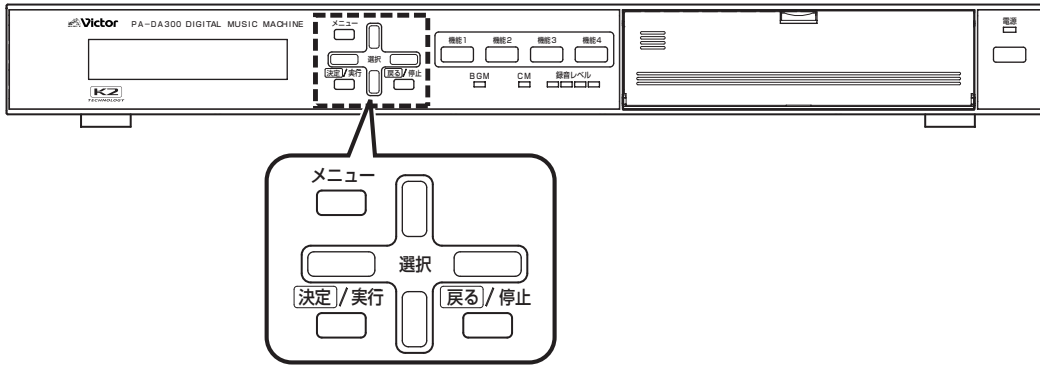
<実行中画面>

2. 録音モードにする

制御入力12端子(「録音」機能設定)に接続しているスイッチをオンにします。

次のページにつづく

離れた場所から CM 録音の制御をする(つづき)



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。(C001 ~ C999)
- BGM ファイル: BGM 音楽データ。(B001 ~ B999)
- メッセージ : 再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
- ミュージック : 再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
- プレイリスト : CM プレイリスト(P001 ~ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
- BGM プレイリスト(P501 ~ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM ファイルを録音する(つづき)

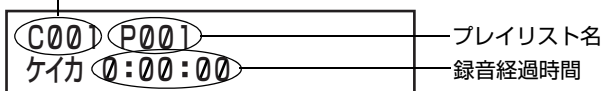
3. 録音する

- ・録音したい CM ファイルを設定している制御入力端子(制御入力 1 ~ 10 端子)に接続されているスイッチをオンにします。
- ・「ビジー」に設定されている CM 連動端子にランプが接続されている場合は、ランプが点灯します。

メモ

- ・録音中は、本機の LCD 画面に下図のように表示されます。

CM ファイル番号



- ・録音済み CM ファイルが存在している場合や、対応する CM プレイリストが設定されていない場合は、ビジー出力はされません。
- ・CM プレイリストに複数の CM ファイルが登録されている場合でも、録音した CM ファイルはメッセージ番号 001 に登録されます。
- ・録音中は、制御入力端子からの制御および機能ボタンは動作しません。

4. 録音を終了する

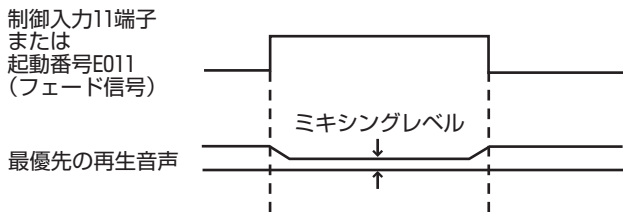
- ・録音が終わったら、手順 3. でオンにしたスイッチをオフにします。
- ・「ビジー」に設定されている CM 連動端子にランプを接続している場合は、録音を終了すると、ランプが消灯します。

5. 録音モードを終了する

制御入力 12 端子(「録音」機能設定)に接続しているスイッチをオフにします。

離れた場所から本機の出音声をフェードアウトする

- ・本機背面の制御入力端子に制御機器(スイッチなど)を接続して制御することで、離れた場所で本機の出音声をフェードアウトすることができます。
- ・制御入力端子の機能を『フェード』に設定した場合、制御入力11端子(起動番号E011)に信号が入力されると、再生中の音声で最も優先順位の高い音声を「ミキシングレベル」で設定したレベルまでフェードアウトします。
- ・「ミキシングレベル」の設定が100%のときは、そのままの音量で出力されます。0%のときは、ミュートになります。
- ・制御入力端子の機能を『フェード』に設定した場合、制御入力11端子(起動番号E011)に信号が入力されている間、フェードアウトされた音声はミキシングレベルを保持します。



■ フェード制御に関する設定

設定項目	設定値	設定メニュー	参照ページ
制御入力モード	『ダイレクト』、『バイナリ』	『2-7. セイギョニューリョクモード』	48
制御入力端子の機能設定	E011:『フェード』	『3-4. セイギョニューリョク』	121
ミキシングレベル	0% ~ 100%(工場出荷時:40%)	『2-17. ミキシングレベル』	114

制御入力端子に『フェード』機能を設定する

信号が入力されると、ライン出力からの音声をフェードアウトする機能を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト

<プログラムメニュー画面>

3. 起動番号選択画面を表示する

- ・プログラムメニュー画面から、『3-4. セイギョニューリョク』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

3. プログラムメニュー
3-4. セイギョニューリョク

<プログラムメニュー画面>

3-4. セイギョニューリョク
センタク: E001 P001

<起動番号選択画面>

4. 『E011』を選択する

- ・選択上、下ボタンで『E011』を選択し、決定/実行ボタンを押します。
- ・フェード動作は『E011』のみに設定可能です。

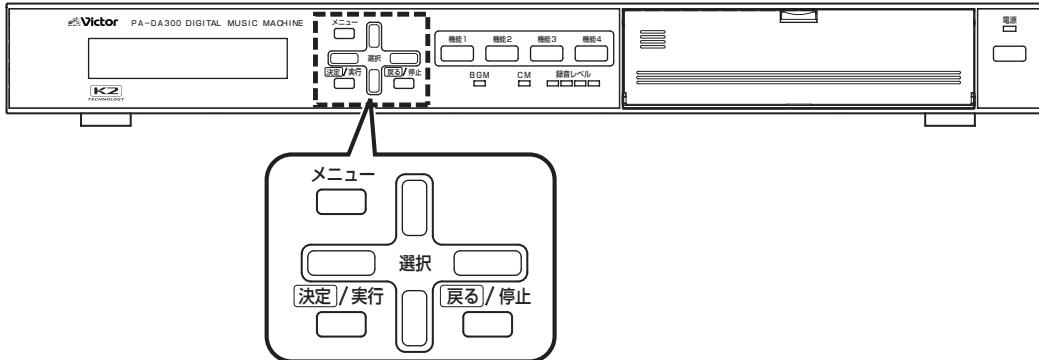
5. フェード動作を割り当てる

- ・選択上、下ボタンで『フェード』を選択し、決定/実行ボタンを押します。
- ・設定を確定すると、起動番号選択画面に戻ります。

キトウバンゴウ E011
センタク: フェード

<動作選択画面>

工場出荷時の設定に戻す



用語について

- CM ファイル : 録音した音声データ。
 CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存してあるメモリーカードです。
 CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。

工場出荷状態に戻す (CM カードを初期化する)

CM カードに保存したすべての設定内容と録音済みの CM ファイルを削除し、工場出荷時の状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
 (10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CF テイシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. CM カード初期化確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『5-2. CM カードショック力』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-2. CM カードショック力

<メンテナンスメニュー画面>

5-2. CM カードショック力
ショック力&リスタート ハイ/イイエ

<CM カード初期化確認画面>

4. CM カードを初期化する。

- ・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、CM カードを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
- ・CM カードの初期化が終わると、再起動します。

ご注意

- ・CM カードに保存されている、BGM プレイリストもすべて削除されます。

設定メニュー内の設定を初期化する

「2. セッテイメニュー」内の設定を工場出荷時状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから「5. メンテナンスメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CF テイシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. 設定初期化確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、「5-3. セッテイシヨキカ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-3. セッテイシヨキカ

<メンテナンスメニュー画面>

5-3. セッテイシヨキカ
シヨキカ&リスタート ハイ/イイエ

<設定初期化確認画面>

4. 設定を初期化する。

- ・選択左、右ボタンで「ハイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・「イイエ」を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、設定を初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
- ・設定の初期化が終わると、再起動します。

ご注意

- ・「2-1. BGM レベル」、「2-2. CM レベル」、「2-3. CC コンバータ」の設定値は工場出荷時の状態に戻りません。

すべてのプログラムを初期化する

「3. プログラムメニュー」内の設定を工場出荷時状態に戻し、プレイリストを初期化します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから「5. メンテナンスメニュー」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CF テイシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. プログラム初期化確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、「5-4. プログラムシヨキカ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-4. プログラムシヨキカ

<メンテナンスメニュー画面>

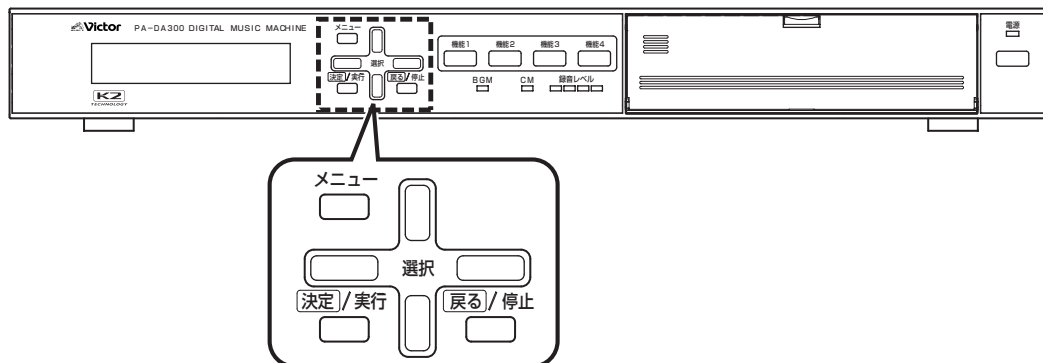
5-4. プログラムシヨキカ
シヨキカ&リスタート ハイ/イイエ

<プログラム初期化確認画面>

4. プログラムを初期化する。

- ・選択左、右ボタンで「ハイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・「イイエ」を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
- ・プログラムの初期化が終わると、再起動します。

工場出荷時の設定に戻す (つづき)



用語について

CM ファイル : 録音した音声データ。

CM カード : アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存してあるメモリーカードです。
CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。

すべての CM ファイルを消去する

CM カードに保存されている録音済みの音声ファイルをすべて消去します。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CFティシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. CM ファイル消去確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『5-5. ゼン CM ファイル ショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-5. ゼンCMファイルショウキョ

<メンテナンスメニュー画面>

5-5. ゼンCMファイルショウキョ
ハイ/イイ

<CM ファイル消去確認画面>

4. ファイルを消去する。

- ・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、CM ファイルを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
- ・CM ファイルの消去が終わると、自動的にメンテナンスメニュー画面に戻ります。

バージョン表示

現在使用中のソフトウェアとハードウェアのバージョンを確認することができます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CFティシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. バージョン確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『5-8. バージョン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-8. バージョン

<メンテナンスメニュー画面>

メイン : v 1.00
FPGA : v 30 / PLD : v 10

ソフトウェアのバージョン

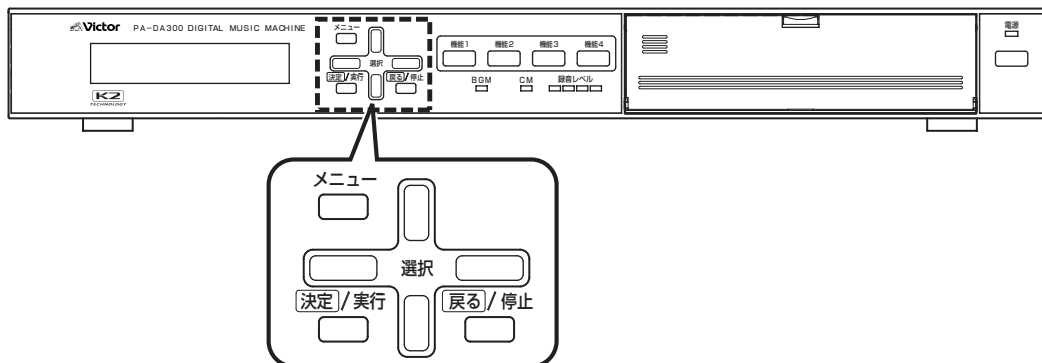
ハードウェアのバージョン

<バージョン確認画面>

メモ

- ・決定 / 実行ボタンまたは戻る / 停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

ログ管理について



動作ログを確認する

本機が行なった動作記録を確認することができます。

メモ

- 本機に記録できる動作ログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古い動作ログが消去されます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(127 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CF テイシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. 動作ログ確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『5-6. ドウサログ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-6. ドウサログ

<メンテナンスメニュー画面>

5-6. ドウサログ
001/100 001

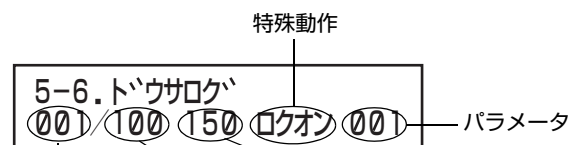
<動作ログ確認画面>

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4. 確認したいログを表示する。

- ・選択上、下ボタンでログをスクロールします。
- ・戻る / 停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。



表示ログ番号 総ログ数 動作ログ番号

<動作ログ確認画面>

表示ログ番号：現在表示しているログ番号です。
001:最新ログ



100:最古ログ

総ログ数：本機に登録されているログの総数です。
最大100個まで登録されます。

動作ログ番号：実行した動作です。(127 ページ「動作ログパターン表」参照)

特殊動作：制御入力、録音、ファイル消去の動作のときに表示されます。

『キドウ』：制御入力の場合

『ロクオン』：録音の場合

『ショウキョ』：ファイル消去の場合

パラメータ：特殊動作のときに表示します。

『キドウ』時：起動番号を表示

『ロクオン』時：ファイル番号を表示

『ショウキョ』時：ファイル番号を表示

動作ログを削除する

本機に記録されている動作ログをすべて削除します。

1. 動作ログ確認画面が表示されていることを確認する。

5-6. トウサログ
001/100 001

<動作ログ確認画面>

2. ログ消去確認画面を表示する。

機能 1 ボタン→選択右ボタン→機能 2 ボタン→選択右ボタン→機能 3 ボタン→選択右ボタン→機能 4 ボタン→選択右ボタンの順番に押します。

トウサログヲ、ショウキョシマスカ？
ハイ/イェ

<ログ消去確認画面>

3. ログを消去する

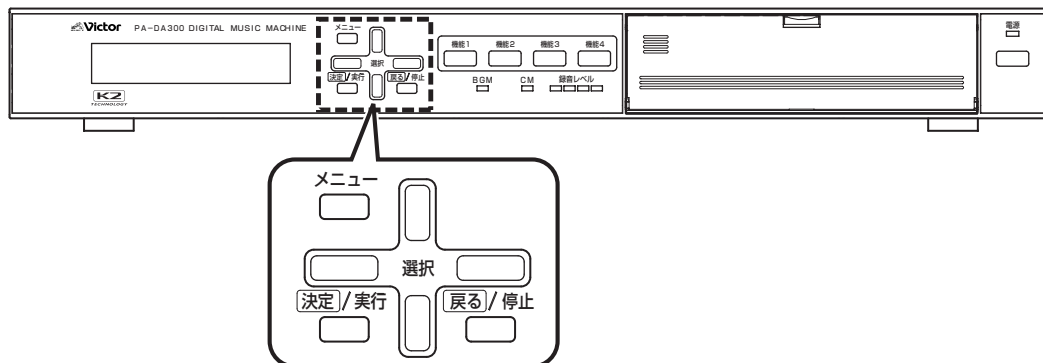
- ・ ログ消去確認画面から、選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・ 『イェ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ログを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。

動作ログパターン表

動作ログ番号	パラメーター	動作内容
001		電源オン
002		システム動作を開始
003		システム動作を停止
017		機能ボタン 1 実行
018		機能ボタン 2 実行
019		機能ボタン 3 実行
020		機能ボタン 4 実行
033		機能ボタン 1 実行 (PC より)
034		機能ボタン 2 実行 (PC より)
035		機能ボタン 3 実行 (PC より)
036		機能ボタン 4 実行 (PC より)
051	キドウ ###	制御入力実行
081		PC 通信開始
082		PC 通信終了
097		ボタンロック設定
098		ボタンロック解除
114	CM カード /BGM カード	メモリーカード取り出し
115	CM カード /BGM カード	メモリーカード挿入
129		設定メニュー変更
150	ロクオン C ***	録音開始
151	ショウキョ C ***	録音ファイル消去

※ パラメーター欄の"###"部分は、起動番号が表示されます。
※ パラメーター欄の"***"部分は、ファイル番号が表示されま
す。

ログ管理について(つづき)



エラーログを確認する

本機の動作中に発生したエラーを確認することができます。

ご注意

- 本機に記録できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古いエラーログが消去されます。

1. メインメニュー画面を表示する

- ・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
- ・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-1. CF テイシ

<メンテナンスメニュー画面>

3. エラーログ確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『5-7. エラーログ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. メンテナンスメニュー
5-7. エラーログ

<メンテナンスメニュー画面>

5-7. エラーログ
001 / 100 E001

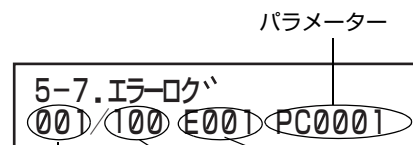
<エラーログ確認画面>

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4. 確認したいログを表示する。

- ・選択上、下ボタンでログをスクロールします。
- ・戻る / 停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。



表示ログ番号 総ログ数 エラー番号
<エラーログ確認画面>

表示ログ番号 : 現在表示しているログ番号です。
001:最新ログ

↓
100:最古ログ

総ログ数 : 本機に登録されているログの総数です。
最大100個まで登録されます。

エラー番号 : 発生したエラーです。(☞ 129 ページ「エラーログパターン表」参照)

パラメーター : 発生したエラーの詳細です。
『PC』 : PC エラー時に表示
『サイセイ』 : 再生エラー時に表示
『ロクオン』 : 録音失敗時に表示
『ショウキョ』 : 消去失敗時に表示
(☞ 129 ページ「エラーログパターン表」参照)

エラーログを削除する

本機に記録されているエラーログをすべて削除します。

1. エラーログ確認画面が表示されていることを確認する。

5-7.エラーログ
001/100 E001

<エラーログ確認画面>

2. ログ消去確認画面を表示する。

機能 1 ボタン→選択右ボタン→機能 2 ボタン→選択右ボタン→機能 3 ボタン→選択右ボタン→機能 4 ボタン→選択右ボタンの順番に押します。

エラーログヲ、ショウキョシマスカ?
ハイ/イエ

<ログ消去確認画面>

3. ログを消去する

- ・『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- ・『イエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ログを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。

エラーログパターン表

エラー番号	パラメーター	エラー内容	対応
E001		ハードエラー	①
E002			
E003			
E004	CM カード / BGM カード	本機の動作中にメモリーカードを抜いた	②
E005		設定データの読み込みエラー	③
E006		設定データの書き込みエラー	③
E033	CM カード / BGM カード	起動時に、メモリーカードが本機に挿入されていない	②
E036	PC0048	PC 通信時エラー	④
	PC4192		
	PC0001		
	PC0003		
	PC4097		
	PC4098		
	PC4099		
E037	サイセイ C * * *	CM ファイル再生エラー	②
E038	サイセイ C * * *		
E039	サイセイ C * * *		
E040	サイセイ C * * *		
E041	サイセイ C * * *		
E042	サイセイ B * * *	BGM ファイル再生エラー	②
E043	サイセイ B * * *		
E044	サイセイ B * * *		
E045	サイセイ B * * *		
E046	サイセイ B * * *		
E047	サイセイ B * * *		
E050	ロクオン C * * *	録音エラー	③
E051	ショウキョ C * * *	消去エラー	③

※ パラメーター欄に記載されているものは、LCD 画面に表示される内容です。記載がないものは、LCD 画面には何も表示されません。

※ パラメーター欄の" * * *"部分は、ファイル番号が表示されません。

※ 「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。

- ① : 販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
- ② : メモリーカードを正しく挿入してください。
- ③ : メモリーカードに異常がある可能性があります。正常なデータが保存されているか確認してください。指定のメモリーカードを使用していない場合は、指定のメモリーカードを使用してください。
- ④ : 通信用ケーブルの接続、接続した外部機器に異常が無いかを確認してください。

※ ②、③、④の対応を行っても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

各種エラー表示

動作中のエラー表示

エラー表示	原因	処置	参照ページ
「*CF カクニン」	電源オン時に、メモリーカードが本機に挿入されていません。	メモリーカードを本機に正しく挿入してください。	28
「*CM カードイジョウ」、 「BGM カードイジョウ」 または 「*CF カクニン」	メモリーカードのデータを正常に読み込めないときに表示されます。	正常なデータが保存されたメモリーカードを本機に再度挿入してください。	28
	指定のメモリーカード以外を使用したときに表示されます。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
「プレイリストラセットイシテ クダサイ」	起動番号または機能ボタンにプレイリストが設定されていないときに表示されます。	起動番号または機能ボタンに、プレイリストを設定してください。	51 98 102
「E」	再生時に、メモリーカードのデータが正常に読み込めなかったときに表示されます。	正常なデータが保存されたメモリーカードを本機に再度挿入してください。	28
	再生中のプレイリストに、録音していないファイル番号が設定されていませんか。	録音済みのファイル番号を設定してください。	69 85
「* エラーハッセイ SRAM」	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—
「* エラーハッセイ FPGA」	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—
「* エラーハッセイ CPLD」	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—

録音中のエラー表示

エラー表示	原因	処置	参照ページ
「*CF ホゾンエラー」	CM 録音時に、データをメモリーカードに保存できなかったときに表示します。	メモリーカードに異常がある可能性があります。	—
	指定品以外のメモリーカードを使用していませんか。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
「* アキプレイリストナシ」	CM 録音時、すでに 499 個のプレイリストを作成済みで空きがありません。	不要な CM プレイリストを削除してください。	96
「* アキヨウリョウガ タリマセン」	CM 録音中に、CM カードの空き容量が無くなりました。	不要な CM ファイルを削除してください。	67
「* アキファイルナシ」	CM 録音時、すでに 999 個のファイルを作成済みで空きがありません。	不要な CM ファイルを削除してください。	67
「* ファイルヲサクジョシテ クダサイ」	制御入力 12 による録音時に、ファイルが消去されていません。	録音する前にファイルを消去してください。	118
「* ファイルガアリマセン」	制御入力 13 による消去時に、すでに CM ファイルが消去されています。	必要に応じて CM の録音を行なってください。	119

設定、編集中のエラー表示

エラー表示	原因	処置	参照ページ
『*CF ホゾンエラー』	録音時に、データをメモリーカードに保存できなかったときに表示します。	メモリーカードに異常がある可能性があります。	—
	指定品以外のメモリーカードを使用していませんか。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』	設定および編集時、ファイルが登録されていないプレイリストを選択したときに表示されます。	ファイルが登録されているプレイリストを選択してください。	69 85
『* ステップスウガサイダイデス』	プレイリスト作成時、1つのプレイリストに登録するメッセージが100個を超える場合に表示されません。	別のプレイリストを作成してください。	69 85
『* アキプレイリストナシ』	プレイリストのコピー時、すでに499個のプレイリストを作成済みで空きがありません。	不要なプレイリストを削除してください。	82 96
『* アキヨウリョウガタリマセン』	ファイル編集の処理中にメモリーカードの空き容量が無くなりました。 ※ ファイル編集を行うには、選択したファイルと同程度の空き容量が必要です。	不要なファイルを削除してください。	—
『* ロクオンファイルナシ』	プレイリスト設定や、ファイル編集中に、録音されていないファイル番号を選択していませんか。	ファイル番号を確認してください。	—
		録音済みのファイル番号を選択してください。	—
『* コノファイルハヘンカンデキマセン』	フォーマット変換の設定で、変換元のファイルを「ロング・モノラル」形式のファイルを選択していませんか。	「ロング・モノラル」形式のファイルは他のフォーマットに変換できません。フォーマットを統一する必要がある場合は、他のファイルのフォーマットを変換してください。	64
『* ファイルガステニアリマス』	ファイル編集のファイルコピーで、録音済みのファイル番号をコピー先に選択していませんか。	空いているファイル番号を選択してください。	66
『* ファイルエラー』	『ファイルサイセイ』メニューで録音していないファイル番号を選択していませんか。	録音済みのファイル番号を選択してください。	40

こんなときは

ご使用中に「故障かな？」と思ったら下表または「各種エラー表示」(130 ページ)を参考に確認をしてください。それでも直らない場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

症 状	確 認	処 置	参照ページ
電源が入らない	電源コードが抜けていませんか。	電源コードを接続してください。	—
ボタンを押しても反応がない	ボタンをロックしていませんか。	ボタンのロックを解除します。	12
LCD 画面が見にくい	バックライトが消灯していませんか。	バックライトの設定を『テントウ』にしてください。	56
CM 録音中にヘッドホンから音声が聞えない	本機の仕様です。録音中の音声を聞くことはできません。	録音を停止すると、録音したファイルを保存する前に試聴することができます。	35
録音または設定中にメッセージが表示される	表示されている内容を確認してください。	「各種エラー表示」を参考に対応してください。	130

保証とアフターサービスについて

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にて次のことをご知らせください。

品名	: デジタルミュージックマシン
品番	: PA-DA300
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

仕様

● CM カード部

サンプリング	
周波数(Fs)	: 44.1 kHz, 22.05 kHz
信号処理方式	: 16 Bit リニア PCM, 8 Bit μ -law
チャンネル数	: ステレオ (Fs=22.05 kHz のみ)、モノラル
最大記録時間	: 約 1 時間 30 分
(512 MB カード	(ハイ - スタンダード - モノラル)
使用時)	約 6 時間 (ロング - モノラル)
最大録音ファイル数	: 999
最大プレイリスト数	: 499 (1 プレイリストあたり最大 100 ファイル登録可能)
メモリーカード	: デジタルメモリーカード (別売)
	品番: QAM0961-001 (128 MB)
	QAM0961-002 (512 MB)

● BGM カード部

サンプリング	
周波数(Fs)	: 44.1 kHz
再生可能フォーマット	WMA フォーマットに準拠 (本機のみで再生)
ト	: 可のプロテクトあり)
	スタンダード - ステレオ: 128 kbps
	ロング - ステレオ : 64 kbps
	ロング - モノラル : 32 kbps
記録時間	: スタンダード - ステレオ 約 7 時間 30 分
(512 MB カード	ロング - ステレオ 約 15 時間
使用時)	ロング - モノラル 約 30 時間
最大録音ファイル数	: 999
最大プレイリスト数	: 499 (1 プレイリストあたり最大 100 ファイル登録可能)
メモリーカード	: デジタルメモリーカード (別売)
	品番: QAM0961-001 (128 MB)
	QAM0961-002 (512 MB)

● 音声出力部

ライン出力	
端子	: RCA ピンジャック
	L/R (モノラル使用時は L に接続)
出力	
インピーダンス	: 500 Ω 不平衡 (適合負荷 10 k Ω 以上)
出力レベル	: 基準 - 10 dBs
	最大 8.2 dBs (メインボリューム最大)
周波数特性	: 20 Hz ~ 20 kHz \pm 2 dB
ヘッドホン出力	
端子	: ϕ 3.5 複式ミニジャック
出力レベル	: 3 mW + 3 mW / 32 Ω
	(適合負荷 8 Ω ~ 1 k Ω)
モニター	
スピーカー	: 100 mW

● 音声入力部

外部入力	
端子	: RCA ピンジャック、
	L/R (モノラル使用時は、L に接続)
入力レベル /	: - 10 dBs / 5 k Ω 不平衡
インピーダンス	
録音入力	
端子	: ϕ 3.5 複式ミニジャック、
	ステレオ入力時 L/R ミックス
入力レベル /	: マイク時: - 54 dBs / 10 k Ω 不平衡
インピーダンス	ライン時: - 10 dBs / 10 k Ω 不平衡

● 制御入出力部

制御入力 (× 15)	: 無電圧メーク接点およびオープンコレクタ出力に適合、ネジ式端子
制御出力	: CM 電源制御出力、BGM 電源制御出力;
	リレー接点 (DC 30 V, 1 A, ネジ式端子)
	CM 連動出力、BGM 連動出力;
	リレー接点 (DC 30 V, 1 A, ネジ式端子)
通信ポート	: USB B タイプ (前面)
	RS-232C, D-SUB 9ピンオス (背面)

● 操作部

表示	: LCD 表示;
	20 文字 × 2 行 (バックライト付き)
	電源表示: LED × 1
	CM 再生動作表示: LED × 1
	BGM 再生動作表示: LED × 1
	録音レベル表示: LED × 4
操作スイッチ	: 電源ボタン
	選択上、下、右、左ボタン、
	機能 1, 2, 3, 4 ボタン、
	メニューボタン、
	決定 / 実行ボタン
	戻る / 停止ボタン

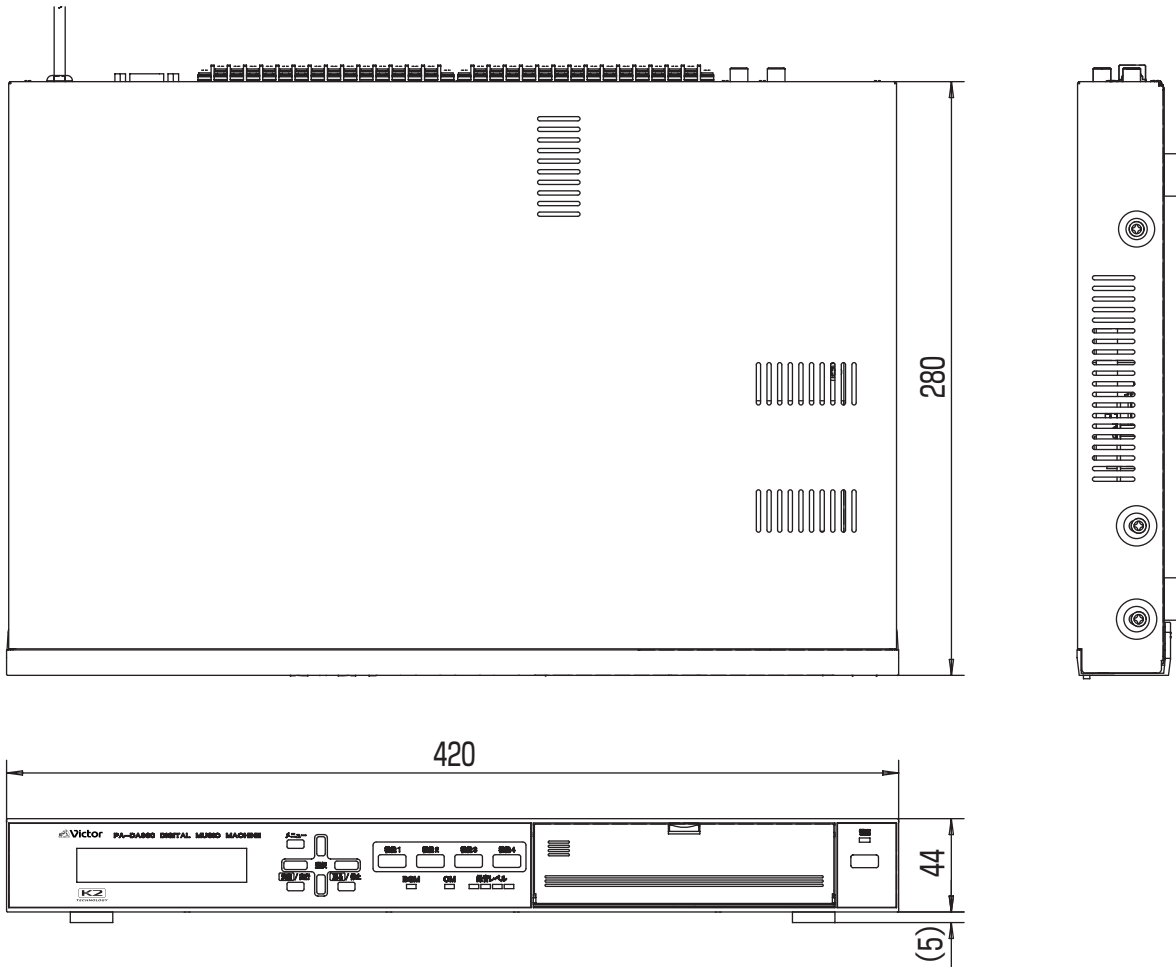
● 総合部

電源	: AC 100 V 50 Hz / 60 Hz, DC 24 V
消費電力	: 12 W
使用温度範囲	: 0 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C
質量	: 約 3.4 kg
寸法	: 420 mm × 44 mm × 280 mm
	(幅 × 高さ × 奥行き)、(突起部含まず)
仕上げ	
フロントパネル	: ライトグレー ABS 樹脂 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似、日塗工 CN-65 (2005 年) 近似)
トップカバー	: ライトグレー 塗装鋼板 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似、日塗工 CN-65 (2005 年) 近似)
適合ラックマウント	: ラックマウント金具 PA-U11 (EIA 1U)
金具	

● 付属品・添付物

取扱説明書 (本書) × 1
保証書 × 1
安全上のご注意 × 1
ビクターサービス窓口案内 × 1

■外形寸法図(単位:mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 2進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表

「0」=オフ 「1」=オン

起動番号	制御入力										
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
E001	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
E002	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
E003	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
E004	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
E005	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
E006	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
E007	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
E008	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
E009	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
E010	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
E011	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
E012	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
E013	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
E014	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
E015	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
E016	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
E017	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
E018	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
E019	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
E020	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
E021	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
E022	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0
E023	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1
E024	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
E025	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
E026	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
E027	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1
E028	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
E029	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0
E030	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
E031	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
E032	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
E033	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
E034	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
E035	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
E036	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
E037	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0
E038	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
E039	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1
E040	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
E041	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
E042	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
E043	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1
E044	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
E045	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0
E046	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0
E047	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1
E048	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
E049	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
E050	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
E051	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
E052	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
E053	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
E054	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0
E055	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1
E056	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
E057	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
E058	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
E059	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1
E060	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
E061	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1
E062	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
E063	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
E064	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
E065	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
E066	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
E067	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
E068	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
E069	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
E070	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
E071	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1
E072	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
E073	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
E074	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
E075	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1
E076	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
E077	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
E078	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0
E079	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1
E080	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
E081	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
E082	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E083	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1
E084	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
E085	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
E086	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0
E087	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1
E088	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
E089	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1
E090	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0
E091	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1
E092	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0
E093	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1
E094	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0
E095	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1
E096	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
E097	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
E098	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
E099	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
E100	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
E101	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1
E102	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0
E103	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1
E104	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
E105	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
E106	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
E107	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1
E108	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
E109	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1
E110	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
E111	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1
E112	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
E113	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
E114	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
E115	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1
E116	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
E117	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
E118	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
E119	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1
E120	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
E121	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
E122	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0
E123	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1
E124	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
E125	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1
E126	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0
E127	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
E128	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
E129	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
E130	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
E131	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
E132	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
E133	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
E134	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
E135	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
E136	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
E137	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
E138	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
E139	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1
E140	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
E141	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1
E142	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
E143	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1
E144	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
E145	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
E146	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
E147	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1
E148	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
E149	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
E150	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0
E151	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1
E152	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
E153	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1
E154	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
E155	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1
E156	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0
E157	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1
E158										

■ 2進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表(つづき)

[0]=オフ [1]=オン

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E675	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1
E676	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0
E677	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1
E678	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0
E679	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1
E680	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
E681	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1
E682	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
E683	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1
E684	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0
E685	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1
E686	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0
E687	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1
E688	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
E689	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1
E690	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0
E691	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1
E692	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0
E693	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1
E694	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0
E695	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1
E696	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0
E697	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1
E698	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0
E699	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1
E700	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0
E701	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1
E702	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0
E703	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1
E704	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
E705	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1
E706	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
E707	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
E708	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0
E709	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1
E710	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0
E711	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1
E712	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0
E713	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1
E714	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0
E715	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1
E716	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0
E717	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1
E718	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0
E719	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1
E720	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0
E721	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1
E722	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0
E723	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1
E724	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0
E725	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
E726	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0
E727	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1
E728	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
E729	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1
E730	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0
E731	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
E732	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0
E733	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1
E734	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0
E735	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1
E736	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
E737	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1
E738	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0
E739	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1
E740	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0
E741	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1
E742	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
E743	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1
E744	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0
E745	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1
E746	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0
E747	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1
E748	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0
E749	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1
E750	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0
E751	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1
E752	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
E753	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1
E754	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0
E755	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1
E756	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0
E757	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1
E758	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E759	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1
E760	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
E761	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1
E762	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0
E763	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0
E764	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0
E765	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0
E766	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0
E767	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
E768	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
E769	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
E770	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
E771	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
E772	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
E773	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1
E774	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0
E775	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1
E776	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
E777	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
E778	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
E779	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1
E780	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0
E781	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1
E782	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0
E783	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
E784	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
E785	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
E786	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0
E787	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1
E788	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0
E789	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1
E790	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0
E791	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1
E792	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0
E793	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1
E794	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0
E795	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1
E796	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0
E797	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1
E798	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0
E799	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1
E800	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
E801	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1
E802	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
E803	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1
E804	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
E805	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1
E806	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0
E807	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1
E808	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0
E809	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1
E810	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0
E811	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1
E812	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0
E813	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1
E814	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0
E815	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1
E816	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
E817	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1
E818	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0
E819	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
E820	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0
E821	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1
E822	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0
E823	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1
E824	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
E825	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1
E826	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0
E827	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1
E828	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0
E829	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1
E830	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0
E831	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
E832	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
E833	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
E834	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
E835	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1
E836	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0
E837	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
E838	1	1	0	1	0	0	0			

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (042) 660-7203